

IP カメラ 取扱説明書

書類バージョン : V1.0

発行日 : 2025-07-16

目次

1 クイックガイド	6
1.1 ログインとログアウト	6
1.2 パスワードを忘れた場合	8
1.3 パスワード変更	10
1.4 ライブ映像画面	11
1.5 録画再生	15
1.6 スナップショット	16
1.7 車番認識	19
1.8 IVS	21
2 クイックスタート	22
2.1 ローカルネットワーク	22
2.2 ビデオ	24
2.3 画像パラメータ	28
2.3.1 デバックモード	28
2.3.2 モード	28
2.3.3 画像	29
2.3.4 シーン	30
2.3.5 露出	31
2.3.6 ホワイトバランス	32
2.3.7 デイ/ナイト	33
2.3.8 ノイズ除去	37
2.3.9 画像補正	38
2.3.10 ズームフォーカス（一部機種対応）	39
2.4 OSD	40
2.5 日時	42
3 システム	45
3.1 システム	45
3.1.1 基本設定	45
3.1.2 日時	46
3.1.3 システム言語設定	46
3.1.4 ソフトウェアライセンス	47

3.2 パスワード変更.....	48
3.2.1 パスワード変更.....	48
3.2.2 メールアドレス連携.....	48
3.2.3 認証質問連携.....	48
3.3 ユーザー.....	49
3.4 デバイスログ検索.....	52
3.4.1 操作ログ検索.....	52
3.4.2 アラームログ検索.....	53
3.4.3 ログ一括収集.....	54
3.5 デバイスマンテナンス.....	55
3.5.1 再起動.....	55
3.5.2 アップグレード.....	57
3.5.3 ファクトリリセット.....	58
3.5.4 設定のインポート/エクスポート.....	59
3.6 セキュリティ.....	60
3.6.1 IP フィルタリング設定.....	60
3.6.2 HTTPS 認証設定.....	61
3.6.3 セキュリティサービス.....	62
4 ネットワーク.....	64
4.1 基本設定.....	64
4.1.1 ローカルネットワーク.....	64
4.1.2 デバイスポート.....	64
4.1.3 ポートマッピング.....	65
4.1.4 DDNS.....	67
4.1.5 PPPoE.....	68
4.2 詳細設定.....	69
4.2.1 FTP.....	69
4.2.2 アラームメール.....	71
4.2.3 HTTPS.....	72
4.2.4 QOS.....	73
4.2.5 802.1x.....	74
4.2.6 SNMP.....	75
4.2.7 ONVIF 情報参照.....	77
4.2.8 プラットフォーム接続.....	79
4.2.9 マルチキャスト.....	81

4.2.10 CGI アラームサービスセンター	82
5 映像/音声.....	85
5.1 映像.....	85
5.1.1 映像.....	85
5.1.2 スナップショット	85
5.1.3 ROI	86
5.2 音声	87
5.2.1 音声	87
5.2.2 音声ファイル	89
6 画像.....	92
6.1 画像	92
6.2 OSD	92
6.3 プライバシーマスク.....	92
6.4 チャンネル、映像フォーマット.....	93
7 イベント.....	95
7.1 動体検知アラーム	95
7.2 アラーム入力	98
7.3 アラーム出力（一部機種対応）	100
7.4 ディスクアラーム.....	102
7.5 ネットワークアラーム.....	103
7.6 ディナイト切替アラーム.....	103
7.7 音声異常検知（一部機種対応）	104
7.8 メッセージプッシュ	105
7.9 ストロボライトアラーム出力（一部機種対応）	106
7.10 ホワイトライトアラーム出力（一部機種対応）	107
7.11 赤青灯アラーム出力（一部機種対応）	107
8 ストレージ	109
8.1 録画方針	109
8.2 録画ディレクトリ.....	110
8.3 スナップショット方針	114
9 IVS.....	115
9.1 AI アルゴリズム	115
9.1.1 AI マルチターゲット.....	115

9.2 AI 分析.....	118
9.2.1 侵入検知	118
9.2.2 AI 動体検知.....	120
9.2.3 ラインクロス.....	121
9.2.4 ダブルラインクロス.....	122
9.2.5 複数人徘徊検知	124
9.2.6 逆行検知	126
9.2.7 エリア人数警報.....	127
9.2.8 周辺検知	128
9.2.9 走り検出.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
9.2.10 転倒検知.....	129
9.2.11 喧嘩検知.....	130
9.2.12 詳細設定.....	131
9.3 人数集計	132
9.3.1 設定	132
9.3.2 集計レポート照会.....	135
10 PTZ、マルチレンズカメラ.....	136
10.1 PTZ 制御と PTZ 設定	136
10.1.1 PTZ 制御.....	136
10.1.2 PTZ 設定	138
10.1.3 プリセットポジションの設定と呼び出し.....	138
10.1.4 軌跡の設定と呼び出し	140
10.1.5 スキャンの設定と呼び出し	141
10.1.6 パトロールの設定と呼び出し	143
10.1.7 ガードポジション.....	144
10.1.8 タイマー.....	144
10.1.9 電源投入時の動作.....	145
10.1.10 AI 追跡.....	146
10.1.11 ハイスピードドーム PTZ	147
10.1.12 PT リミッター	148
10.2 ハイスピードドーム専用機能	148
10.2.1 PTZ キーボード	148
10.2.2 煙火検知.....	150
11 特殊 IPC 機能	154
11.1 フィッシュアイ（フィッシュアイ機種対応）	154

11.2 マルチレンズ（ステレオ機種対応）	155
11.3 車番認識.....	156
11.3.1 共通設定.....	156
11.3.2 車番管理.....	159
11.3.3 リストイベント.....	162
11.3.4 属性イベント.....	163
11.3.5 車番検索.....	164
11.4 マルチレンズカメラの特殊設定.....	165
11.4.1 RS485.....	165
11.4.2 赤外線ライト設定	167
11.4.3 アナログ信号.....	168
11.4.4 PTZ.....	168
11.5 マルチレンズカメラの AI 分析	170
11.5.1 詳細設定.....	170
11.5.2 違法駐車検知（一部機種対応）	170
11.5.3 エリア侵入検知	172
11.5.4 エリア退出検知	173
11.5.5 ヒートマップ（フィッシュアイ/ 2 レンズ/マルチレンズ機種対応）	175
FAQ.....	177
付録 A 略語一覧.....	179

1 クイックガイド

1.1 ログインとログアウト



注意

Google Chrome、Microsoft Edge または Mozilla Firefox ブラウザを使用して Web インターフェースにアクセスしてください。その他のブラウザを使用すると、インターフェース機能が正常に動作しない場合があります。

システムへのログイン

1. ブラウザのアドレスバーにカメラの IP アドレス（デフォルト値：192.168.0.120）を入力し、「Enter」キーを押すと「ログイン」画面に移動します。初回ログイン時にパスワードの作成が必要となります（図 1-1 参照）。

図 1-1 パスワード作成画面

日本語 ▾

パスワードを設定してください

ユーザー名

新しいパスワード 

新パスワード入力適用

作成

2. 新しいパスワードを作成し、再入力して確認した後、「作成」ボタンをクリックしてパスワードを設定します。「作成成功」というポップアップ通知が表示されます。

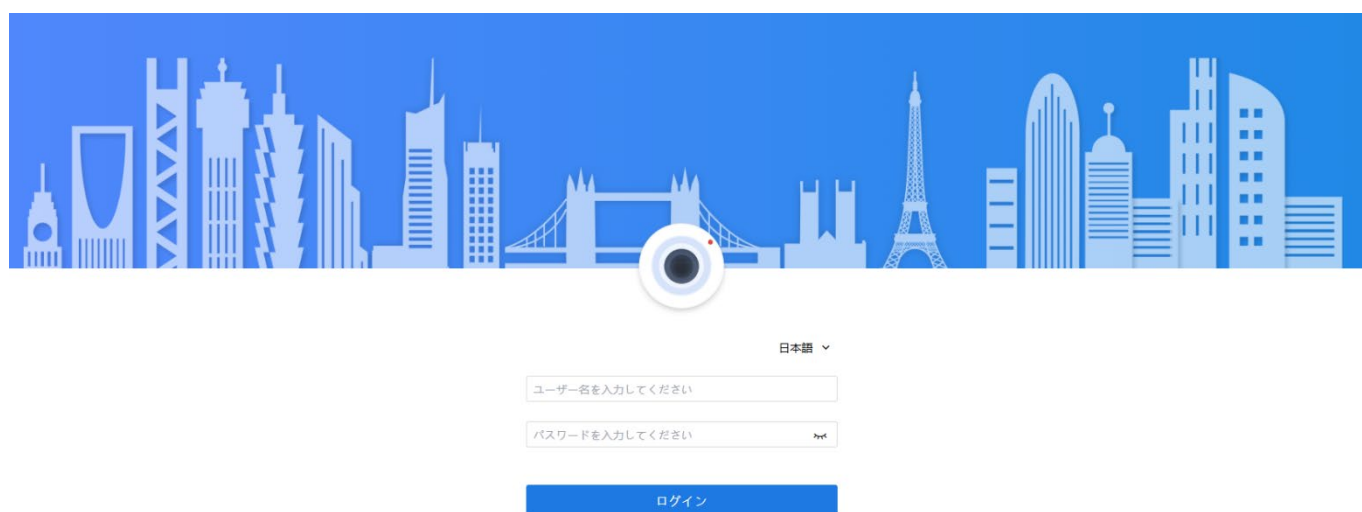
3. スーパーユーザーは「パスワード復旧用メールアドレス」と「パスワード復旧質問」を設定できます。

図 1-2 パスワード復旧画面



4. 設定を完了するかスキップすると、画面がログイン画面に移動します。

図 1-3 ログイン画面



5. ユーザー名とパスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリックしてライブ映像画面に進みます。

※説明：

ユーザー名のデフォルト値は「admin」です。初回ログイン時にはデバイスをアクティベートしてパスワードを作成する必要があります。カメラの DHCP 機能はデフォルトで有効に設定されています。ネットワークスキャンツールを使用して IP アドレスを検索してください。IP アドレスのデフォルト値は 192.168.0.120 です。

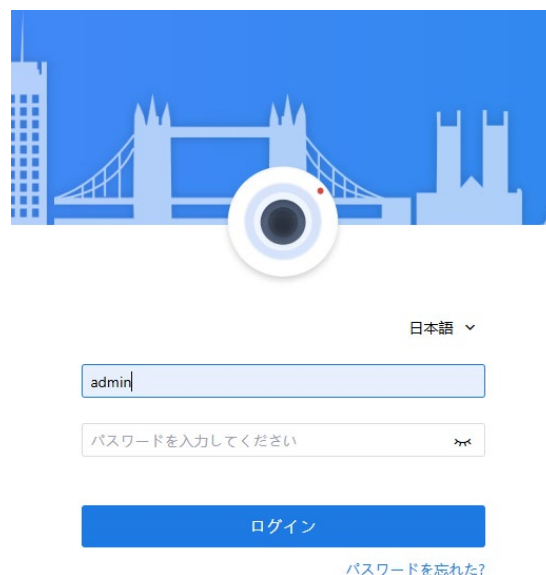
パスワード変更後は 3 分間経過してからデバイスを再起動してください。これによりパスワードの更新内容が保存されます。または、Web ページに再度ログインして、パスワードの変更が成功したかどうかを確認することもできます。

ログイン画面では、必要に応じてログイン後の表示言語（簡体字中国語・英語など）を選択できます。

1.2 パスワードを忘れた場合

1. ログイン画面でスーパー管理者ユーザー名「admin」を入力すると、「パスワードを忘れた場合」ボタンが表示されます。

図 1-4 パスワードを忘れた場合



The screenshot shows a login interface with a blue header featuring a cityscape and a camera icon. Below the header, there is a language dropdown menu set to '日本語'. The username field contains 'admin'. The password field is empty and labeled 'パスワードを入力してください'. Below the password field is a blue 'ログイン' (Login) button. To the right of the login button is a link labeled 'パスワードを忘れた?' (Forgot Password?).

2. 「パスワードを忘れた場合」ボタンをクリックしてパスワードリセットインターフェースに進みます。ユーザーが事前にメールアドレスと復旧質問を設定した場合、メールアドレス / 復旧質問 / QR コードの 3 つの方法でパスワードをリセットできます。メールアドレスと復旧質問の設定をスキップした場合、QR コードによるリセット方法のみ利用可能です。

一時パスワードのメール送信が成功するためには、カメラがネットワークに接続されオンライン状態である必要があります。有効時間は 5 分間です。一時パスワードでログイン後、すぐ新しいパスワードを設定してください。

図 1-5 パスワードを忘れた場合-メールアドレス



The screenshot shows the password reset interface. At the top, there is a blue header with a cityscape and a camera icon. Below the header, the title 'パスワード紛失' (Password Lost) is displayed. There are three tabs: 'セキュアメール' (Secure Email), '秘密の質問' (Secret Question), and 'QRコード' (QR Code). The 'セキュアメール' tab is selected. Below the tabs, there is a text input field for the email address, labeled '一時パスワードをj*****に送信します' (Send temporary password to j*****). Below the input field are two buttons: '戻る' (Back) and '送信' (Send).

図 1-6 パスワードを忘れた場合－質問



パスワード紛失

セキュアメール 秘密の質問 QRコード

子供のころに夢見た職業は？

子供のころ人気者だった友達の苗字は？

長期休暇で滞在したい日本の都市名は？

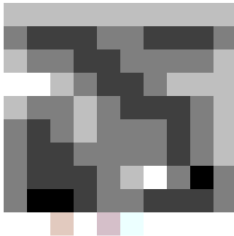
当スーパーadmin ユーザーがメールアドレスとパスワードの質問をスキップした場合、メーカーに QR コードを送信する方法も利用できます。メーカーは QR コードに基づき一時パスワードを発行します。このパスワードの有効期限は当日の 24:00 までです。一時パスワードでログイン後、すぐ新しいパスワードを設定してください。

図 1-7 パスワードを忘れた場合－QRコード



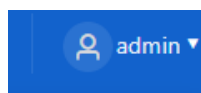
パスワード紛失

セキュアメール 秘密の質問 QRコード



QRコードをスキャンしてディーラーに送信して
ユーザーパスワードを復元します

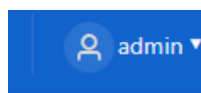
ログアウト



パスワード変更

画面右上のユーザー名をクリックし  ログアウト 、ログアウトをクリックすれば、ログイン画面に戻ります。

1.3 パスワード変更



パスワード変更

画面右上のユーザー名をクリックし  ログアウト 、パスワード変更をクリックすれば、パスワード変更画面に移行します。

図 1-8 パスワード変更画面

The screenshot shows the 'IP Camera' web interface. The top navigation bar includes 'ライブ映像' (Live Video), '録画再生' (Recording/Playback), 'スナップショット' (Snapshot), 'IVS', and '設定' (Settings). The left sidebar lists various settings categories: 'クイックスタート' (Quick Start), 'システム' (System), '基本設定' (Basic Settings), 'パスワード変更' (Password Change), 'ユーザー' (User), 'デバイスログ' (Device Log), 'メンテナンス' (Maintenance), 'セキュリティ' (Security), 'ネットワーク' (Network), '映像/音声' (Video/Audio), and '画像' (Image). The 'パスワード変更' (Password Change) section is active, showing three input fields: '古いパスワード' (Old Password), '新しいパスワード' (New Password), and 'パスワード確認' (Password Confirmation). Below these fields, there are instructions: '*パスワードの推奨事項: 最低8文字 数字、小文字、大文字、特殊文字を使用します。ユーザー名と同じパスワード、またはユーザー名を逆順にしたパスワードは使用しないでください。先頭文字に特殊文字を使用できません。' (Password recommendation: Minimum 8 characters, use numbers, lowercase, uppercase, and special characters. Do not use the same password as the username or the username in reverse order. Do not use special characters at the beginning). At the bottom of the form is an 'OK' button.

※説明：

- ☐ 最低8文字
- ☐ 数字、小文字、大文字、特殊文字を使用します。
- ☐ ユーザー名と同じパスワード、またはユーザー名を逆順にしたパスワードは使用しないでください。
- ☐ 先頭文字に特殊文字を使用できません。

1.4 ライブ映像画面

ログインできたら、ライブ映像画面に移行します。

図 1-9 ライブ映像

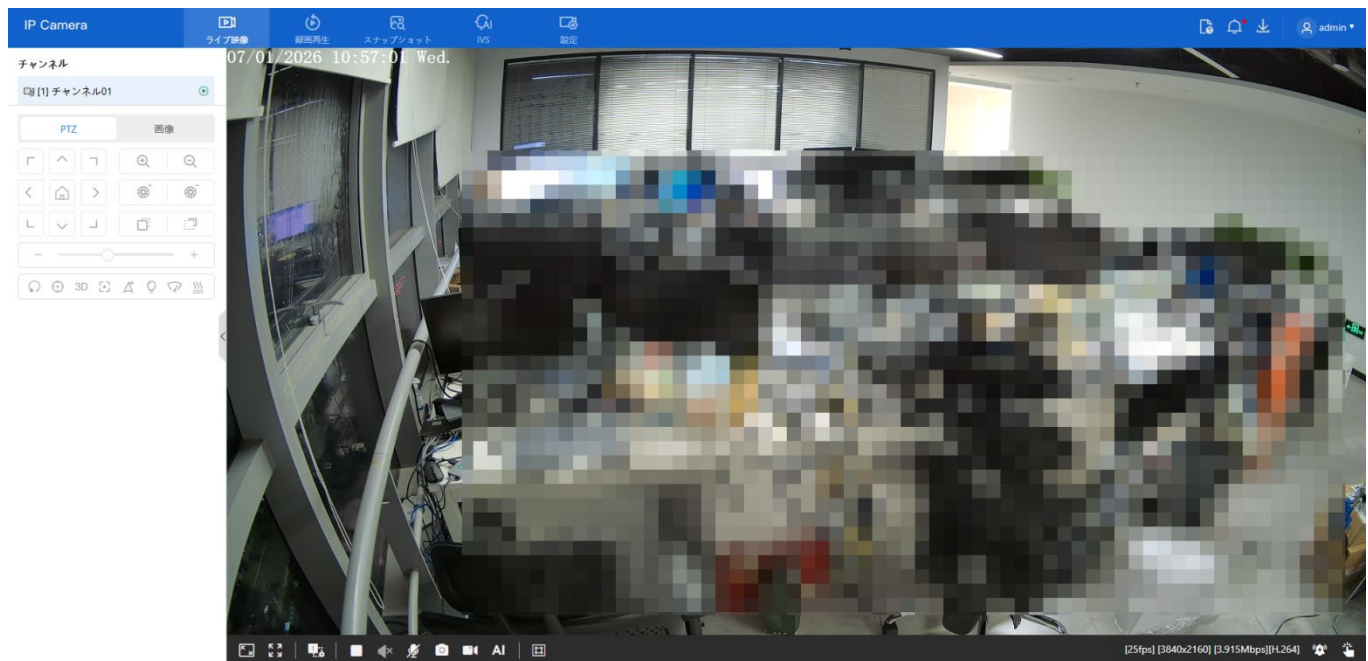


図 1-10 ライブ映像（PTZ メニューが表示される）

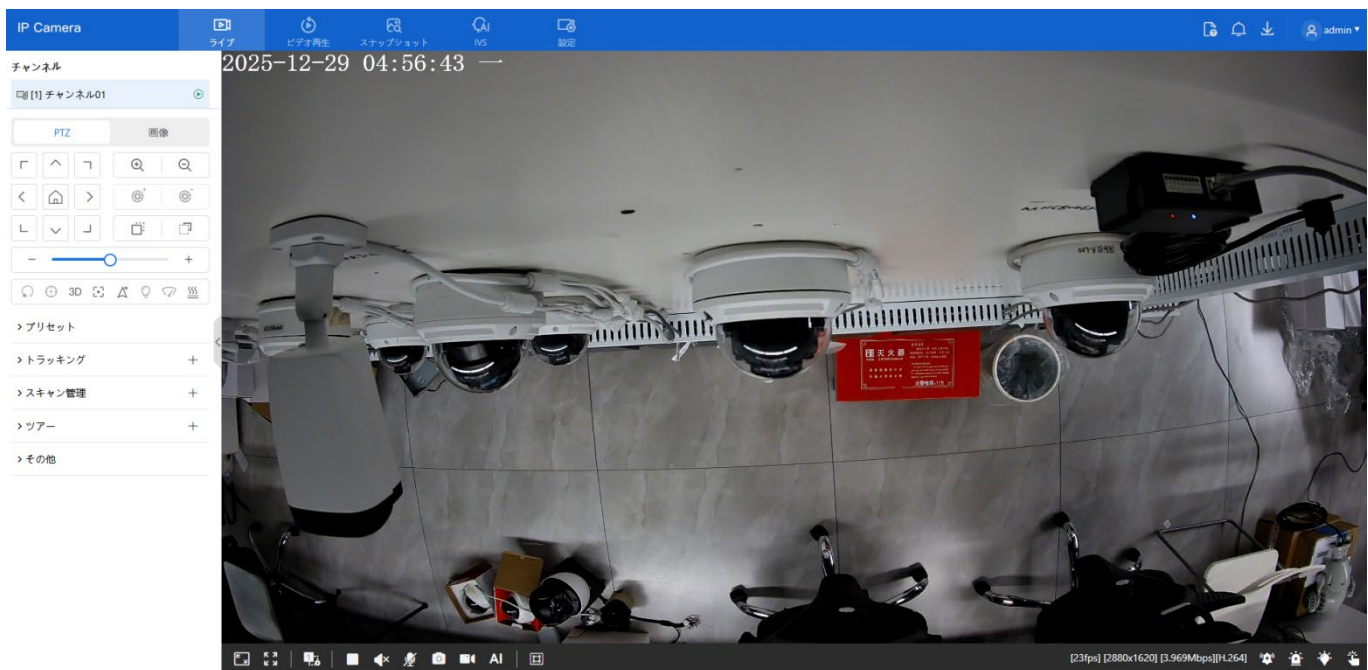
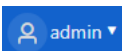


表1-1 機能説明

番号	機能	説明
1	ライブ映像	ライブ映像が表示され、フロントエンドパラメータの設定もできます

2	録画再生	SD カードを装着した場合、録画再生機能により現在時刻以前の一定時間の録画データを検索できます
3	IVS	Intelligent Video System の略、AI マルチターゲット、インテリジェントアナリシス（侵入検出、AI モーション検出、 <u>ラインクロス</u> 、複数ラインクロス、複数徘徊、逆走、エリア人数警告、周辺領域検出、走り検出、転倒検出、喧嘩検出等）、人数カウントなどのパラメータを設定可能です。
4	スナップショット	SD カードを装着し、キャプチャ機能を有効にした上で、条件を設定した後「検索」ボタンをクリックすると、該当イベントのキャプチャ画像を検索できます。
5	設定	デバイス情報、映像・音声ストリーム、デバイス、アラーム、AI マルチターゲット、プライバシーマスクなどの設定ができます。
6		音声通話機能説明
7		アラームのこと。アラーム情報を受信した場合、画面に  が表示され、クリックすればアラームログ画面に入り、アラーム情報を確認できます。
8		SD カード録画のダウンロードステータス
9		ログアウトまたはパスワード変更
10	 	ズーム+/ズーム-
11	 	絞り+/絞り-
12	 	ニアフォーカス/テレフォーカス
13		オートフォーカス
14	画像	明るさ、彩度、コントラスト、シャープネスを調整できます
15		画面表示の比率を設定できます
16		フル画面
17		ストリーム切り替え：カメラの性能に応じて、通常は 3 種類のストリームを提供し、一部デバイスでは 2 種類のストリーム場合があります
18	 	ライブ映像の停止/開始
19		音量調整が可能。デバイスにマイクが搭載され、且つ PC にヘッドホン等のオーディオ出力機器を接続した場合、ライブ映像内のオーディオを聴取できます。

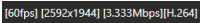
20		通話：デバイスにスピーカーが搭載されている場合、PC にマイク等のオーディオ入力機器を接続することで、カメラ経由で通話できます。
21		スナップショット：現在のシーンをキャプチャします。ローカルに保存され、保存パスはブラウザのデフォルトパスとなります。
22		録画：現在の映像を録画開始し、再度クリックすると録画を終了します。ローカルに保存され、保存パスはブラウザのデフォルトパスとなります。
23		AI キャプチャ：人 / 顔 / 人または車を選択可能です。キャプチャ結果は右側リストに表示されます。「詳細情報」をクリックすると、キャプチャ対象の関連属性を確認できます。
		ターゲットフレーム スマートライン設定 ターゲットフレーム：AI マルチターゲット画面にて、対象（顔 / 人体 / 車両検知）検知機能のフレームを起動します。 スマートライン設定：IVS の検知エリアフレームが表示されます。
24		フレームレート / 解像度 / ストリーム / フォーマットが表示されます
25		音声アラーム状態：音声流れるとき、赤くなり、「停止ボタン」を押せば、音声停止します
26		手動で I/O 輸出を開始/停止します
27		手動でストロボライト/ホワイトライト/赤青ライトを開始/停止します。

図 1-11 音声双方向通話機能

音声双方向通話機能について:

×

説明：音声双方向通話機能は HTTP 環境下で Chrome ブラウザのみ対応し、HTTPS 環境下では全ブラウザ互換です。

HTTP環境下のChromeブラウザで双方向音声機能を開く手順:

- 1.パソコンに利用可能なマイクロフォンが接続されていることを確認してください。
- 2.Chrome ブラウザのアドレスバーに 'chrome://flags/#unsafely-treat-insecure-origin-as-secure' を入力します。
- 3.Insecure Origins Treated as Secure' を 'Enabled' に設定します。
- 4.入力フィールドに機器のドメイン名を記入し、複数の場合は ", " で区切ります; 例
"http://192.168.0.123, http://192.168.0.123:8045"
- 5.入力フィールドの外でマウス左クリックして保存し、Chrome を再起動します。

図 1-12 AI リアルタイムキャプチャ画面

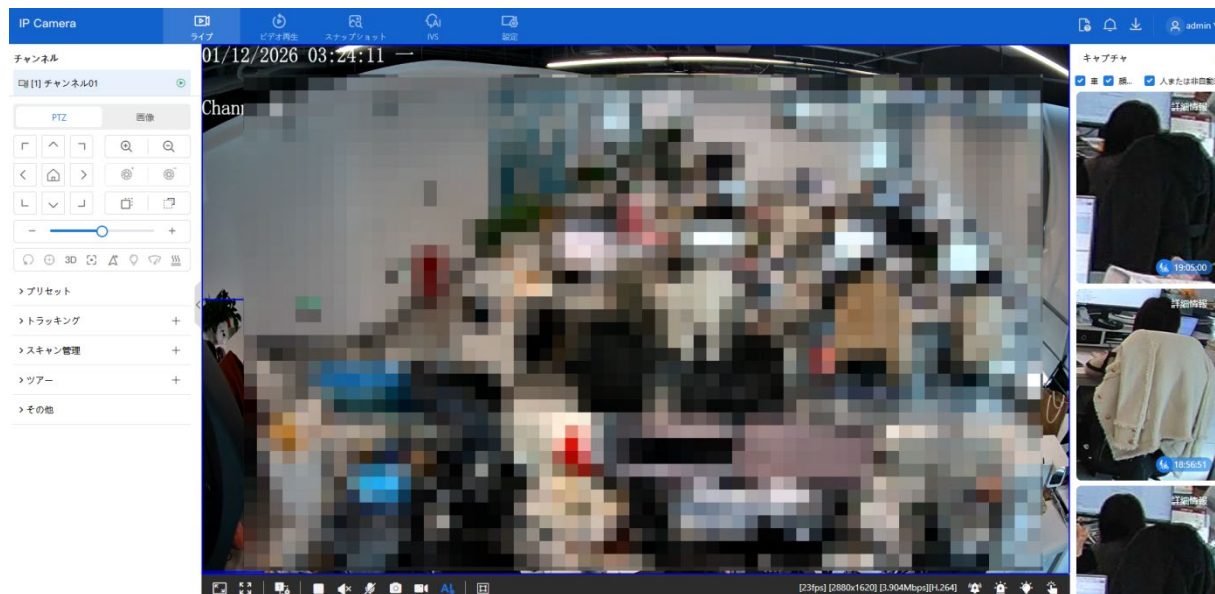
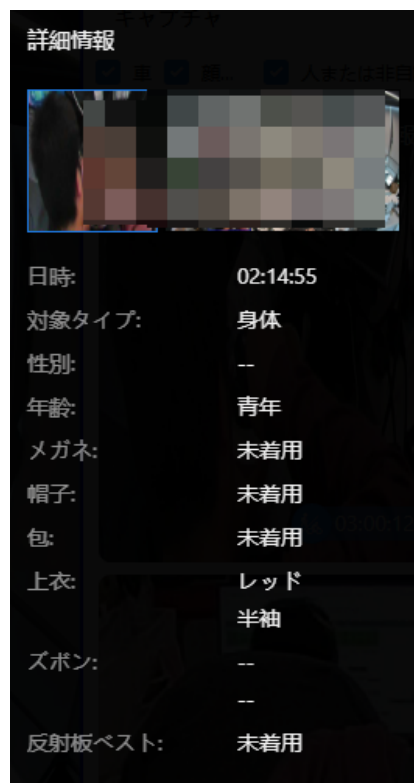


図 1-13 キャプチャ属性



※説明：

ズームなどの機能はズームカメラしか使えない。

手動でライトを制御する機能は LED ライト付きのカメラしか使えない

1.5 録画再生

web 画面で録画再生をクリックし、録画再生画面に進みます。以下の機能を使用するには、カメラに SD カードを装着し、録画データが存在していることが前提となります。

図 1-14 録画再生

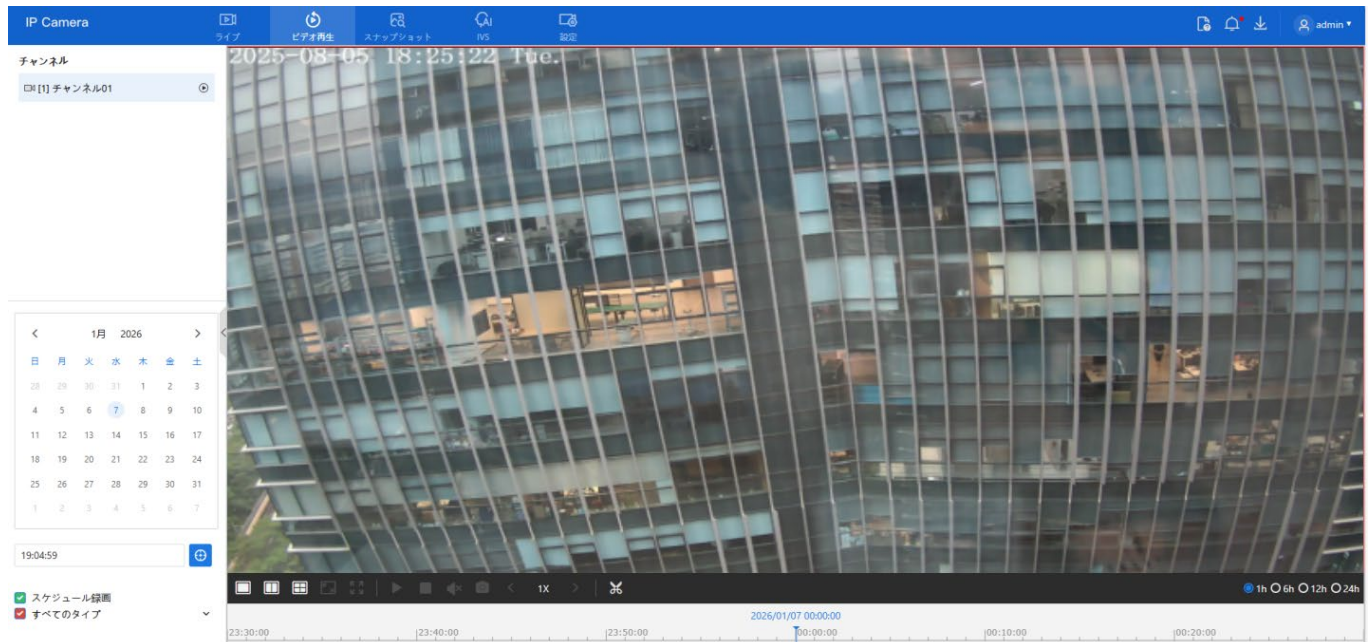
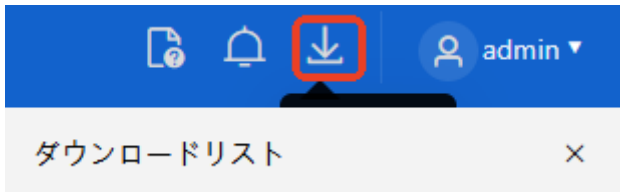


表1-2 機能説明

番号	パラメータ	説明
1	チャンネル	一般的にチャンネル 01 となりますが、デュアルスペクトルのサーマルカメラはチャンネルが 2 つあります。
2	カレンダー	25 日付の下部に緑色のポイントが表示されている場合、当該日付の録画データが存在することを示します。正確な時間を設定することで、設定した時間の録画データを直接再生することが可能です。
3	☒ スケジュール録画 ☒ すべてのタイプ	タイムラインにおいて、緑色表示は計画録画、赤色表示はアラーム録画となります。アラーム録画の種別はカメラ機種の性能によります。 すべてのタイプ モーション検出アラーム デイナイト切換アラーム ネットワークアラーム オーディオ異常アラーム 人数しきい値アラーム 逆走 違法駐車 複数徘徊 複線横断 人数しきい値アラーム 逆走 違法駐車 複数徘徊 複線横断

4		画面分割数
5		全画面
6		録画の一時停止/再生
7		オーディオの再生 / 一時停止
8		スナップショット：ローカルに保存され、保存パスはブラウザのデフォルトパスとなります
9		再生速度, 1/16X, 1/8 X, 1/4 X, 1/2 X, 1 X, 2 X, 4 X, 8 X
10	 バックアップ起動：タイムラインをドラッグ操作することで高速にバックアップを実施できます。 バックアップ映像はダウンロードリストから確認できます 	
11		タイムライン表示形式：1 時間、6 時間、12 時間、24 時間

1.6 スナップショット

AI マルチターゲットカメラにおいて、SD カードを装着する（カメラ側では記憶容量の 1/5 がキャプチャ画像の保存に割り当てられます）か、NAS 保存機能を起動し、かつスナップポリシー（計画キャプチャ、AI マルチターゲットにおける関連検知キャプチャ、アラーム関連キャプチャ）を設定した上で、本画面からキャプチャ結果の検索・プレビューが可能となります。

イベント種別：計画、アラーム、AI マルチターゲット。

時間指定：下部には緑色のポイントがある日付を指定し、検索ボタンをクリックします

検索リスト内の  をクリックしてプレビューを確認することができ、プレビュー画像下部には関連する属性情報が表示されます。人体属性：性別、年齢、眼鏡着用有無、帽子着用有無、バッグ所持有無、上着、ズボン、反光衣着用有無等

図 1-15 キャプチャ計画

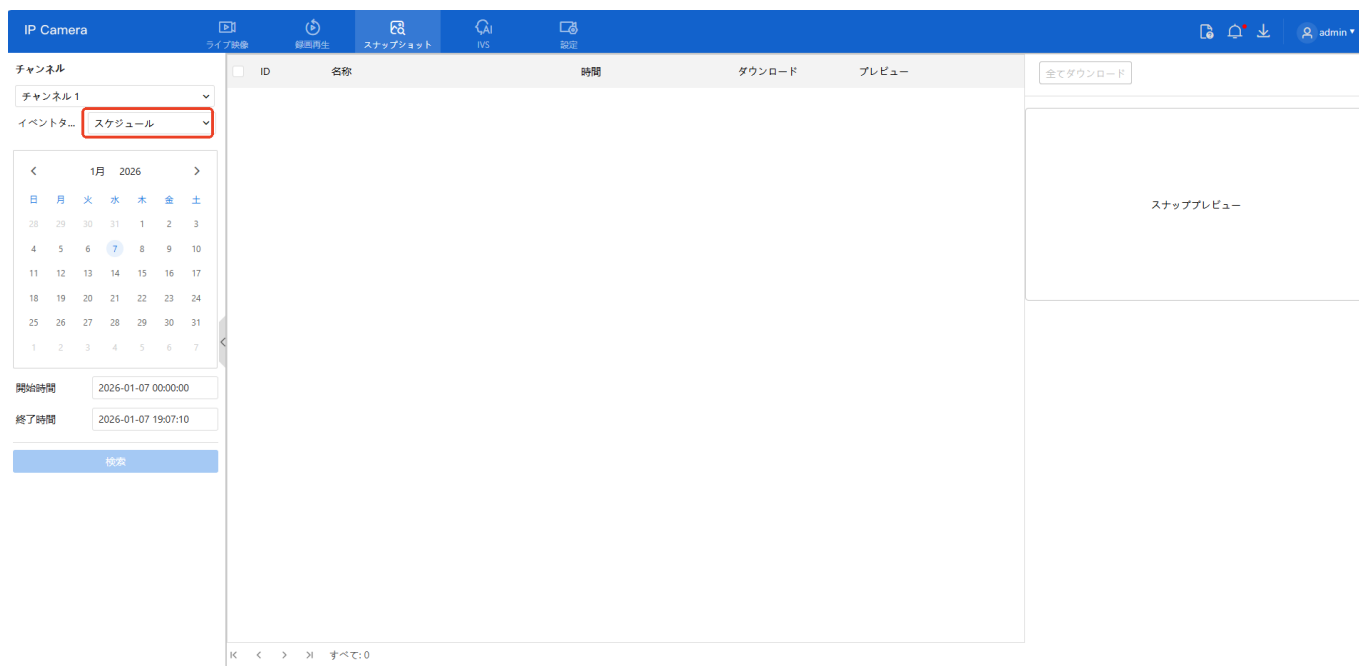


図 1-16 キャプチャアラーム

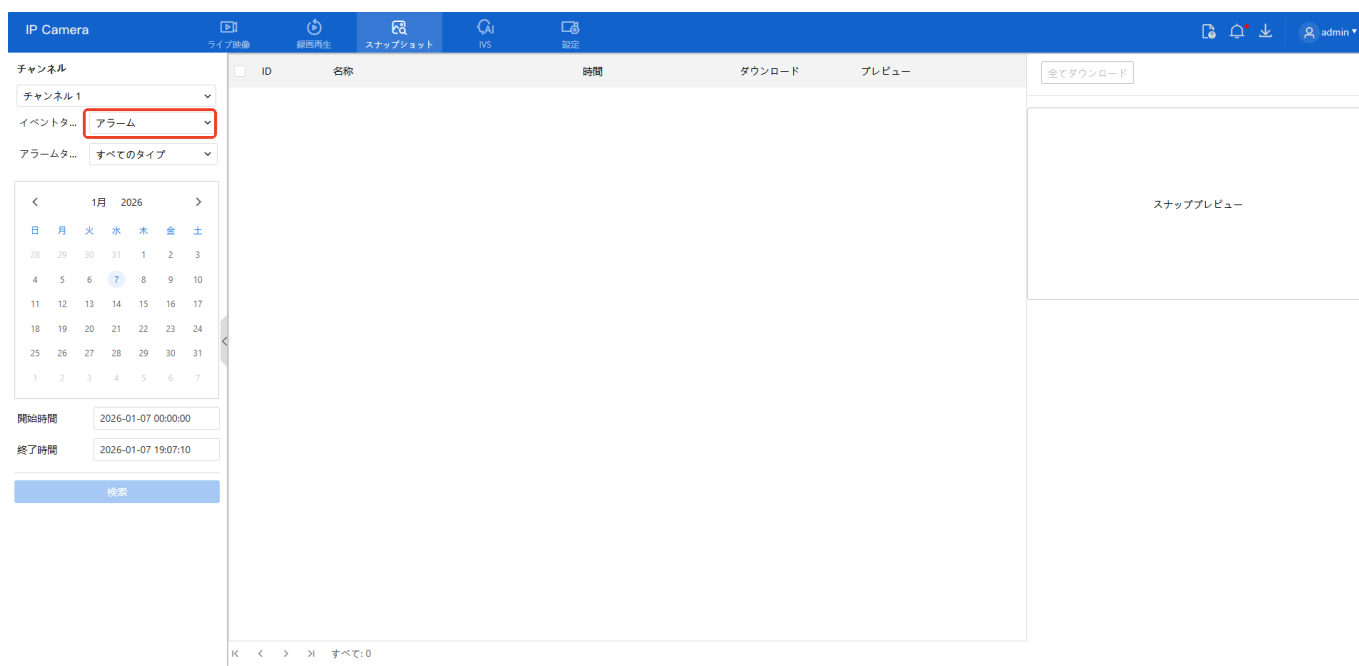


図 1-17 キャプチャーAI マルチターゲット

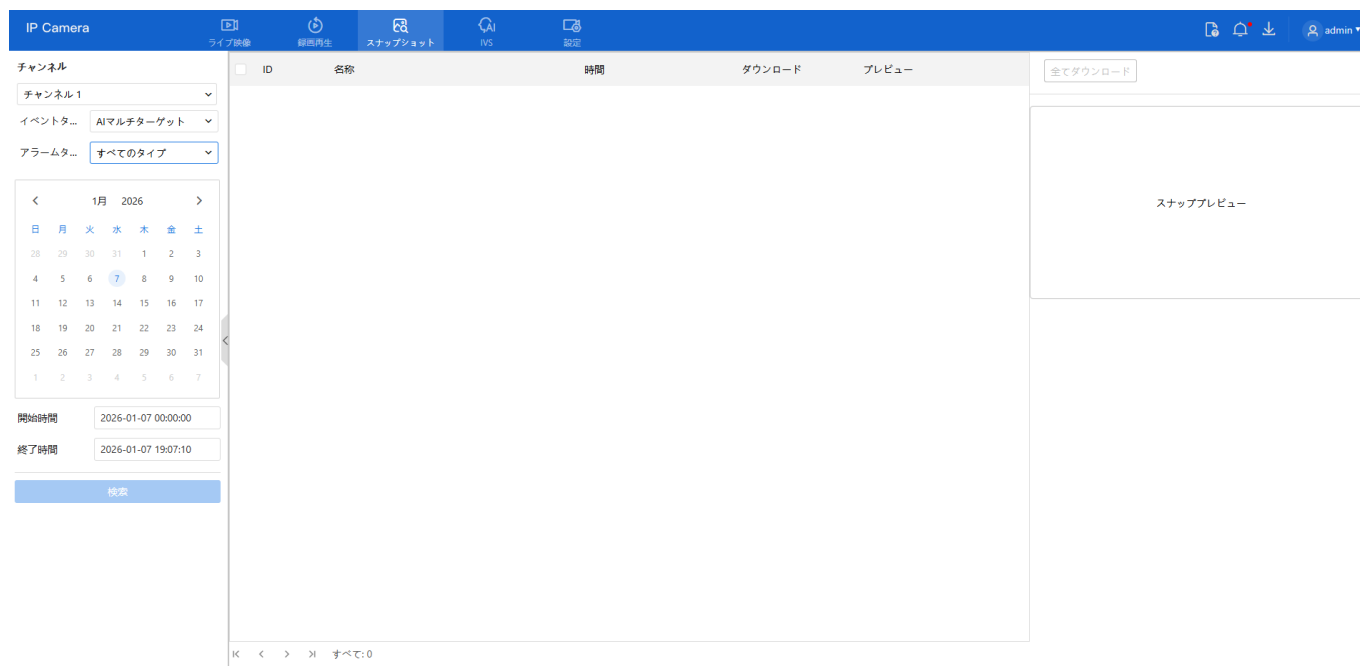


図 1-18 AI マルチターゲット

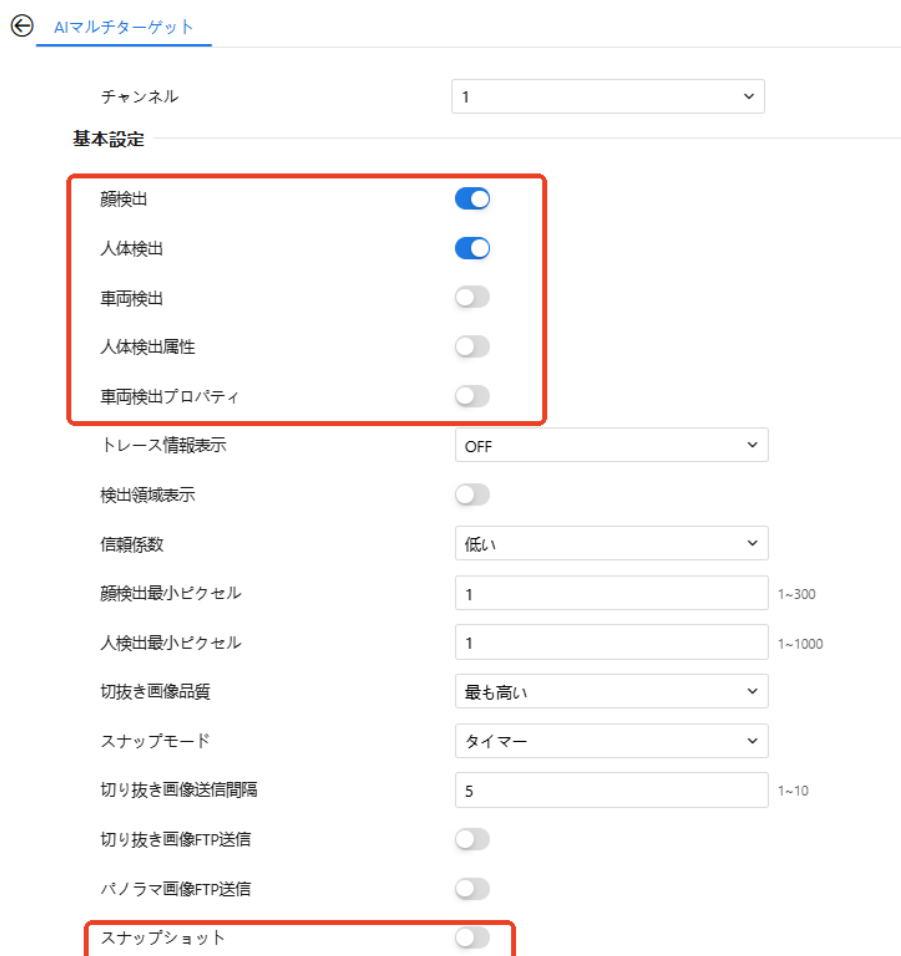


図 1-19 スナップポリシー—計画

The screenshot displays the 'Snap Policy' configuration page. The left sidebar contains a menu with 'ストレージ' (Storage) highlighted. The main content area has tabs for '録画ポリシー' (Recording Policy), '録画ディレクトリ' (Recording Directory), and 'スナップポリシー' (Snap Policy), with the latter being active. Under '基本設定' (Basic Settings), there is a toggle for 'スナップショット' (Snapshot) which is currently off, and a 'スナップ間隔 (60秒)' (Snapshot Interval (60s)) field set to '15' seconds. Below this is a '警備時間' (Guard Time) section featuring a 24-hour schedule grid. The grid has columns for hours (0 to 24) and rows for days of the week (日, 月, 火, 水, 木, 金, 土). At the bottom of the grid are '全選択' (Select All) and '全削除' (Delete All) buttons.

※画像の保存は最大 20,000 枚まで対応し、一部機種は 1,000 枚のみ対応となります。メモリ容量がいっぱいになった場合、自動的に上書き保存が起動されます。一部の車番認識対応機種は、キャプチャ機能に対応しておりません。

1.7 車番認識

車番認識カメラが特有な機能となります。

図 1-20 車番認識画面

IP Camera

ライブ映像

録画再生

車番検出

IVS

設定

基本設定

共通設定

車番管理

リストイベント

属性イベント

基本設定

検索

基本設定

車番検出

ナンバープレート結合車両モード

トレース情報表示

検出領域表示

信頼係数

ナンバープレート検知最小画素数

切り抜き画像品質

スナップモード

切り抜き画像送信間隔

切り抜き画像FTP送信

パノラマ画像FTP送信

EMMC ストレージ

国名/地域

未登録リスト名

アルゴリズムライブラリーVer.

フルフレーム

低い

1

1~300

最も高い

タイマー

3

1~10

汎用モード

?

Visitor

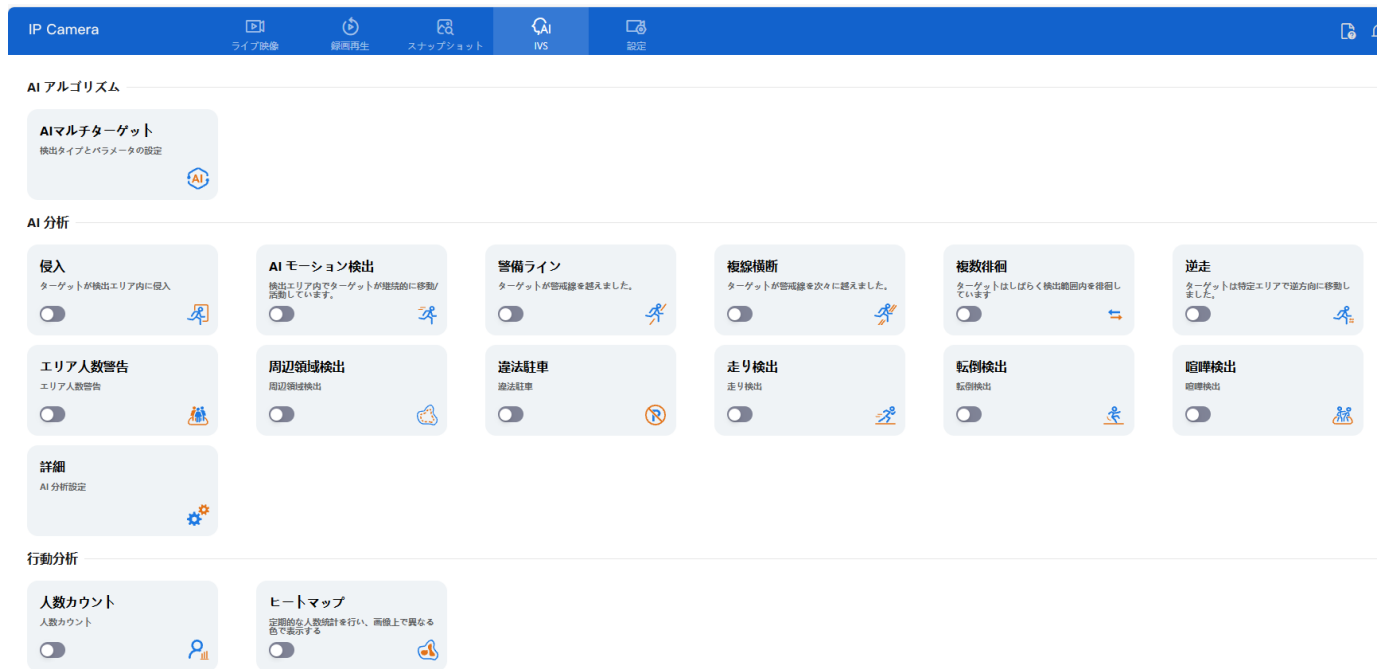
v2.4.0_20250731

※機種によって機能は若干違います。

1.8 IVS

IVS 機能は主に 3 種類あり、AI アルゴリズム（AI マルチターゲット）、AI 分析（侵入、AI モーション検出、ラインクロス、複数ラインクロス、複数徘徊、逆走、エリア人数警告、周辺領域検出、走り検出、転倒検出、喧嘩検出、詳細等）、行動分析（人数カウント、ヒートマップ）。

図 1-21 IVS 画面



※機種によって、IVS 機能が違います。

2 クイックスタート

2.1 ローカルネットワーク

図 2-1 ローカルネットワーク画面

The screenshot displays the 'Local Network' configuration page. On the left is a sidebar with a 'Quick Start' section containing links to System, Network, Image/Audio, Image, Events, and Storage. The main area has tabs for 'Local Network', 'Video', 'Image Parameters', 'OSD', and 'Date/Time'. Under the 'Local Network' tab, the following settings are visible:

- ネットワークカードID: 1 (dropdown menu)
- IPプロトコル: IPv4 (dropdown menu)
- DHCP: ☒ (toggle switch)
- IPアドレス: 192.168.2.169
- DNS: ☒ (toggle switch)
- 優先DNS: 192.168.2.1
- 代替DNS: (empty field)
- MTU: 1500

At the bottom of the settings area is a blue button labeled '適用' (Apply).

表2-1 機能説明

項目	説明	設定方法
ネットワークカード ID	デフォルトは 1 で、表示のみ	--
IP プロトコル	IPv4 はインターネットプロトコルで、32 ビットのアドレスを採用しています。IPv6 は 64 ビットのアドレスを採用しています。	プルダウンリストより選択 デフォルト：IPv4
DHCP	DHCP サーバーから割り当てられる IP アドレスを自動的に取得します。	スイッチ押下で有効化

IP アドレス	DHCP を無効にした場合、カメラの IP アドレスを手動で設定可能で、実際の状況に応じて IP アドレスを設定します。 ※Onvif プラットフォームより機器の IP アドレスを変更する際は、ブラウザを閉じてください。	入力欄に数値を入力 デフォルト： 192.168.0.120
サブネットマスク	ネットワークカードマスクアドレス	入力欄に数値を入力 デフォルト： 255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	ネットワークカメラへアクセスする際にゲートウェイを跨ぐ必要がある場合、当該ゲートウェイの IP アドレスを入力する必要があります	入力欄に数値を入力 デフォルト： 192.168.0.1
プライマリ DNS	ドメイン名解析サーバーの IP を手動で設定し、アクセスするドメイン名の解決を行います	入力欄に数値を入力 デフォルト： 192.168.0.1
セカンダリ DNS	ドメイン名解析サーバーの IP を手動で設定します。「プライマリ DNS」の解析サーバーが正常に稼働しない場合、「セカンダリ DNS サーバー」にてアクセスするドメイン名の解析を行います。	入力欄に数値を入力 デフォルト： 192.168.0.2
MTU	ネットワークで転送するパケットの最大値 ※MTU 値の範囲は 1280～1500 で、工場出荷時のデフォルト値は 1500 です。通常の場合、任意に変更しないでください。	入力欄に数値を入力

2.2 ビデオ

図 2-2 ビデオ画面

IP Camera

ライブ映像 録画再生 スナップショット IVS 設定

クイックスタート

ローカルネットワーク ビデオ 画像パラメータ OSD 日時

ストリーム ID	1	2	3
名称	stream1	stream2	stream3
エンコードタイプ	H264	H264	H264
エンコードレベル	高い	高い	高い
オーディオエンコード...	G711_ALAW	G711_ALAW	G711_ALAW
解像度	3840x2160	D1	CIF
フレームレート (fps)	23	25	25
I フレーム間隔	60	50	50
ビットレートタイプ	CBR	CBR	VBR
ビットレート	4096 (500-16000kbps)	1024 (100-6000kbps)	256 (100-1500kbps)
画像品質	中	中	中
スマートエンコード	☐		

適用

表2-2 機能説明

項目	説明	設定方法
ストリーム ID	ストリームの識別番号です。 デバイスは最大 3 つのベーシックストリームを設定可能です。	設定なし
名称	ストリーム ID に対する名称です。 ※説明： 名称は漢字、数字、アルファベット、アンダースコア（_）で構成してください。	テキストボックスに 32 バイト以内の任意の名称を入力。 デフォルト：Stream 1（ストリーム ID に対応）

映像エンコーディングタイプ	映像エンコーディングタイプは、伝送する映像の画質および必要なネットワーク帯域幅を決定します。現状のハイビジョンネットワークカメラの映像エンコーディング規格は主に H.264、H.265、MJPEG の 3 種類です。 ☐ H.264 H.264 には H264 low profile、H264 Main Profile、H264 High Profile があり、順に H.264 圧縮アルゴリズムの最適化レベルが向上し、エンコーディング圧縮性能が高まります。純粋なハードウェアデコード機器を使用する場合は、ハードウェアのデコード性能に応じて、対応するエンコーディング圧縮アルゴリズムを選択してください。 ☐ H.265 H.265 は H.264 に続く新しい映像エンコーディング規格です。既存の H.264 規格を基に一部技術を保持しつつ、関連技術を改良しています。新技術によりストリーム、エンコーディング品質、遅延、アルゴリズム複雑度の関係を最適化し、最良の設定を実現します。 ☐ MJPEG 標準的なフレーム内圧縮エンコーディング方式です。画像圧縮品質が良好で、画面変動時にモザイクが発生しませんが、比率圧縮ができずデータ量が大きくなります。録画およびネットワーク伝送に大量のハードディスク容量と帯域幅を消費するため、長時間連続録画には不向きで、映像のネットワーク伝送にも適さず、アラーム画像の送信に使用できます。	プルダウンリストから選択 デフォルト： H.264 High profile ※説明： High profile は外部ハードウェアへの要求が高いです。ハードウェアのデコード性能が不足する場合は、H.264 Main Profile または H264 Base Profile に変更してください。 ストリーム 1 に MJPEG 形式を使用する場合、一部機能に影響が生じる可能性があります、FTP アップロードに問題が発生することがあります。
映像エンコーディングレベル	映像エンコーディングレベルは、アルゴリズムがハードウェア機器のデコード性能に要求するレベルです。 H.264 の対応レベルは以下の通りです。 低：H264 lowprofile 中：H264 Main Profile 高：H264 High Profile H.265 の対応レベルは「中」です。	プルダウンリストから選択 デフォルト：高

オーディオエンコーディングタイプ	オーディオエンコーディングタイプには G711_ALAW、G711_ULAW、RAW_PCM があります。 ☐ G711_ALAW：主にヨーロッパおよび世界その他地域で使用されます。 ☐ G711_ULAW：主に北米および日本で使用されます。 ☐ RAW_PCM：オーディオの生データです。主にプラットフォームのデータ保存に使用されます。	プルダウンリストから選択
解像度	IP デバイスの解像度を表示します。通常、解像度が高いほど画像が鮮明になります。 ※説明 ネットワークカメラは機種により解像度が異なります。	プルダウンリストから選択
フレームレート (fps)	フレームレートは 1 秒あたりの表示フレーム数の計測単位です。フレームレートが高いほど、画面がリアルでスムーズになります。人間の視覚特性上、画面のフレームレートが 22.5f/s を超えると、スムーズかつ連続的な画面と認識されます。 周波数別のフレームレート範囲は以下の通りです。 ☐ 50Hz：1f/s～25f/s。 ☐ 60Hz：1f/s～30f/s。 ※説明 周波数の設定については「デバイス設定＞カメラ」を参照してください。	プルダウンリストから選択
I フレーム間隔	I フレームはフレーム内符号化画像で、他のフレームを参照せず、自身のフレーム情報のみを参照します。 I フレーム間隔が小さいほど映像品質が向上しますが、帯域幅の消費量が増加します。	プルダウンリストから選択
ビットレートタイプ	ビットレートとは 1 秒あたりのストリームで伝送されるビット数、すなわちデータの記録・伝送・保存時に単位時間で送信されるデータビット数です。 ビットレートタイプは以下 2 種類に分かれます。 ☐ CBR（固定ビットレート） 圧縮速度が速いですが、動的画面においてビットレートが不適切な場合、画面が不鮮明になることがあります。 ☐ VBR（可変ビットレート） ビットレートが画像の複雑さに応じて変動します。エンコーディング効率が高く、高速な動きの画面の鮮明度を保証できます。	プルダウンリストから選択

ビットレート	映像の最大ビットレートを表示します。 カメラの機種により範囲が異なります。実際の機種の仕様を準拠してください。 デバイスは選択した解像度に基づきビットレートを自動推奨します。推奨値が要求を満たさない場合は手動で変更可能です。	入力欄に数値を入力 デフォルト：6000
画像品質	カメラから出力される画像の品質です。	プルダウンリストから選択
スマートエンコーディング	スマートエンコーディングには H.264、H.265 に対応しています。 スマートエンコーディングを有効にすると、圧縮性能が向上し、ストレージ容量の消費が削減されます。 ※メインストリームのみがスマートエンコーディングに対応しています。	スイッチ押下で有効化
イベントストリーム	有効にすると、アラームイベント発生時にイベントストリームで設定したフレームレート・ビットレートで録画され、アラーム時に高品質な映像録画が実現できます。アラーム非発生時は上記の設定パラメータで録画されます。	スイッチ押下で有効化

パラメータ設定画面で「適用」をクリックすると、

- ☐ 「適用成功」ダイアログが表示された場合、「確定」をクリックするとシステムに設定が保存されます。
- ☐ 「適用失敗」ダイアログが表示された場合、管理者は「パラメータ設定」の権限を現在のユーザーに割り当てる必要があります。
- ☐ 「不正なビットレート値です」の提示が表示された場合、ビットレートを再入力してください。
- ☐ 変更後の効果はライブ映像または保存した録画で確認できます。

2.3 画像パラメータ

2.3.1 デバックモード

図 2-3 画像パラメータ設定画面

ローカルネットワーク ビデオ **画像パラメータ** OSD 日時

デバックモード 通常モード

スキーム スキーム 1 ▼

モード >

画像 >

シーン >

露出 >

ホワイトバランス >

デイ/ナイト >

ノイズ除去 >

画像強調 >

工場出荷時設定に戻す リセット 適用

※説明：

- ☐ すべての設定はデバックモードでのみ変更可能です。
- ☐ ファクトリリセット：すべてのパラメータが出荷時のデフォルト設定に復元されます。
- ☐ リセット：設定が前回の保存値に復元されます。

2.3.2 モード

図 2-4 モード設定画面

モード

スイッチモード なし ▼

開始時間 00 ▼ : 00 ▼

終了時間 24 ▼ : 00 ▼

「なし」「時間モード」「ディ/ナイト連動モード」から選択可能です。

時間モード：設定した時間になると設定案が自動的に切り替わります。最大 4 種類の設定案を作成可能です。

ディ/ナイト連動モード：設定した時間にディ/ナイトモードが自動的に切り替わります。

なし：現在の設定案を常に実行します。

2.3.3 画像

図 2-5 画像設定画面

画像



表2-3 画像パラメータ説明

項目	説明	設定方法
明るさ	画面全体の明るさを調整します。値が大きいほど画面が明るく、小さいほど暗くなります。	スライダーで調整 デフォルト：50
彩度	画面の色彩鮮やかさを調整します。値が大きいほど色が鮮やかで、小さいほどくすんだ色になります。	スライダーで調整 デフォルト：50
シャープネス	画像の鮮明さを調整します。値が大きいほど画面が鮮明で層感が強く、小さいほどぼやけて層感が弱くなります。	スライダーで調整 デフォルト：50
コントラスト	画面の明るさと暗さの差を調整します。 値が大きいほど反差が強く、暗い部分はより暗く、明るい部分はより明るくなり；値が小さいほど反差が弱く、明暗の差が小さくなります。	スライダーで調整 デフォルト：50

2.3.4 シーン

図 2-6 シーン設定画面

シーン

シーン

屋外

ミラー表示

正常

☐ 廊下モード

注意: [廊下モード]/[ミラー表示] を変更した後、移動検知領域、プライバシー遮蔽領域、スマート分析領域、ROI 領域および OSD 領域を再設定してください。

表2-4 シーンパラメータ説明

項目	説明	設定方法
シーン	カメラの稼働シーンを選択： ☐ 室外 ☐ 室内	プルダウンリストから選択 デフォルト：室外
ミラー表示	画像の画素位置を切り替え： ☐ 正常：画像を反転しない ☐ 水平：画像を左右反転 ☐ 垂直：画像を上下反転 ☐ 水平+垂直：画像を 180° 回転	プルダウンリストから選択 デフォルト：正常
廊下モード	廊下モードを有効にすると、カメラ画像が時計回りに 90° 回転し、廊下視点で再生されます。 一部機種では H.265/H.264 形式で CIF/QVGA 解像度を選択した場合、ストリーム 2・3 のライブ映像再生不可の場合があります。	チェックボックスで有効化 デフォルト：無効

2.3.5 露出

図 2-7 露出設定画面

露出

測光エリア グローバル ▼

露出モード 自動 ▼

最大シャッター速度 1/25 ▼

最大ゲイン — + 50

図 2-8 露出設定画面（PTZ カメラ）

露出 ▼

測光エリア グローバル ▼

露出モード 自動 ▼

最大シャッター速度 1/25 ▼

最大ゲイン — + 50

表2-5 露出パラメータ説明

パラメータ	説明	設定方法
露出モード	測光エリア、絞り、シャッター、ゲインを調整して画面の明るさを調整します。選択可能なモード： ☐ 自動：監視環境に応じてシステムが自動で露出調整。 ☐ 手動：シャッター / 絞り / ゲインを手動調整して明るさを調整。 ☐ シャッター優先：シャッター値 / 露出補正を手動設定、絞り / ゲインはシステムが自動調整。	プルダウンリストから選択 デフォルト：自動

パラメータ	説明	設定方法
測光エリア	測光対象のエリアを選択： ☐ グローバル測光：画面全域を同等の重みで測光。 ☐ 中心点：画面中心部（1/5 面積）の重みが最も高く、外周に向かって重みが低下。 ☐ 中心領域：画面縦中央部（1/2 面積）の重みが最も高く、その他領域は最低。	プルダウンリストから選択 デフォルト：グローバル測光
最大シャッター速度	シャッターモードを「自動シャッター」に選択時に有効。カメラが環境の光量に応じてシャッター時間を自動調整し、設定値を超えることはありません。	プルダウンリストから選択 デフォルト：1/25
最大ゲイン	露出モードが「自動」時に有効。デバイスが外部光量の変化に応じてゲインを自動調整し、設定値を超えることはありません。	スライダーで調整 デフォルト：50
固定ゲイン	露出モードが「手動」時に調整可能な固定ゲイン値です。	スライダーで調整 デフォルト：50
絞り	絞りでレンズの入光量を制御します。 自動絞りの選択肢： ☐ 自動：絞りの大きさを自動制御して入光量を調整。 ☐ 全開：絞りを完全に開放。 PTZ カメラは具体的な絞り値を選択可能。	プルダウンリストから選択 デフォルト：自動

2.3.6 ホワイトバランス

図 2-9 ホワイトバランス設定画面

ホワイトバランス

モード

自動

赤色ゲイン

-

+

0

青色ゲイン

-

+

0

表2-6 ホワイトバランスパラメータ説明

パラメータ	説明	設定方法
モード	シーンに応じて対応するホワイトバランスモードを選択すると、画像の色再現がよりリアルになります。 ☐ 自動ホワイトバランス：監視環境に応じてシステムが自動調整。 ☐ 手動選択：「タングステンランプ」「蛍光灯」「日光」「陰影」から選択（光源の色温度が低い順から高い順）	プルダウンリストから選択 デフォルト：自動
赤色ゲイン	赤いチャンネルに作用するゲイン値で、値が大きいほど色温度が低くなります。 ※手動モードが「カスタム」時にのみ有効	スライダーで調整 デフォルト：0
青色ゲイン	青いチャンネルに作用するゲイン値で、値が大きいほど色温度が高くなります。 ※手動モードが「カスタム」時にのみ有効	スライダーで調整 デフォルト：0

2.3.7 デイ/ナイト

図 2-10 自動モード

デイ/ナイト

デイナイトモード 自動 ▼

遅延(S) —  + 5

デイナイト切替感度 —  + 50

ライト制御モード IR ▼

IR 自動 ▼

強度 —  + 50

図 2-11 デイモード

デイ/ナイト

デイナイトモード

デイモード

ライト制御モード

IR

IR

自動

強度

-



+

50

図 2-12 ナイトモード

デイ/ナイト

デイナイトモード

ナイトモード

ライト制御モード

IR

IR

自動

強度

-



+

50

図 2-13 タイマーモード

デイ/ナイト

デイナイトモード

タイマー

D->Nの時刻

18

▼

:

00

▼

N->Dの時刻

06

▼

:

00

▼

ライト制御モード

IR

IR

自動

強度

-



+

50

表2-7 デイ/ナイトパラメータ説明

パラメータ	説明	設定方法
デイ/ナイトモード	自動、デイモード、ナイトモード、タイマーから選択。 ☐ 自動：環境の明るさに応じて画面の色彩・フィルター状態を自動切替。 ☐ デイモード：常にカラー画面、赤外光をセンサーに入れない。 ☐ ナイトモード：常に白黒画面、赤外光をセンサーに入れる。 ☐ タイマー：設定した時間にデイ / ナイトモードを自動切替。	プルダウンリストから選択 デフォルト：自動
デイ/ナイト切替感度	モードが「自動」時に設定可能。感度が高いほど、低い明るさでモード切替が行われます。	スライダーで調整
デイ→ナイト閾値	モードが「自動」時に有効。システムゲイン値が閾値を超えるとナイトモードに切り替わります。 ※デイ→ナイト閾値はナイト→デイ閾値より大きく設定必須	スライダーで調整 デフォルト：70
ナイト→デイ閾値	モードが「自動」時に有効。システムゲイン値が閾値を下回るとデイモードに切り替わります。 ※デイ→ナイト閾値はナイト→デイ閾値より大きく設定必須	スライダーで調整 デフォルト：30
遅延	デイ↔ナイトモード切替の遅延時間です。 ※モードが「自動」時に有効	スライダーで調整 デフォルト：5

パラメータ	説明	設定方法
ライト制御モード	デバイスの種別に応じて調整可能。赤外線、デュアルライト、温光、ホワイトライト、オフから選択 補光灯設定 カメラの補光には 4 種類の設定があります。デュアルライト（現在の補光灯は警報発生後、温光補光に切り替わり、警戒解除後 30 秒で元の補光灯に復帰して補光を行います。）、温光、赤外線、オフ（補光灯をオフに選択した場合、画面は現在の補光モードに維持されます。）カメラに搭載された補光灯に応じて、対応するモードを設定してください。 デイモード：24 時間環境光が十分な場所で使用し、補光灯を起動しません。画面はカラー表示となります。 ナイトモード：24 時間環境光が不足する場所で使用し、補光灯を起動します（補光灯は上記 4 種類の設定から選択可能です）。 自動モード：環境の明るさに応じて、設定済みの補光モードを自動的に切り替えます。 タイマーモード：昼間開始・終了の時間を設定し、設定時間帯は昼間モードとして動作します。 補光灯の輝度は自動または手動から選択可能です。自動：現在の環境に応じて輝度を自動調整します。手動：スライダーをドラッグするか数値を設定することで、輝度を調整・制御できます。	
赤外線	☐ 自動：フォトレジスターで環境光を検知し、赤外ライトを自動開閉。 ☐ 手動：赤外ライトの強度を調整して画像明るさを制御。 ☐ オン：強制的にナイトモードに切替。 ☐ オフ：赤外ライトを閉じ、フィルター / 画面色彩は環境光で自動切替。 ※モードが「自動」時に有効	プルダウンリストから選択 デフォルト：オフ
ホワイトライト	デバイスがホワイトライト搭載時に設定可能。 ライト制御モードで「ホワイトライト」を選択後、自動/手動を設定し、手動時は強度を調整します。	プルダウンリストから選択

パラメータ	説明	設定方法
強度	赤外ライトの輝度値で、値が大きいほど画像が明るく、小さいほど暗くなります。	スライダーで調整 デフォルト：50
デイ→ナイト時間	モードが「タイマー」時に設定必須。デイモードからナイトモードに切り替わる時間です。	プルダウンリストから選択 デフォルト：18:00
ナイト→デイ時間	モードが「タイマー」時に設定必須。ナイトモードからデイモードに切り替わる時間です。	プルダウンリストから選択 デフォルト：6:00

2.3.8 ノイズ除去

図 2-14 ノイズ除去設定画面

ノイズ除去

☒ 2D NR

自動

最大強度

—



+

50

☒ 3D NR

自動

最大強度

—



+

50

表2-8 ノイズ除去パラメータ説明

パラメータ	説明	設定方法
2D ノイズ除去	画像のノイズを低減し、静止したノイズに有効です。値が大きいほど除去強度が高くなります。	プルダウンリストから選択 デフォルト：自動
3D ノイズ除去	画像のノイズを低減し、動くノイズに有効です。値が大きいほど除去強度が高いが、動く被写体に尾引き現象が発生します。	プルダウンリストから選択 デフォルト：自動
最大強度	値が「0」の場合ノイズ除去無効、値が「0」超の場合有効。システムが設定値以内で環境の明るさに応じて除去強度を自動調整します。	スライダーで調整 デフォルト：50

パラメータ	説明	設定方法
手動強度	ノイズ除去モードを「手動」に選択時に調整可能です。	スライダーで調整 デフォルト：50

2.3.9 画像補正

図 2-15 画像補正設定画面



表2-9 画像補正パラメータ説明

パラメータ	説明	設定方法
ワイドダイナミックレンジ	画面内に明暗の極端な領域が同時に存在する場合、白飛びまたは暗部の細部消失が発生することがあります。有効にすると暗部を明るく、明部を抑えて良好な画質を実現します。	チェックボックスで有効化 デフォルト：無効
強光抑制	有効にすると画面内の強い光の部分が抑制され、過曝を防止します。	チェックボックスで有効化 デフォルト：無効
逆光補正	有効にすると画面全体の明るさが向上し、逆光の被写体が鮮明になります。但し背景部分は白飛びします。	チェックボックスで有効化 デフォルト：無効
振れ補正	有効にするとカメラの微細な振動を低減し、振動と視野角の変動を抑制します。 ※一部機種対応	チェックボックスで有効化 デフォルト：無効

パラメータ	説明	設定方法
霧除去	有効にすると霧のある環境でも鮮明な画像を取得できます。値が大きいほど画像が鮮明になります。	スライダーで調整 デフォルト：50

2.3.10 ズームフォーカス（一部機種対応）

操作手順

- 1、画像パラメータ画面で「ズームフォーカス」タブを選択し、設定画面に進みます（図 2-16、図 2-17 参照）。

図 2-16 ズームフォーカス設定画面

ズームフォーカス



図 2-17 ズームフォーカス設定画面（PTZ カメラ）

ズームフォーカス

☐ デジタルズーム

*スマートトラッキングではデジタル変倍はサポートされていません。慎重に操作してください。

フォーカスモード セミオート ▼

オートフォーカス感度

 + 50

最短撮影距離 1.5m ▼

レンズ初期化

表2-10 ズームフォーカスパラメータ説明

パラメータ	説明	設定方法
デイ/ナイト切替フォーカス	デイ⇔ナイトモード切替時に、カメラが自動でフォーカス調整を行います。	チェックボックスで有効化 デフォルト：無効
オートフォーカス 1 回	ボタンをクリックすると、1 回の自動フォーカス調整が実行されます。	ボタン押下
初期化	ボタンをクリックすると、カメラレンズが初期位置に復帰します。	ボタン押下
デジタルズーム	有効にすると、光学ズームの最大 37 倍を超えた範囲でデジタル拡大が行われます。	プルダウンリストから選択 デフォルト：無効
フォーカスモード	自動/半自動/手動から選択。 自動：システムが自動でフォーカス調整（感度調整可）。 半自動：同一シーンで焦点 / 拡大倍率が変化した場合、1 回のみ自動フォーカス。 手動：アプリ側のボタンで手動フォーカス。	プルダウンリストから選択 デフォルト：自動
オートフォーカス感度	オートフォーカスの感度で、値が高いほど画面の微細な変化で再フォーカスが実行されます。	プルダウンリストから選択 デフォルト：標準
ニアフォーカス最短距離	フォーカス可能な最短距離で、設定値未満の距離にはフォーカスしません。 例：1.5m に設定した場合、1.5m 超の被写体にのみフォーカスし、1.5m 未満の変化は影響しません。 ※可視光にのみ対応	プルダウンリストから選択 デフォルト：3 m

2.4 OSD

OSD 画面では、デバイス名、チャンネル番号、チャンネル名、時間、カスタムコンテンツを映像画面に表示することができます。

□ 解像度が D1/CIF の場合、Web 画面で設定したカスタム OSD は最大 22 文字まで表示可能です。

□ OSD は簡体字中国語、英語、数字、一部特殊記号にのみ対応します。

図 2-18 OSD 設定画面

IP Camera

ライブ映像

録画再生

スナップショット

IVS

設定

クイックスタート

システム

ネットワーク

映像/音声

画像

イベント

ストレージ

ローカルネットワーク

ビデオ

画像パラメータ

OSD

日時

☒ 左揃え
 ☐ 時間

☒ 左揃え
 ☐ 中保

☒ 左揃え
 ☐ test

☒ 左揃え
 ☐ test

☐ 左揃え

☐ 左揃え

☐ 左揃え

☐ 左揃え

詳細

時間形式

DD/MM/YYYY hh:mm:ss ww

文字色

文字サイズ

中

文字透明度

不透明

明るい背景の文字

デバイス名称

12 時間表示

曜日表示

適用

表2-11 OSD パラメータ説明

パラメータ	説明	設定方法
チャンネル	主にデュアルスペクトラムネットワークカメラの設定に使用します。	プルダウンリストから選択
時間	時間表示の有効 / 無効を設定します。	チェックボックスで有効化
フォーカス状態	フォーカス状態の表示の有効 / 無効を設定します。	スイッチ押下
カスタム OSD	任意の 1 行の文字列設定が可能です。	入力欄に入力

時間形式	時間の表示形式（例：時：分：秒 年 - 月 - 日 曜日）を設定します。	プルダウンリストから選択 デフォルト：hh:mm:ss YYYY-MM-DD ww
文字色	OSD 文字の色を設定します。	プルダウンリストから選択 デフォルト：なし
文字サイズ	OSD 文字のサイズを設定します。	枠①のプルダウンリストから選択 デフォルト：中
文字透明度	OSD 文字の透明度を設定します。	プルダウンリストから選択 デフォルト：不透明
明るい背景の文字	背景が明るい文字を設定します。	スイッチ押下
デバイス名	デバイス名表示の有効 / 無効を設定します。	スイッチ押下
PTZ 座標	PTZ カメラ専用設定項目です。	スイッチ押下
PTZ 操作		スイッチ押下
PTZ 温度		スイッチ押下
フォーカス状態	フォーカス実行時の状態を表示します。	スイッチ押下
12 時間制	時間表示を 12 時間制に切り替えます。	スイッチ押下
曜日表示	OSD に曜日情報を表示します。	スイッチ押下

※説明：

- ☐ マウスで OSD 表示枠を選択し、ドラッグすることで表示位置を移動可能です。
- ☐ OSD 表示エリアのカスタムコンテンツは最大 6 項目まで表示可能です。

2.5 日時

操作説明

1、「日付と時間」画面ではデバイスの日付・時間を変更できます。設定項目は以下の通りです。

- ☐ タイムゾーンおよびサマータイムの設定
- ☐ 日付と時間の直接設定
- ☐ NTP サーバーの有効 / 無効設定

図 2-19 日時設定画面

IP Camera

ライブ映像 録画再生 スナップショット IVS 設定

クイックスタート

ローカルネットワーク ビデオ 画像パラメータ OSD 日時

システム
ネットワーク
映像/音声
画像
イベント
ストレージ

タイムゾーン (GMT) Greenwich Mean Time : Dublin, Edinburgh, Lisbon, London

デバイス時間 2025-12-25 14:01:30

手動設定 2025-12-25 14:01:20

☐ PC時間と同期

NTP ☒

サマータイム ☐

適用

表2-12 日時パラメータ説明

パラメータ	説明	設定方法
タイムゾーン	----	プルダウンリストから選択 デフォルト：グリニッジ標準時
デバイス時間	デバイスに表示される現在時間	☐ 現在の PC 時間と同期 ☐ 手動でデバイス時間を設定
手動設定	手動でデバイスの日時を設定	入力枠をクリックし、「年 - 月 - 日 - 時 - 分 - 秒」形式で設定
PC 時間同期	NTP 未起動時、チェックするとデバイス時間を PC 時間と一致させます。	チェックボックスで有効化
NTP	カメラの時間校正に使用する NTP サーバーアドレス設定 NTP サーバー搭載ホストでデバイス時間を校正可	スイッチ押下 デフォルト：OFF
サーバーアドレス	NTP サーバーの IP アドレスまたはドメイン設定	
ポート	NTP サーバーのポート番号設定（範囲：1～65535）	入力枠にポート番号を入力 デフォルト：123
時間間隔	NTP サーバーとの時間同期間隔設定（範囲：1～1440 分）	入力枠に間隔時間を入力 デフォルト：60

サマータイム	サマータイムの開始 / 終了時間設定 サマータイム有効時、開始時間に達すると時間が 1 時間進み、終了時間に達すると 1 時間戻ります。 ※説明：サマータイム（DST）はエネルギー節約のための時間制度で、全世界約 110 カ国が採用。ロシアは 2011 年 3 月 27 日より永久的にサマータイムを適用	スイッチ押下 デフォルト：OFF
--------	--	---------------------

2、「タイムゾーン」プルダウンリストから所在地の都市タイムゾーンを選択します。

3、デバイス時間を変更します。

☐ 手動で時間を設定する場合

- ①. 「手動設定」表示エリアをクリックし、日時設定画面を表示します。
- ②. 必要な日付と時間を選択します。

☐ PC 時間と同期する場合

「PC 時間同期」にチェックし、PC 時間をデバイスに同期させます。

4、NTP 時間校正を設定します。

- ①. スイッチをクリックして「NTP サービス」を有効にします。
- ②. 「NTP」入力枠に正しい NTP サーバーアドレス/ドメイン、サーバーポート番号、時間校正間隔を入力します。

5、スイッチをクリックして「サマータイムに応じて時計を自動調整」を有効にし、サマータイムの開始/終了時間を正しく入力します。

6、「適用」をクリックし、「適用成功」ダイアログが表示されれば設定完了です。

3 システム

3.1 システム

3.1.1 基本設定

図 3-1 基本設定画面

IP Camera

ライブ映像

録画再生

スナップショット

IVS

設定

クイックスタート

システム

基本設定

パスワード変更

ユーザー

デバイスログ

メンテナンス

セキュリティ

ネットワーク

映像/音声

画像

イベント

ストレージ

デバイス情報

日時

システム

ソフトウェアライセンス

デバイスID

999019

デバイス名称

192.168.2.169

MACアドレス

00:1C:27:99:90:19

カメラタイプ

AI_MULTIOBJECT

製品モデル

SN-IPV7180HNBC-B2.8-13

メーカー名

IPCamera

ハードウェアバージョン

V320013_51

ソフトウェアバージョン

v5.1.1306.2412.3.0.1.2.0

Uboot バージョン

v3.x_20240509

カーネルバージョン

v3.3_20240625

チャンネル数

1

アラーム入力数

0

アラーム出力数

0

シリアルポート数

0

ネットワークカード数

1

適用

表3-1 パラメータ説明

パラメータ名	説明	設定方法
デバイス ID	デバイスの唯一識別番号で、プラットフォーム管理時にデバイスを区別するために使用します。	自動表示、入力不要
デバイス名	デバイスの名称設定 ※説明：入力文字列は 32 バイト / 簡体字 10 文字以内に制限、超過すると設定失敗となります。	テキストボックスに任意のデバイス名を入力
MAC アドレス	-	自動表示、入力不要
カメラタイプ		
製品モデル		
メーカー名		
ハードウェアバージョン		
ソフトウェアバージョン		
Uboot バージョン		
カーネルバージョン		
チャンネル数		
アラーム入力数		
アラーム出力数		
シリアルポート数		
ネットワークカード数		

3.1.2 日時

2.5 日時をご参照ください

3.1.3 システム言語設定

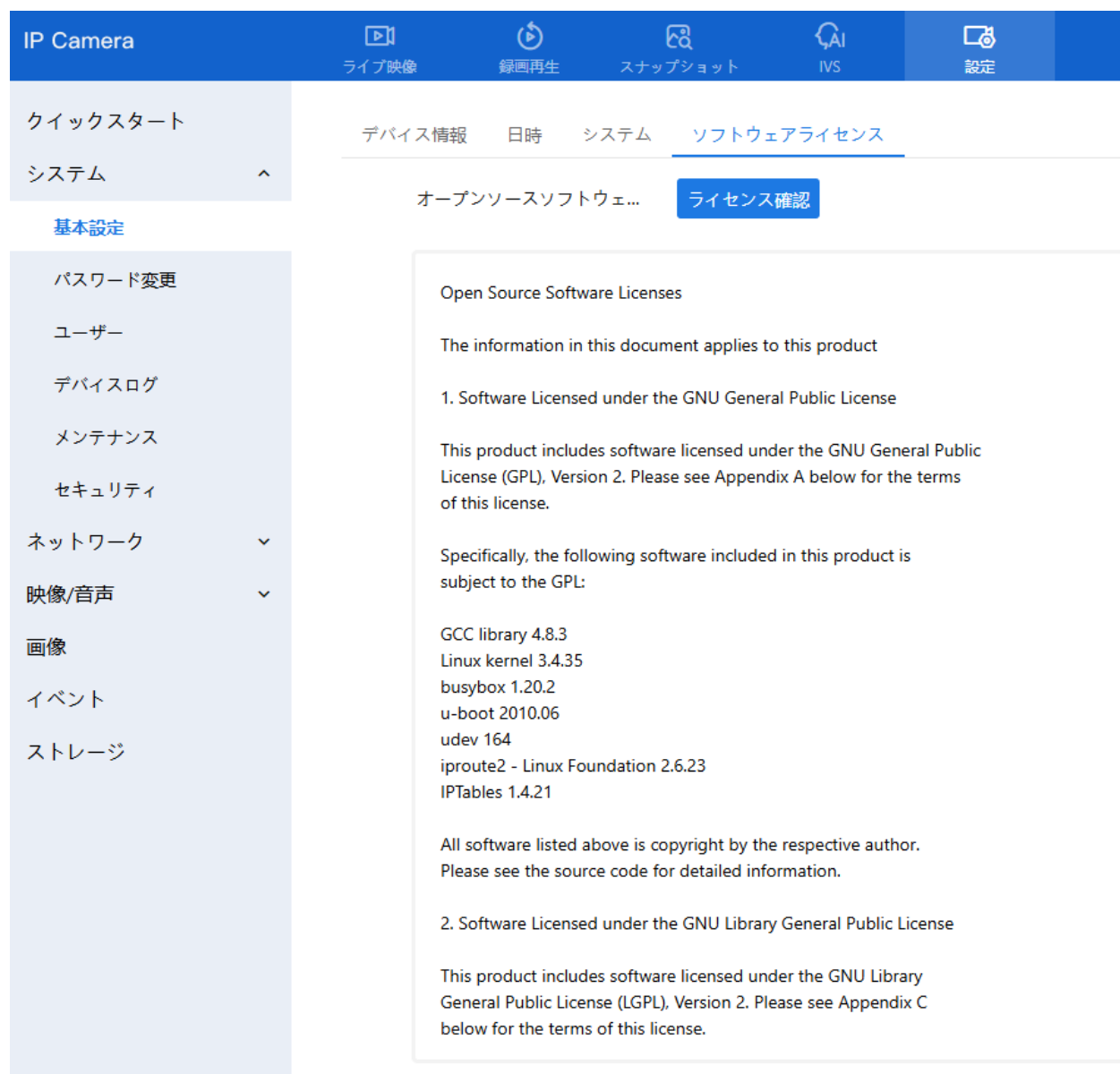
アラームメール、OSD に表示する曜日、FTP 送信画像のファイル名の表示言語を設定できます。

図 3-2 システム言語設定画面



3.1.4 ソフトウェアライセンス

図 3-3 ソフトウェアライセンス



3.2 パスワード変更

3.2.1 パスワード変更

1.3 パスワード変更をご参照ください

3.2.2 メールアドレス連携

パスワードリセット用のメールアドレスを設定します。正しいメールアドレスを入力すると、パスワードを忘れた際にこのアドレスへ一時パスワードを受信して復旧できます。

図 3-4 メールアドレス連携画面

The screenshot shows the 'IP Camera' web interface. The top navigation bar includes 'ライブ映像' (Live Video), '録画再生' (Recording/Playback), 'スナップショット' (Snapshot), 'IVS', and '設定' (Settings). The left sidebar menu lists 'クイックスタート' (Quick Start), 'システム' (System), '基本設定' (Basic Settings), 'パスワード変更' (Change Password), 'ユーザー' (User), 'デバイスログ' (Device Log), 'メンテナンス' (Maintenance), 'セキュリティ' (Security), 'ネットワーク' (Network), '映像/音声' (Video/Audio), '画像' (Image), 'イベント' (Event), and 'ストレージ' (Storage). The main content area is titled 'メールアドレス連携' (Email Address Linkage) and features three tabs: 'パスワード変更' (Change Password), 'メールアドレス連携' (Email Address Linkage), and '認証質問連携' (Authentication Question Linkage). Under the 'メールアドレス連携' tab, there is a label 'メールアドレス' (Email Address) and an empty text input field. Below the input field is a blue 'OK' button.

3.2.3 認証質問連携

パスワードリセット用の認証質問を設定します。3 つの認証質問を選択して回答を入力すると、パスワードを忘れた際に質問に正解することで、パスワード再設定画面に進み新規パスワードを設定できます。

図 3-5 認証質問連携画面

パスワード変更
メールアドレス連携
認証質問連携

質問1	子供のころに夢見た職業は? ▼
回答1	
質問2	子供の頃の英雄は誰ですか? ▼
回答2	
質問3	長期休暇で滞在したい日本の都市名... ▼
回答3	

3.3 ユーザー

ユーザーの追加・編集・削除が可能で、「権限」項目で各ユーザーに具体的な操作権限を付与することができます。

- 1、「設定＞システム＞ユーザー」を選択し、ユーザーの追加やオンラインユーザーの確認を行います。

「ユーザー」画面に進みます（図 3-6 参照）。「追加」をクリックしてユーザーを登録し、詳細パラメータは表 3-2 を参照してください。

図 3-6 ユーザー管理画面

IP Camera

ライブ映像
録画再生
スナップショット
IVS
設定

クイックスタート
システム

基本設定
パスワード変更
ユーザー

デバイスログ
メンテナンス
セキュリティ
ネットワーク
映像/音声
画像

ユーザー
オンラインユーザー

追加

ID	ユーザー名	グループ	説明	操作
1	admin	SuperAdmin	admin	

図 3-7 ユーザー追加画面

ユーザー

オンラインユーザー

← ユーザー追加

ユーザー名

パスワード

?

パスワード確認

グループ

Administrators

▼

備考

権限	権限説明
☒ ライブ映像	
☒ ビデオ制御	
☒ PTZ制御	
☒ オーディオ	
☒ 録画再生	
☒ 録画ポリシー	
☒ HDD管理	
☒ 権限管理	
☒ パラメータ設定	
☒ システムメンテナンス	
☒ ログ	
☒ AI 検出	

キャンセル

OK

表3-2 ユーザー設定パラメータ説明

パラメータ名	説明	設定方法
ユーザー名	ネットワークカメラへのログインに使用するユーザー名	ユーザー追加時に設定、自動的にユーザーリストに追加

グループ	ユーザーの所属権限グループ。デフォルト権限グループは以下の通り： ☐ Administrators：権限管理 / システム保守 / パラメータ設定 / 録画操作 / 映像制御 / ライブ映像など全権限を保有。 ☐ Operator：システム保守 / パラメータ設定 / 録画再生 / 映像制御 / ライブ映像の権限を保有。 ☐ Media user：ライブ映像の閲覧権限のみ保有。	ユーザー追加時、プルダウンリストから選択
権限	付与する権限を個別にチェック。グループにより権限の範囲が異なります。	

2、ユーザーの削除、追加及び変更。

具体的な機能操作方法につきましては、表 3-3 に記載しています。

表3-3 機能説明

機能	操作手順	説明
追加	1、「追加」をクリックして「ユーザー追加」画面に進む 2、ユーザー名、パスワード、確認パスワードを入力 3、プルダウンリストから「グループ」を選択 4、ユーザー「権限」をチェック 5、「確定」をクリックして追加完了	管理者アカウントおよび一般ユーザーアカウントの新規作成が可能です。
編集	1、対象ユーザーの操作アイコン  をクリックして「ユーザー編集」画面に進む。 2、ユーザーパラメータを修正。 3、「確定」をクリックして編集完了。	ユーザー名、パスワード、権限グループ、操作権限の変更が可能です。 ※パスワードルール： ☐ 8～32 文字の長さに制限。 ☐ 大文字 / 小文字英字 + 数字を含む必要あり。 ☐ ユーザー名またはユーザー名の逆順は使用不可能。
削除	1、対象ユーザーの操作アイコン  をクリック。 2、「削除してもよろしいですか？」ダイアログが表示されたら「確定」をクリックして削除完了。	不要なユーザーアカウントの削除が可能です。

※説明

ユーザー権限のいずれかをクリックすると、該当権限の詳細説明を確認できます。

3.4 デバイスログ検索

3.4.1 操作ログ検索

操作説明

操作ログにはデバイス稼働中のユーザー操作記録と定時タスク指令が保存されます。ログ種別は権限管理 / システム保守 / デバイス設定 / 録画操作 / 映像制御 / ライブ映像を含みます。

操作手順

- 1、「設定＞デバイスログ＞操作ログ」を選択します。「操作ログ」画面に進みます（図 3-8 参照）。

図 3-8 操作ログ検索画面

時間	ユーザー名	ログ
----	-------	----

- 2、検索条件を設定します。

1. 「開始時間」「終了時間」の入力枠をクリックし、日時設定画面を表示します。
2. 必要な開始 / 終了時間を設定します。
3. 「操作ログ」プルダウンリストから検索するログ種別を選択します。

3、「検索」をクリックし、対象ユーザーの操作ログを表示します。

4、ログをダウンロードします。

1. 操作ログ画面で検索する開始 / 終了時間、ログ種別を設定します。
2. 画面の「ダウンロード」をクリックします。
3. ファイルはブラウザのデフォルト保存パスに保存されます。
4. 保存パスを開き、ファイルをダブルクリックして詳細内容を確認します。

※説明

操作ログのデフォルトファイル名：operationLogExport_日時（例：operationLogExport_20240627_104556）

3.4.2 アラームログ検索

操作説明

アラームログにはデバイス発生のアラーム情報が保存されます。ログ種別はセキュリティアラーム / ディスクアラーム / 録画アラーム / AI 分析アラームを含みます。

操作手順

1、「設定＞デバイスログ＞アラームログ」を選択します。「アラームログ」画面に進みます（図 3-9 参照）。

図 3-9 アラームログ検索画面

アラーム開始時間	アラーム終了時刻	ログ情報	エリアID	ソースID	ターゲットタイプ
----------	----------	------	-------	-------	----------

2、検索条件を設定します。

1. 「開始時間」「終了時間」の入力枠をクリックし、日時設定画面を表示します。
2. 必要な開始 / 終了時間を設定します。

3. 「アラーム種別」プルダウンリストから検索するアラーム種別を選択します。

3. 「検索」をクリックし、対象のアラームログを表示します。

4. ログをダウンロードします。

1. アラームログ画面で検索する開始 / 終了時間を設定します。

2. 検索するログ種別を選択します。

3. 画面の「ダウンロード」をクリックします。

4. ファイルはブラウザのデフォルト保存パスに保存されます。

5. 保存パスを開き、ファイルをダブルクリックして詳細内容を確認します。

※説明

アラームログのデフォルトファイル名：eventLogExport_日時（例：eventLogExport_20240218_102151）

3.4.3 ログ一括収集

操作説明

「収集」をクリックしてログを一括取得することで、デバイスの異常原因を分析・解決できます。収集されるログにはデバイス概要情報 / 重要パラメータ / 操作ログ / アラームログ / アップグレードログ / デバッグログが含まれます。

操作手順

1. 「設定＞デバイスログ＞すべてのログを収集」を選択すると、「すべてのログを収集」画面に進みます（図 3-10 参照）。

図 3-10 ワンクリックでログ収集



2、ログを一括収集します。

1. 「収集」をクリックすると、「192.168.136.31（現在のデバイス IP）から log.tar（2.49M）を開くまたは保存しますか」のダウンロードリンクが表示されます。
2. 「開く」をクリックしてログを検索するか、「保存」をクリックしてログをローカルに保存します。

3.5 デバイスマンテナンス

3.5.1 再起動

デバイスの手動再起動またはタイマーによる再起動の設定が可能です。

操作説明

デバイス再起動を実施する主な状況は以下の通りです。

- ☐ デバイスパラメータ設定エラーにより正常稼働不可の場合
- ☐ ユーザーがデバイスパラメータを再設定し、設定値を有効にする場合

□ リモートでネットワークカメラの再起動操作を実行する場合

操作手順

1、「設定＞システム＞メンテナンス＞再起動」を選択します。「デバイスメンテナンス」画面に進みます（図 3-11 参照）。

図 3-11 デバイス再起映像面



2、手動再起動を実行します。

「再起動」をクリックし、「デバイスを再起動してもよろしいですか？」の確認ダイアログが表示されたら「確定」をクリックして再起動開始。約 5 分後にデバイス再起動が完了します。

3、タイマー再起動を有効にします。「自動再起動」設定画面に進みます（図 3-12 参照）。

図 3-12 自動再起動設定画面

定時再起動

自動再起動 ☐

再起動間隔 毎日

時間 0

適用

4、再起動間隔をプルダウンリストから選択し、「適用」をクリックして設定を確定します。

3.5.2 アップグレード

Web 画面からリモートでファームウェアのアップグレードが実行できます。

操作手順

1、「設定＞システム＞メンテナンス＞アップグレード」を選択すると、「アップグレード」設定画面に進みます。

図 3-13 アップグレード設定画面

IP Camera

ライブ映像 録画再生 スナップショット IVS 設定

クイックスタート

システム

基本設定

パスワード変更

ユーザー

デバイスログ

メンテナンス

セキュリティ

ネットワーク

映像/音声

画像

イベント

ストレージ

再起動 アップグレード 出荷時のデフォルト値に復元する 読み込/設定書出

アップグレード

アップグレードファイル

ファイル選択

ファイルが選択されていません

アップグレード

バージョンダウングレードは禁止されています!

2、「ファイルを選択」をクリックし、アップグレードパッケージファイルを選択します。

3、「アップグレード」をクリックします。

- 「アップグレード成功、デバイスを再起動しています。後ほど再ログインしてください」が表示された場合、システムに設定が保存され、デバイスが再起動します。
- その他のメッセージが表示された場合、適合するアップグレードパッケージファイルを再選択してください。

3.5.3 ファクトリリセット

デバイスをファクトリリセットする主な状況は以下の通りです。

- デバイスパラメータ設定エラーにより正常稼働不可の場合
- ユーザーがデバイスパラメータを完全に再設定する場合
- すべてのパラメータを出荷時のデフォルト設定に復元する場合



注意

ファクトリリセット操作を実行すると、IP 設定の保持 / 非保持を選択可の上、すべてのパラメータが出荷時設定に復元されます。操作前にデータの確認を必ず行ってください。

操作手順

- 1、「設定＞システム＞メンテナンス＞ファクトリリセット」を選択すると、「ファクトリリセット」設定画面に進みます。

図 3-14 ファクトリリセット設定画面



- 2、「ファクトリリセット」をクリックし、「ファクトリリセットしてもよろしいですか？」の確認ダイアログが表示されます。
- 3、「確定」をクリックし、デバイスがファクトリリセットを実行します。

3.5.4 設定のインポート/エクスポート

デバイスの各種設定情報をローカルフォルダにエクスポートでき、他のデバイスまたはファクトリリセット後のデバイスに、保存した設定ファイルを再インポートして同じ設定を適用できます。

操作手順

- 1、「設定＞システム＞メンテナンス＞設定のインポート/エクスポート」を選択します。「設定のインポート/エクスポート」画面に進みます（図 3-15 参照）。

図 3-15 設定のインポート/エクスポート画面

- 2、設定のインポート / エクスポートを実行する前に、ユーザーパスワードを入力して認証します。
- 3、「エクスポート」をクリックし、設定ファイルがブラウザのデフォルト保存パスに保存されます。
- 4、ローカルに設定ファイル（config.bin）が存在する場合、「ファイルを選択」をクリックし、ファイルの保存パスから対象の設定ファイルを選択します。
- 5、「アップロード」をクリックし、アップロード成功後にデバイスが自動再起動するため、再ログインしてください。

3.6 セキュリティ

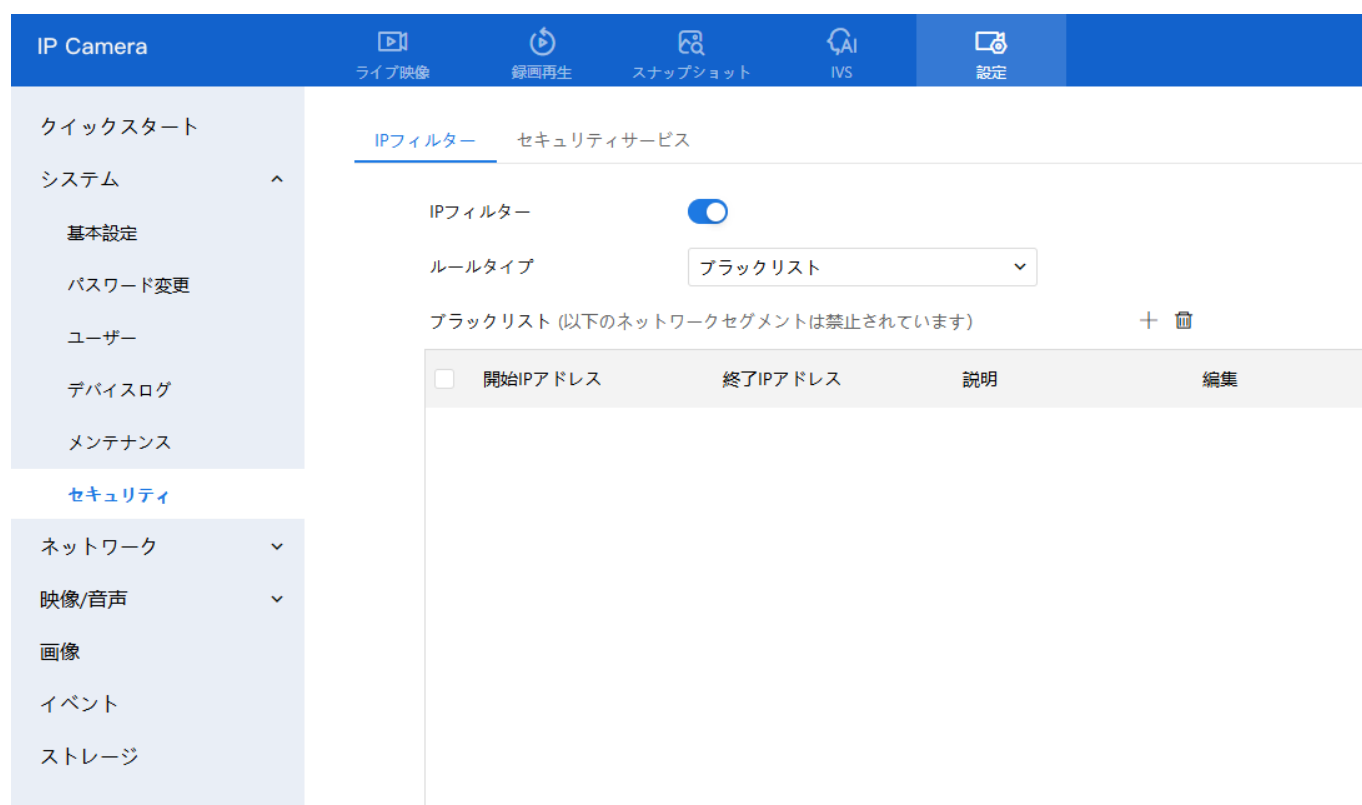
3.6.1 IP フィルタリング設定

指定した IP アドレス範囲に対し、アクセス許可/拒否の状態を設定できます。

操作手順

- 1、「設定> システム> セキュリティ> IP フィルタリング」を選択します。「IP フィルタリング」設定画面に進みます（図 3-17 参照）。

図 3-17 IP フィルタリング設定画面



- 2、スイッチをクリックし、「IP フィルタリング」機能を有効にします。
- 3、IP フィルタリングの各パラメータを設定します。詳細は表 3-4 を参照してください。

表3-4 IP フィルタリングパラメータ説明

パラメータ名	説明	設定方法
IP フィルタリング	IP フィルタリングを有効にする場合は、スイッチをクリックしてオンにします。	スイッチ押下 デフォルト：OFF
ルールタイプ	IP アドレス範囲へのアクセスを拒否/許可するルールを設定。ブラックリスト/ホワイトリストから選択可能。	プルダウンリストから選択 デフォルト：ブラックリスト

ブラックリスト	指定した IP アドレス範囲からのアクセスを拒否します。	+ をクリックし、開始 IP アドレス・終了 IP アドレス・備考を入力後、確定をクリックしてブラックリストに追加。
ホワイトリスト	指定した IP アドレス範囲からのアクセスを許可します。	+ をクリックし、開始 IP アドレス・終了 IP アドレス・備考を入力後、確定をクリックしてホワイトリストに追加。

図 3-18 IP アドレス範囲追加画面

※説明

ブラックリスト / ホワイトリストのリスト右側の  をクリックすると、登録済み IP 範囲の修正が可能です。

リスト内の対象 IP 範囲を選択し、 をクリックすると、登録済みルールの削除が可能です。

4、「適用」をクリックします。

- ☐ 「適用成功」が表示された場合、システムに設定が保存されます。
- ☐ その他のメッセージが表示された場合、画面の提示に従い、制約条件に適合するパラメータに再設定してください。

3.6.2 HTTPS 認証設定

HTTPS 認証サイトで認証書を申請し、HTTPS 方式で Web にログインすることで、認証書の情報を確認できます。

操作手順

- 1、「設定＞システム＞セキュリティ＞HTTPS 認証」を選択すると、「HTTPS 認証」設定画面に進みます。

図 3-19 HTTPS 認証設定画面

IP Camera

ライブ ビデオ再生 IVS 設定

クイックスタート

システム

基本設定

パスワード変更

ユーザー

デバイスログ

メンテナンス

セキュリティ

ネットワーク

映像/音声

画像

イベント

ストレージ

IPフィルター HTTPS 認証 セキュリティセンター

証明書申請

国名

都道府県

住所

組織

組織単位

一般名 192.168.2.119

作成

アップロード

サーバー証明書 ファイル選択 選択されたドキュメントはありません

サーバー鍵 ファイル選択 選択されたドキュメントはありません

削除 アップロード

2、必要な情報を入力して「作成」をクリックすると、システムが認証書情報ファイルを生成します。「エクスポート」をクリックし、certreq.pem ファイルをローカルに保存します。

3、HTTPS 認証申請サイトにアクセスし、前ステップで保存したファイルをインポートして認証書を生成・保存します。

4、「ファイルを選択」をクリックし、生成した認証書ファイルの保存パスからファイルを選択して「アップロード」をクリックします。アップロード成功後、ユーザーは HTTPS 方式で Web ページを開き、本画面で認証書の関連情報を確認できます。

5、事前にサーバー認証書と鍵ファイルを取得済みの場合、「ファイルを選択」から直接該当ファイルをアップロード可能。「削除」をクリックすると、アップロード済みの認証書ファイルを削除できます。

3.6.3 セキュリティサービス

操作説明

不正ログインロック機能を有効にでき、パスワード入力ミスが設定回数を超えるとアカウントがロックされます。ロック時間は 1～30 分の範囲で設定可能。またパスワード強度ルールを設定し、ユーザーがパスワード設定時に指定した強度ルールに準拠する必要があります。

操作手順

- 1、「セキュリティサービス」設定画面に進み、不正ログインロック機能のスイッチをクリックして有効にします。

図 3-20 セキュリティサービス設定画面

The screenshot displays the 'セキュリティサービス' (Security Service) configuration page. The top navigation bar includes 'IP Camera', 'ライブ映像' (Live Video), '録画再生' (Recording/Playback), 'スナップショット' (Snapshot), 'IVS', and '設定' (Settings). The left sidebar lists various system settings, with 'セキュリティ' (Security) highlighted. The main panel shows the '不正ログインロック' (Unauthorized Login Lock) toggle switch, which is currently disabled. Below it, the '試行エラー回数' (Number of Attempt Errors) is set to 5, and the 'ロック時間' (Lock Time) is set to 15 minutes. A blue '適用' (Apply) button is located at the bottom of the settings area.

- 2、「パスワード入力ミスの許容回数」と「アカウントロック時間」を設定します。パスワード入力ミス回数が設定値を超えると不正ログインと判定され、設定した時間だけデバイスへのアクセスがロックされます。
- 3、「パスワード強度ルール」を設定した後、「適用」をクリックして設定を保存します。

4 ネットワーク

4.1 基本設定

ネットワークパラメータの基本設定には、ローカルネットワーク、デバイスポート、ポートマッピング、DDNS、PPPoE などの設定が含まれます。

4.1.1 ローカルネットワーク

詳細はクイックスタート章 2.1 を参照してください。

4.1.2 デバイスポート

ローカルエリアネットワーク内のデバイスをルーターでマッピングする場合、HTTP ポート、コントロールポート、RTSP ポート、HTTPS ポート の設定が必要です。機種により仕様に差異がある場合は、実機の設定内容を優先してください。

操作手順

- 1、「設定＞ネットワーク＞基本設定＞デバイスポート」を選択すると、「デバイスポート」設定画面に進みます（図 4-1 参照）。

図 4-1 デバイスポート設定画面

設定項目	設定値	範囲
制御ポート	30001	(1025~65535)
HTTPポート	80	(1~65535)
RTSPポート	554	(1~65535)
HTTPSポート	443	(1~65535)

適用

- 2、デバイスポートの各パラメータを設定します。詳細は表 4-1 を参照してください。

表4-1 デバイスポートパラメータ説明

パラメータ名	説明	設定方法
コントロールポート	デバイスとネットワーク間で音声・映像の転送、シグナルの相互通信に使用するポート	入力枠に数値を直接入力 デフォルト：30001
HTTP ポート	ハイパーテキスト転送プロトコルポート。Web アクセスに必須のポート。 ※例：ポートを 86 に変更した場合、 http://192.168.0.120:86/でアクセス。	入力枠に数値を直接入力 デフォルト：80
RTSP ポート	リアルタイムストリーミングプロトコルポート ※リアルタイム映像のアクセスは「設定＞プロトコル＞プロトコル情報」を参照、VLC プレイヤーで再生可能。	入力枠に数値を直接入力 デフォルト：554
HTTPS ポート	SSL 層を追加した安全な HTTP ポート。HTTPS の安全性は SSL に依存。 ※「設定＞ネットワーク＞詳細設定＞HTTPS」で有効にした場合、https://192.168.0.120:443 でアクセス。	入力枠に数値を直接入力 デフォルト：443
SSL コントロールポート	セキュアソケットレイヤーによる安全なコントロールポート	入力枠に数値を直接入力 デフォルト：20001

※説明

コントロールポートの変更は推奨しません。各ポートの設定範囲は『通信マトリックス』を参照してください。

3、「適用」をクリックします。

- ☐ 「ポートの変更により再ログインが必要ですか？」が表示されたら「確定」をクリックし、システムがログアウト後、再ログインしてください。
- ☐ 「ポートが無効です。確認してください」等のメッセージが表示されたら、正しいポート番号を再入力してください。

4.1.3 ポートマッピング

ポートマッピングによりプライベートネットワークとパブリックネットワーク間にマッピング関係を構築できます。機能を有効にすると、外部端末から内部デバイスへのアクセスが許可され、ネットワークの稼働効率が向上します。

操作手順

- 1、「設定＞ネットワーク＞基本設定＞ポートマッピング」を選択すると、「ポートマッピング」設定画面に進みます（図 4-2 参照）。

図 4-2 ポートマッピング設定画面

IP Camera

ライブ映像 録画再生 スナップショット AI IVS 設定

クイックスタート
システム
ネットワーク

基本設定
詳細設定
映像/音声
画像
イベント
ストレージ

ローカルネットワーク デバイスポート **ポートマッピング** DDNS PPPoE

ポートマッピング ☒

マッピング方式 自動

自動ポートマッピング

有効	ポートタイプ	外部ポート	外部IPアドレス	状態
☒	HTTP	80	0.0.0.0	有効ではありません
☒	RTSP	554	0.0.0.0	有効ではありません
☒	CONTROL	30001	0.0.0.0	有効ではありません
☒	HTTPS	443	0.0.0.0	有効ではありません

適用

2、スイッチをクリックし、「ポートマッピング」機能を有効にします。

3、ポートマッピングの各パラメータを設定します。詳細は表 4-2 を参照してください。

表4-2 ポートマッピングパラメータ説明

パラメータ名	説明	設定方法
ポートマッピング	機能を有効にすると、IP アドレス+ポート番号の形式でカメラにアクセス可能。	スイッチ押下 デフォルト：OFF
マッピング方式	マッピングの実行方式（自動または手動）を選択。	プルダウンリストから選択 デフォルト：自動
ポートタイプ	対応ポート： ☐ SSLCONTROL：カスタムコンテンツ ☐ HTTP：ネットワーク転送（http://192.168.0.120:80） ☐ HTTPS：安全なネットワーク転送（https://192.168.0.120:443） ☐ RTSP：リアルタイムストリーミング（プロトコル情報参照）。 ☐ CONTROL：NVR 接続ポート（NVR の IP+ポートでアクセス）	チェックボックスで選択
外部ポート	外部ネットワークに対応するポート番号	N/A
外部 IP アドレス	外部ネットワークの IP アドレス	入力枠に入力
状態	ポートマッピングの稼働状態	N/A

4、「適用」をクリックします。

- ☐ 「適用成功」が表示された場合、システムに設定が保存されます。
- ☐ その他のメッセージが表示された場合、画面の提示に従い制約条件に適合するパラメータに再設定してください。

4.1.4 DDNS

前提：ネットワークカメラがパブリックネットワークに接続済みで、通信事業者より DDNS サーバーのアカウント・パスワードを取得済みであること。

操作手順

- 1、「設定＞ネットワーク＞基本設定＞DDNS」を選択すると、「DDNS」設定画面に進みます（図 4-3 参照）。
（DDNS：動的ドメインネームリゾリューションサービス）

図 4-3 DDNS 設定画面

The screenshot displays the DDNS configuration interface. At the top, there's a navigation bar with icons for 'ライブ映像', '録画再生', 'スナップショット', 'IVS', and '設定'. Below this, a sub-navigation bar shows 'ローカルネットワーク', 'デバイスポート', 'ポートマッピング', 'DDNS' (selected), and 'PPPoE'. The main configuration area for DDNS includes a toggle switch that is currently turned on. Below the toggle are several input fields: 'プロバイダー' (set to 3322_ddns), 'ネットワークカード名称' (set to eth0), 'ドメイン名' (empty), 'アカウント名' (empty), 'パスワード' (masked with asterisks), and 'プロトコル' (set to HTTPS). A 'DDNSテスト' button is located below these fields. At the bottom of the configuration area is a large blue '適用' (Apply) button.

- 2、DDNS の各パラメータを設定します。詳細は表 4-3 を参照してください。

表4-3 DDNS パラメータ説明

パラメータ名	説明	設定方法
DDNS	DDNS サービスの有効/無効を設定	スイッチ押下、デフォルト：OFF

プロバイダー	DDNS サービスの提供元を選択。「3322」、「DynDns」と「no-ip」の三種類に対応可能。	プルダウンリストから選択、デフォルト：3322 ※実際のドメインサーバーに合わせて選択
ドメイン名	ユーザーが任意で設定するドメイン名	入力枠に入力、デフォルト：空
アカウント	DDNS サーバーへのログインユーザー名	入力枠に入力、デフォルト：空
パスワード	DDNS サーバーへのログインパスワード	入力枠に入力、デフォルト：空

3、「確定」をクリックします。

- ☐ 「適用成功」が表示されたら「確定」をクリック、システムに設定が保存されます。
- ☐ その他のメッセージが表示された場合、画面の提示に従い制約条件に適合するパラメータに再設定してください。

4.1.5 PPPoE

前提： 通信事業者より PPPoE のアカウント・パスワードを取得済みであること。

「PPPoE」画面にダイヤルアップ接続のアカウント・パスワードを入力すると、デバイス再起動後にパブリック IP アドレスを取得できます。

操作手順

1、「設定＞ネットワーク＞基本設定＞PPPoE」を選択すると、「PPPoE」設定画面に進みます（図 4-4 参照）。

図 4-4 PPPoE 設定画面

The screenshot displays the 'PPPoE' configuration page. The top navigation bar includes 'IP Camera', 'Live View', 'Playback', 'Snapshot', 'IVS', and 'Settings'. The left sidebar shows 'Quick Start', 'System', 'Network', and 'Basic Settings' (highlighted). The main content area has tabs for 'Local Network', 'Device Port', 'Port Mapping', 'DDNS', and 'PPPoE' (selected). Under the 'PPPoE' tab, there is a toggle switch for 'PPPoE' (turned on), and three input fields: 'Account Name', 'Password' (masked with asterisks), and 'IP Address' (set to '空' or empty). A blue '適用' (Apply) button is located at the bottom.

- 2、スイッチをクリックし、「PPPoE サービスを使用」を有効にします。
- 3、PPPoE の各パラメータを設定します。詳細は表 4-4 を参照してください。

表4-4 PPPoE パラメータ説明

パラメータ名	説明	設定方法
PPPoE サービス	PPPoE ダイアル接続の有効/無効を設定	スイッチ押下
アカウント	PPPoE ユーザーのアカウント番号	入力枠にアカウント番号を直接入力
パスワード	PPPoE 接続用のパスワード	入力枠にパスワードを直接入力

- 4、「適用」をクリックします。

- ☐ 「適用成功」が表示された場合、システムに設定が保存されます。
- ☐ その他のメッセージが表示された場合、画面の提示に従い制約条件に適合するパラメータに再設定してください。

4.2 詳細設定

詳細設定画面では、FTP、アラームメール、HTTPS、QoS、802.1x、SNMP、ONVIF、プラットフォーム接続、マルチキャストパラメータ、CGI アラームサービスセンター などの設定が可能です。

4.2.1 FTP

アラーム発生時のスナップショット画像を FTP サーバーに保存する設定が可能です。

操作手順

- 1、「設定＞ネットワーク＞詳細設定＞FTP」を選択すると、「FTP」設定画面に進みます（図 4-5 参照）。

図 4-5 FTP 設定画面

The screenshot shows the 'FTP' settings page. On the left is a navigation menu with options like 'クイックスタート', 'システム', 'ネットワーク', '基本設定', '詳細設定', '映像/音声', '画像', 'イベント', and 'ストレージ'. The main area contains the following settings:

- FTP送信**: A toggle switch that is currently turned on.
- FTP IPアドレス**: An input field for the FTP server's IP address.
- FTPポート**: An input field with the value '21'.
- アカウント名**: An input field for the account name.
- パスワード**: A masked input field for the password.
- FTPパス**: An input field for the FTP path, with a note: '(/ または \ で始まり、数字、文字、アンダーバーの組み合わせで構成してください。)'
- メディアタイプ**: A dropdown menu currently set to '画像' (Image).
- SSL/TLS経由FTP(FTPS)**: A toggle switch that is currently turned off.
- FTP テスト**: A button to test the FTP connection.
- 適用**: A button to apply the settings.

2、スイッチをクリックし、「FTP」サービスを有効にします。

3、FTP の各パラメータを設定します。詳細は表 4-5 を参照してください。

表4-5 FTP パラメータ説明

パラメータ名	説明	設定方法
FTP アップロード	FTP ファイルアップロード機能の有効 / 無効を設定	スイッチ押下 デフォルト：OFF
FTP アドレス	FTP サーバーの IP アドレスまたはドメイン名	入力枠に入力
FTP ポート	FTP サーバーの接続ポート	入力枠に数値を入力 デフォルト：21
アカウント	FTP サーバーのログインユーザー名	入力枠に入力
パスワード	FTP サーバーのログインパスワード	入力枠に入力
FTP パス	FTP ファイルのアップロード先パス	入力枠に入力
メディアタイプ	スナップショット/映像録画	プルダウンリストから選択
FTP over SSL/TLS (FTPS)	ファイル転送時の SSL 暗号化機能の有効/無効を設定	チェックボックスで有効化

4.2.2 アラームメール

説明

アラームメール機能を有効にすると、デバイスが動体検知アラーム / I/O アラームをトリガーした際、自動的に JPG 画像とアラーム情報を受信者のメールアドレスに送信します。

操作手順

- 1、「設定＞ネットワーク＞詳細設定＞アラームメール」を選択します。「アラームメール」設定画面に進みます（図 4-6 参照）。

図 4-6 アラームメール設定画面

The screenshot shows the 'Alarm Mail' configuration page. The left sidebar has a menu with 'Quick Start', 'System', 'Network', 'Basic Settings', 'Detailed Settings', 'Image/Audio', 'Image', 'Event', and 'Storage'. The 'Detailed Settings' section is expanded, showing 'Image/Audio', 'Image', 'Event', and 'Storage'. The 'Alarm Mail' tab is selected under 'Event'. The main area contains the following settings:

- SMTPサーバーアドレス*
- SMTPポート* (25)
- メールアドレス*
- パスワード* (masked with *****)
- 匿名送信 (toggle switch)
- E-Mail 受信者 1 *
- E-Mail 受信者 2
- E-Mail 受信者 3
- E-Mail 受信者 4
- E-Mail 受信者 5
- 伝送モード (暗号化なし)
- 送信間隔 (0) (0~60)s
- 画像枚数 (1~5 枚) (1) (1~5)
- 画像間隔 (0.1~5 秒) (1) (0.1~5)秒
- E-Mail テスト button
- 適用 button

- 2、アラームメールの各パラメータを設定します。詳細は表 4-6 を参照してください。

表4-6 アラームメールパラメータ説明

パラメータ名	説明	設定方法
SMTP サーバーアドレス	メール送信に使用する SMTP サーバーのアドレス	入力枠に入力
SMTP サーバーポート	SMTP サーバーの接続ポート	入力枠に入力 デフォルト：25
ユーザー名	送信元メールアカウントのユーザー名	入力枠に入力

パスワード	送信元メールアカウントのパスワード	入力枠に入力
匿名送信	チェックすると送信元情報の入力が不要になります	チェックボックス
送信元	アラームメールの送信元メールアドレス	入力枠に入力
受信者 1	アラームメールの受信者アドレス（必須項目）	入力枠に入力
受信者 2	アラームメールの追加受信者アドレス（任意項目）	-
受信者 3	アラームメールの追加受信者アドレス（任意項目）	-
受信者 4	アラームメールの追加受信者アドレス（任意項目）	-
受信者 5	アラームメールの追加受信者アドレス（任意項目）	-
転送モード	メール送信時の暗号化方式を選択（「パスワード無し / SSL / STARTTLS」） ※SSL/STARTTLS はサーバーの対応方式に合わせて選択	プルダウンリストから選択 デフォルト：パスワード無し
送信間隔	アラームメールの送信間隔時間を設定	入力枠に入力 デフォルト：0
画像数量（1-5）	1 回のアラームで送信する画像枚数を設定	入力枠に入力 デフォルト：1
画像間隔（0.1-5s）	複数画像送信時の撮影間隔時間を設定	入力枠に入力 デフォルト：1.0
メールテスト	設定情報の正確性を確認するためのテスト送信機能	-

3、「適用」をクリックします。

- ☐ 「適用成功」が表示された場合、システムに設定が保存されます。
- ☐ その他のメッセージが表示された場合、画面の提示に従い制約条件に適合するパラメータに再設定してください。

4.2.3 HTTPS

ユーザーが HTTPS 方式で Web ページにアクセスする場合、「設定＞ネットワーク＞詳細設定＞HTTPS」画面で機能を有効にし、ポート番号を設定してください。

※アクセス時はアドレスバーに <https://192.168.0.120:443> を入力してください。

図 4-7 HTTPS 設定画面

The screenshot displays the 'HTTPS' configuration page within the 'IP Camera' web interface. The left sidebar contains navigation options like 'クイックスタート', 'システム', 'ネットワーク', '基本設定', '詳細設定', '映像/音声', '画像', 'イベント', and 'ストレージ'. The top navigation bar includes 'ライブ映像', '録画再生', 'スナップショット', 'IVS', and '設定'. The main content area is divided into 'HTTP' and 'HTTPS' sections. The 'HTTP' section shows '有効' (Enabled) with a checked checkbox and 'HTTPポート' (80). The 'HTTPS' section shows '有効' (Enabled) with an unchecked checkbox and 'HTTPSポート' (443). Below these, the '属性' (Properties) section displays certificate details: '発行先' (C = US, O = Ipc International Inc, OU = Ipc Building Technologies - Building Products, CN = 192.168.2.134), '発行者' (C = US, O = Ipc International Inc, OU = Ipc Building Technologies - Building Products, CN = Video Device RCA1), and '有効期間' (Dec 27 21:03:21 2025 GMT ~ Mar 31 21:03:21 2028 GMT). The 'インストールモード' (Install Mode) is set to '証明書申請' (Certificate Request). Buttons for '作成' (Create), '書き出' (Export), '削除' (Delete), 'ファイル選択' (File Selection), and 'アップロード' (Upload) are present. A warning message at the bottom states: '*変更後はカメラを再起動しますので、慎重に操作してください' (After the change, the camera will be restarted, so please operate carefully).

4.2.4 QoS

デバイスを QoS 機能搭載のルーター/スイッチに接続し、ネットワーク機器に優先ルールを設定した場合、対象のマーキングが付与されたパケットが優先的に転送されます。

本画面では音声・映像類、アラーム類、制御類の 3 種類のパケットに対し、DSCP 値を設定可能です。

操作手順

- 1、「設定＞ネットワーク＞詳細設定＞QoS」を選択すると、「QoS」設定画面に進みます（図 4-8 参照）。

図 4-8 QoS 設定画面

The screenshot shows the 'QoS' configuration page. The left sidebar has a menu with 'クイックスタート', 'システム', 'ネットワーク', '基本設定', '詳細設定', '映像/音声', '画像', 'イベント', and 'ストレージ'. The main area has tabs for 'FTP', 'アラームメール', 'HTTPS', 'QoS', '802.1x', 'SNMP', 'ONVIF', 'プラットフォーム接続', 'マルチキャスト設定', and 'CGIアラームサービスセンター'. Under the 'QoS' tab, there are three input fields for DSCP values: '音声/映像 DSCP' (0), 'アラーム DSCP' (0), and 'コマンド DSCP' (0). A blue '適用' button is at the bottom.

2、音声/映像 Dscp (0-63)、アラーム Dscp、制御 Dscp (0-63)を設定します。

3、「適用」をクリックします。

□ 「適用成功」が表示された場合、システムに設定が保存されます。

□ その他のメッセージが表示された場合、画面の提示に従い制約条件に適合するパラメータに再設定してください。

4.2.5 802.1x

802.1x 認証機能はデバイスポートに事前に設定する必要がある、ポートに接続する端末の認証を通じてネットワークリソースへのアクセスを制御します。

操作手順

1、「設定＞ネットワーク＞ 詳細設定＞ 802.1x」を選択すると、「802.1x」設定画面に進みます（図 4-9 参照）。

図 4-9 802.1x 設定画面

The screenshot shows the '802.1x' configuration page. The left sidebar is the same as in Figure 4-8. The main area has the same tabs, but the '802.1x' sub-tab is active. The settings are: '802.1x' is turned on (blue toggle), 'EAP メソッド' is set to 'EAP-TLS', 'アカウント名' is empty, 'パスワード' is masked with '*****', 'クライアント秘密鍵番号化...' is masked with '*****', 'CA 証明書' has a 'ファイル選択' button and a message 'ファイルが選択されていません', 'クライアント証明書' has a 'ファイル選択' button and a message 'ファイルが選択されていません', and 'クライアント秘密鍵' has a 'ファイル選択' button and a message 'ファイルが選択されていません'. A blue '適用' button is at the bottom.

2、802.1x の各パラメータを設定します。詳細は表 4-7 を参照してください。

表4-7 802.1x パラメータ説明

パラメータ名	説明	設定方法
802.1x	802.1x 認証サービスの有効 / 無効を設定	スイッチ押下 デフォルト：OFF
EAP Method	拡張認証プロトコルの方式を選択（EAP-MD5/EAP-TLS 対応）	プルダウンリストから選択 デフォルト：EAP-MD5
アカウント	デバイス側に設定した認証アカウント名	入力枠に入力 デフォルト：空
パスワード（確認）	デバイス側に設定した認証パスワードと確認用パスワード	入力枠に入力 デフォルト：空

3、「確定」をクリックします。

- ☐ 「適用成功」が表示されたら「確定」をクリック、システムに設定が保存されます。
- ☐ その他のメッセージが表示された場合、画面の提示に従い制約条件に適合するパラメータに再設定してください。

4.2.6 SNMP

前提：SNMP サーバー端末を保有し、サーバー側に関連パラメータを設定して正常稼働していること。（SNMP：シンプルネットワークマネジメントプロトコル）

ネットワークカメラは SNMPv1/SNMPv2c/SNMPv3 に対応し、サーバー側のプロトコルバージョンに合わせて選択可能です。SNMP プロトコルの設定により、デバイスパラメータの取得とアラーム異常情報の受信が実現できます。

操作手順

- 1、「設定＞ネットワーク＞詳細設定＞SNMP」を選択すると、「SNMP」設定画面に進みます（図 4-10 参照）。

図 4-10 SNMP 設定画面

IP Camera

ライブ映像

録画再生

スナップショット

IVS

設定

クイックスタート

システム

ネットワーク

基本設定

詳細設定

映像/音声

画像

イベント

ストレージ

FTP

アラームメール

HTTPS

QOS

802.1x

SNMP

ONVIF

プラットフォーム接続

マルチキャスト設定

CGIアラームサービスセンター

SNMPv1

SNMPv2c

書込コミュニティ名

読み取りコミュニティ名

Trap アドレス

Trap ポート

162

Trap コミュニティ

SNMPv3

SNMPポート

161

適用

SNMPv3	☒
読み取りセキュリティ名	
セキュリティレベル	Noauth ▼
認証方式	▼
認証パスワード	***** 
暗号化アルゴリズム	▼
暗号化パスワード	***** 
書込セキュリティ名	
セキュリティレベル	Noauth ▼
認証方式	▼
暗号化パスワード	***** 
暗号化アルゴリズム	▼
暗号化パスワード	***** 

SNMPポート	161
---------	-----

2、スイッチをクリックし、SNMPv1/SNMPv2C/SNMPv3 の対象プロトコルを有効にします。

3、SNMP の各パラメータを設定した後、「適用」をクリックします。

- ☐ 「適用成功」が表示された場合、システムに設定が保存されます。
- ☐ その他のメッセージが表示された場合、画面の提示に従い制約条件に適合するパラメータに再設定してください。

4.2.7 ONVIF 情報参照

現在のデバイスが対応するデバイス接続プロトコル情報を確認できます。

1、「設定＞ネットワーク＞詳細設定＞ONVIF」を選択すると、「プロトコル情報」画面に進みます（図 4-11 参照）。詳細は表 4-8 を参照してください。

図 4-11 プロトコル情報画面

The screenshot shows the 'ONVIF' configuration page. The left sidebar contains navigation links: 'クイックスタート', 'システム', 'ネットワーク', '基本設定', '詳細設定', '映像/音声', '画像', 'イベント', and 'ストレージ'. The main content area is titled 'ONVIF' and includes the following settings:

- Onvif**: ☒ (Enabled)
- プロトコル名**: ONVIF
- プロトコルバージョン**: v24.12
- プロトコルソフトウェアバージョン番号**: v24.12_build24053142
- RTSP ルール**: rtsp://ip:port/sn/alive/cameraid/streamid
- RTSP例**: rtsp://192.168.2.134:554/sn/alive/1/1
- Onvif UUID**: 8d31cdc0-c429-11f0-a5ec-001c27999005
- ユーザー名パスワード認証**: ☒ (Enabled)
- Profile G**: ☐ (Disabled)
- Media2**: ☒ (Enabled)
- Metadata Stream**: ☒ (Enabled)
- Image Event**: ☐ (Disabled)
- Intelligent Analysis Switch**: ☐ (Disabled)
- Onvif Only Https**: ☐ (Disabled)
- Stream Only Https**: ☐ (Disabled)
- Onvif Discovery**: ☒ (Enabled)

表4-8 プロトコル情報パラメータ説明

パラメータ名	説明
プロトコル名	接続に対応するプロトコルの種別
プロトコルバージョン	接続プロトコルのバージョン番号
プロトコルソフトウェアバージョン	接続プロトコルのソフトウェアパッケージバージョン番号
RTSP ルール	RTSP ストリーミングを取得するための URL ルール
RTSP 例	RTSP ストリーミングを取得するための URL 実例
Onvif UUID	デバイスの汎用一意識別コード
ONVIF	ONVIF 機能の有効状態
Profile G	ONVIF Profile G 機能の有効状態
IVA Switch	ONVIF IVA Switch 機能の有効状態
Media 2	Media 2 機能の有効状態
Metadata Stream	Metadata Stream 機能の有効状態

Image Event	ImageEvent 機能の有効状態
Intelligent Analysis Switch	AI 分析の有効状態
Onvif only Https	ONVIF が HTTPS モードで接続（コマンド・映像データの暗号化転送により安全性向上） ストリーミングデータの HTTPS 暗号化転送状態。
Stream only https	

2、必要に応じてパラメータを調整後、「適用」をクリックします。

- ☐ 「適用成功」が表示された場合、システムに設定が保存されます。
- ☐ その他のメッセージが表示された場合、画面の提示に従い制約条件に適合するパラメータに再設定してください。

4.2.8 プラットフォーム接続

プラットフォーム接続機能を有効にすると、映像管理プラットフォームとデバイスが同一 LAN 内にない場合でも、双方を同一の外部サーバーにマッピングすることで接続可能になります。

プラットフォーム接続画面でドメイン名（サーバードメイン名）、ポート（映像管理プラットフォームの機器登録ポート、図 4-12 参照）などの関連パラメータを設定し、ユーザー名およびパスワードには、映像管理プラットフォームのログインユーザー名とパスワードを入力してください。

操作手順

- 1、「設定＞ネットワークサービス＞プラットフォーム接続」を選択すると、「プラットフォーム接続」設定画面に進みます（図 4-12 参照）。

図 4-12 プラットフォーム接続設定画面

図 4-13 プラットフォームポート画面（サーバー管理 CMU）

プラットフォームの IP 及びポートをインターネット側にマッピングする必要があります。

図 4-14 IPC プラットフォーム接続パラメータ設定画面

+ デバイス追加

☒ IP/ドメイン名 ☐ P2P

デバイス名

デバイスタイプ デバイスタイプを選択してください

プロトコル

IP/ID/ドメイン名 1

ポート 30001

グループ 標準グループ

詳細設定

接続モード デバイスのアクティブな登録 2

IAU 未サポート

MDU 自動

保存と新規作成 テスト 追加 キャンセル

2、以下のパラメータを設定します。

- ✧ IP/ID/ドメイン名：IPC デバイス情報のデバイス ID を実際の値で入力します。
- ✧ 接続方式：「デバイスからの自動登録」を選択します。

IP Camera

ライブ映像 録画再生 スナップショット IVS 設定

クイックスタート

システム ^

基本設定

パスワード変更

ユーザー

デバイスログ

メンテナンス

セキュリティ

ネットワーク v

映像/音声 v

画像

イベント

ストレージ

デバイス情報 日時 システム ソフトウェアライセンス

デバイスID FF2355

デバイス名称

MACアドレス 00:1C:27:FF:23:55

カメラタイプ AI_MULTIOBJECT

製品モデル SN-IPR8084DQAN-VZ3.6-11-13

メーカー名 IPCamera

ハードウェアバージョン V220143_25

ソフトウェアバージョン v5.1.1628.2412.3.0.1.4.0

Uboot バージョン v5.0_20250303

カーネルバージョン v5.0_20250303

チャンネル数 1

アラーム入力数 1

アラーム出力数 1

シリアルポート数 0

ネットワークカード数 1

適用

◇ 高いセキュリティが必要な場合、暗号化機能を有効にしてください。

3、「適用」をクリックして設定を保存します。

4.2.9 マルチキャスト

現在のデバイスのマルチキャスト関連パラメータの確認・設定が可能です。

操作手順

1、「設定＞ネットワーク＞詳細設定＞マルチキャストパラメータ」を選択すると、「マルチキャストパラメータ」設定画面に進みます（図 4-15 参照）。

図 4-15 マルチキャストパラメータ設定画面

The screenshot shows the 'Multi-cast Setting' tab in the web interface. The settings are as follows:

Parameter	Value	Range
Stream ID	1	-
Video Port	25330	(1025~65535)
Video Address	238.255.255.255	-
Audio Port	25430	(1025~65535)
Audio Address	238.255.255.255	-
Metadata Port	25530	(1025~65535)
Metadata Address	238.255.255.255	-

2、マルチキャストの各パラメータを設定します。詳細は表 4-9 を参照してください。

表4-9 マルチキャストパラメータ説明

パラメータ名	説明	設定方法
ストリーム ID	マルチキャストストリームの番号を選択	プルダウンリストから選択 デフォルト：1
IP	マルチキャストデータを受信する IP アドレス	入力枠に入力 デフォルト：238.255.255.255
映像ポート	映像データを受信するポート番号	入力枠に入力 デフォルト：25330
音声ポート	音声データを受信するポート番号	入力枠に入力 デフォルト：25430
ソースポート	ソースデータを受信するポート番号	入力枠に入力 デフォルト：25530

3、「適用」をクリックします。

- ◇ 「パラメータ設定に成功しました。デバイスを再起動すると設定が有効になります」のダイアログが表示されたら、デバイスを再起動して設定を反映させます。

4.2.10 CGI アラームサービスセンター

デバイスが送信する CGI アラームメッセージは、開始/終了 URL の IP アドレスに文字列が組み合わされ、HTTP プロトコルの GET 方式で CGI アラームサーバーに送信されます。

※アラームメッセージは HTTP ヘッダーの User-Agent フィールドに含まれて送信されるため、CGI アラームの連携には該当フィールドの解析が必要です。

操作手順

- 1、「設定＞ネットワーク＞詳細設定＞CGI アラームサービスセンター」を選択すると、「CGI アラームサービスセンター」設定画面に進みます（図 4-16 参照）。

図 4-16 CGI アラームサービスセンター設定画面

- 2、スイッチをクリックし、「CGI アラーム」サービスを有効にします。
- 3、CGI アラームの各パラメータを設定します。詳細は表 4-10 を参照してください。

表4-10 CGI アラームパラメータ説明

パラメータ名	説明	設定方法
CGI アラーム	CGI アラーム機能の有効/無効を設定	スイッチ押下（デフォルト：OFF）
名称	CGI アラームの識別名を設定	入力枠に入力
タイプ	CGI アラームのデータ転送タイプを選択	プルダウンリストから選択
開始 URL	アラーム発生時に送信する URL	入力枠に URL を入力 例：http://192.168.35.74:80/MajorAlarmType&MinorAlarmType&SourceName&DeviceID&DeviceIP&AlarmTime&Description

終了 URL	アラーム終了時に送信する URL	入力枠に URL を入力 例：http://192.168.35.74:80/MajorAlarmType&MinorAlarmType&SourceName&DeviceID&DeviceIP&AlarmTime&Description
プロキシサーバー設定	CGI アラームの転送サーバー機能の有効 / 無効を設定	スイッチ押下 デフォルト：OFF
アドレス	アラーム転送先のプロキシサーバー IP アドレス	入力枠に入力
ポート	アラーム転送先のプロキシサーバーポート番号（例：80）	入力枠に入力
プラットフォームユーザー名	プロキシサーバーのログインユーザー名	入力枠に入力
プラットフォームパスワード	プロキシサーバーのログインパスワード	入力枠に入力
HTTP 接続アラームセンターテスト	デバイスとプロキシサーバーのネットワーク接続確認機能	ボタン押下 ※接続成功：「CGI アラームテスト成功」表示 ※接続失敗：エラーメッセージ表示

4、「適用」をクリックします。

- ☐ 「適用成功」が表示された場合、システムに設定が保存されます。
- ☐ その他のメッセージが表示された場合、画面の提示に従い制約条件に適合するパラメータに再設定してください。

5 映像/音声

5.1 映像

5.1.1 映像

詳細はクイックスタート章 2.1 を参照してください。

5.1.2 スナップショット

操作手順

- 1、「設定＞映像/音声＞映像＞スナップショット」を選択すると、「スナップショット」設定画面に進みます。

図 5-1 スナップショット設定画面

The screenshot displays the 'Snapshots' configuration page. At the top, there's a navigation bar with icons for Live View, Playback, Snapshots, IVS, and Settings. The 'Snapshots' icon is selected. Below this, a sub-navigation bar shows 'Video', 'Snapshots' (selected), and 'ROI'. The main content area has two settings: 'Snap Resolution' set to '1280x720' and 'Snap Quality' set to '中' (Medium). A blue '適用' (Apply) button is located at the bottom center. On the left, a sidebar menu includes 'クイックスタート', 'システム', 'ネットワーク', '映像/音声', 'ビデオ', 'オーディオ', '画像', 'イベント', and 'ストレージ'.

- 2、スナップショットの各パラメータを設定します。詳細は表 5-1 を参照してください。

表5-1 スナップショットパラメータ説明

パラメータ名	説明	設定方法
スナップショット解像度	撮影画像の解像度設定	プルダウンリストから選択 デフォルト：1280 × 720

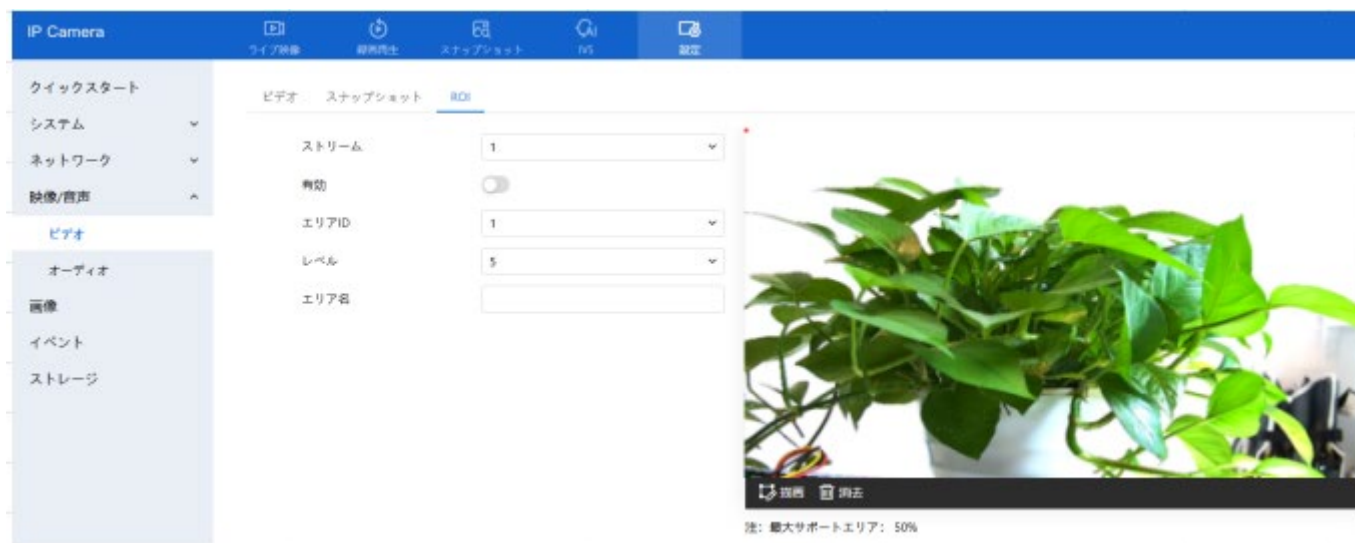
スナップショット品質	撮影画像の画質設定（高/中/低）	プルダウンリストから選択 デフォルト：中
------------	------------------	-------------------------

5.1.3 ROI

操作手順

- 1、「設定＞映像/音声＞映像＞ROI」を選択すると、「ROI」設定画面に進みます（図 5-2 参照）。（ROI：Region of interest=注目領域）

図 5-2 ROI 設定画面



- 2、ROI の各パラメータを設定します。詳細は表 5-2 を参照してください。

表5-2 ROI パラメータ説明

パラメータ名	説明	設定方法
チャンネル	通常カメラはデフォルトでチャンネル 1。 デュアルスペクトルのサーマルカメラは「チャンネル 1：可視光」「チャンネル 2：サーマル」から選択可能	
ストリーム	ストリームの識別 ID	プルダウンリストから選択 デフォルト：Stream1
有効化	ROI 機能の有効/無効設定	スイッチ押下 デフォルト：OFF
エリア ID	ROI 領域の番号	プルダウンリストから選択 デフォルト：1

レベル	ROI の画質優先度 ※レベルが高いほど領域内は鮮明、領域外はぼやける	プルダウンリストから選択 デフォルト：5
エリア名	ROI 領域の識別名を設定	入力枠に 32 バイト以内の 任意の名称を入力

3、「描画」をクリックすると赤い領域枠が表示され、長方形の四隅を長押ししてドラッグすることで、領域の位置・サイズを調整できます。

図 5-3 ROI 領域描画面面



4、設定完了後に「適用」をクリックし、設定を保存します。

5.2 音声

※説明

本設定は、デバイスが音声入出力機能を搭載している場合にのみ有効です。

5.2.1 音声

「音声」設定画面では、音声入力方式・入力音量、音声出力方式・出力音量 を設定できます。

操作手順

1、「設定＞映像/音声＞音声＞音声」を選択すると、「音声」設定画面に進みます（図 5-4 参照）。詳細は表 5-3 を参照してください。

図 5-4 音声設定画面

The screenshot shows the '音声設定' (Audio Settings) page. The top navigation bar includes 'IP Camera', 'ライブ' (Live), 'ビデオ再生' (Video Playback), 'スナップショット' (Snapshot), 'IVS', and '設定' (Settings). The left sidebar has 'クイックスタート', 'システム', 'ネットワーク', '映像/音声', and 'ビデオ'. The '映像/音声' section is expanded, showing '音声設定' (Audio Settings) and '音声ファイル' (Audio File). The '音声設定' tab is active, displaying settings for '音声入力' (Audio Input) and '音声出力' (Audio Output). '音声入力' is enabled with a volume of 45. '音声出力' is enabled with a volume of 100. '音声ノイズ除去' (Audio Noise Reduction) is disabled. A '停止' (Stop) button is at the bottom left, and an '適用' (Apply) button is at the bottom right.

表5-3 音声入出力パラメータ説明

パラメータ名	説明	設定方法
音声入力	マイク機能の有効 / 無効を切り替え	-
音声入力タイプ	マイクの接続タイプ： ☐ 内蔵：カメラ本体のマイク ☐ ライン入力：外部マイク	プルダウンリストから選択 デフォルト：内蔵
音声入力音量	マイクの入力音量調整	スライダーで調整 デフォルト：50 説明 調整範囲：0～100
音声出力	音声出力機能の有効 / 無効を切り替え	-

音声出力タイプ	音声出力の接続タイプ： ☐ 外付け：音声出力ポートにスピーカー接続 ☐ 内蔵：カメラ本体のスピーカー	プルダウンリストから選択 デフォルト：内蔵
音声出力音量	音声の出力音量調整	スライダーで調整 デフォルト：100 説明 調整範囲：0～100
音声ノイズリダクション	ノイズ低減機能の有効/無効 ※内蔵 MIC への外部環境ノイズの影響を軽減	スイッチ押下 デフォルト：OFF

2、「適用」をクリックし、「適用成功」のダイアログが表示されたら設定が保存されます。

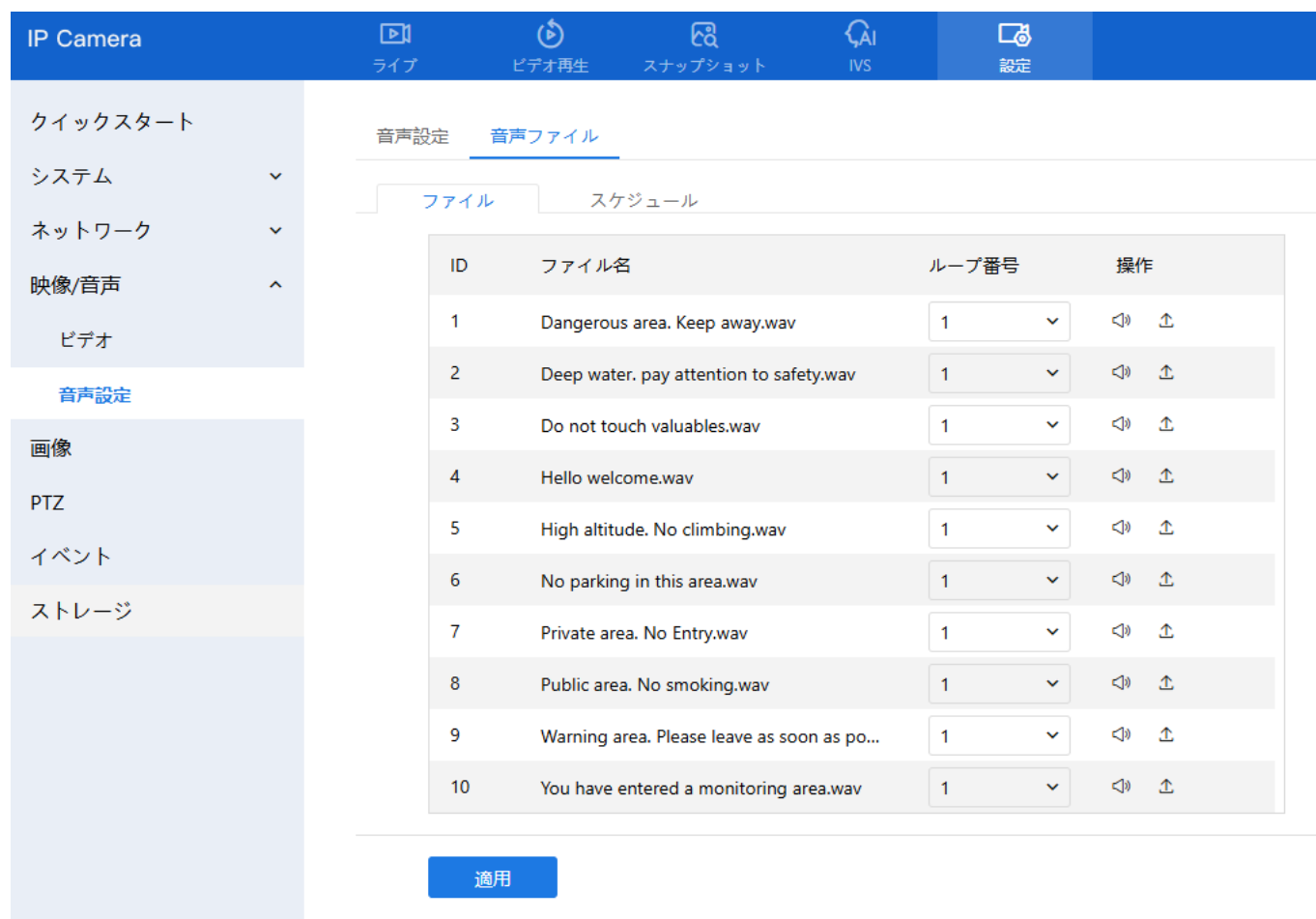
5.2.2 音声ファイル

デバイスが内蔵/外付けの音声プレーヤーを搭載する場合、アラーム音声ファイルをインポートし、アラーム発生時の再生時間計画を設定できます。音声の音量調整は「設定＞音声出力」画面で実施してください。

操作手順

1、「設定＞映像/音声＞音声＞音声ファイル」を選択すると、「音声ファイル」設定画面に進みます（図 5-5 参照）。

図 5-5 音声ファイル設定画面



2、音声ファイルを設定します。最大 13 個の音声ファイルを設定可能で、 をクリックしてカスタム WAV オーディオファイルをアップロードしてください（WAV 形式、サイズ 250Kb 以下、オーディオビットレートは 128kbps に準拠してください。）。ループ再生回数は、アラームが 1 回トリガーされた際の当該オーディオの再生回数で、ローカルフォルダより.wav 形式のファイルを選択してアップロードしてください。

図 5-6 音声ファイルアップロード画面



3、「確定」をクリックして音声ファイルのアップロードを完了し、警戒時間でアラーム音声の有効時間帯を設定します。

図 5-7 警戒時間設定画面

図 5-8 時間設定のコピー画面

4、「適用」をクリックし、設定を保存します。

6 画像

6.1 画像

詳細はクイックスタート章 2.3 を参照してください。

6.2 OSD

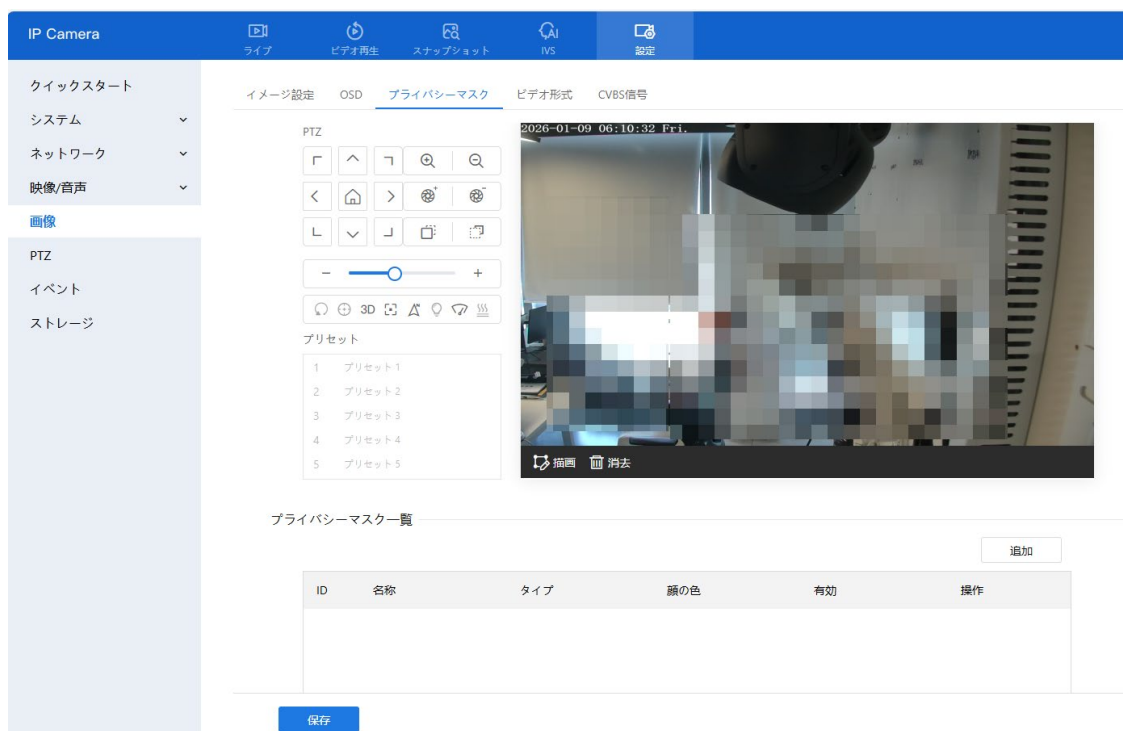
詳細はクイックスタート章 2.4 を参照してください。

6.3 プライバシーマスク

操作手順

- 1、「設定＞画像＞プライバシーマスク」を選択すると、「プライバシーマスク」設定画面に進みます（図 6-1 参照）。

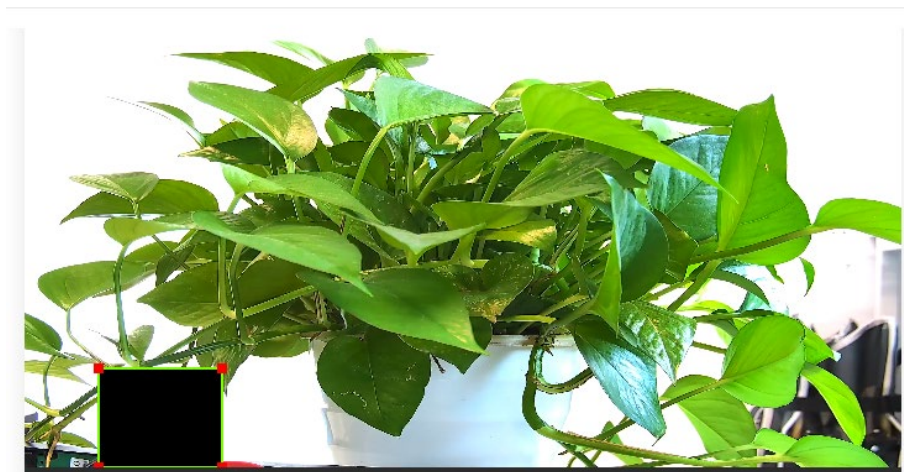
図 6-1 プライバシーマスク設定画面



- 2、レンズの位置を調整します。

3、「描画」をクリックすると、ライブ映像上に四角い枠が表示されます。枠の四隅をクリックしてドラッグし、遮蔽したい領域に位置とサイズを調整します。

図 6-2 プライバシーマスク領域描画面面



4、位置調整完了後、「追加」をクリックしてマスク領域を登録します。

※説明

- ☐ デバイスの機種により最大支持するマスク領域数が異なる場合は、画面の提示に準じてください。最大 4 つの遮蔽領域を設定可能です。
- ☐ ドームカメラ・PTZ カメラは、異なるプリセット位置ごとに複数のプライバシーマスク領域を設定可能です。マスク領域は座標位置で記録されるため、異なるプリセット位置でマスク領域が重複する場合があります。
- ☐ リスト内の  をクリックすると、対象番号のプライバシーマスク領域を削除できます。

5、「プライバシーマスクリスト」にて、遮蔽色と機能の有効 / 無効を設定し、「修正」をクリックして設定を反映します。

6、ステップ 2～4 を繰り返すことで、新規のプライバシーマスク領域を追加できます。

7、リスト内の対象番号をチェックし、「削除」をクリックすると該当するマスク領域を削除できます。

6.4 チャンネル、映像フォーマット

操作手順

1、「設定＞画像＞映像フォーマット」を選択すると、「映像フォーマット」設定画面に進みます（図 6-3 参照）。詳細は表 6-1 を参照してください。

図 6-3 カメラ設定画面

The figure displays the 'Camera Settings' web interface. The top navigation bar includes 'IP Camera', 'Live', 'Video Playback', 'Snapshot', 'IVS', and 'Settings'. The left sidebar lists 'Quick Start', 'System', 'Network', 'Image/Audio', 'Image', 'PTZ', 'Event', and 'Storage'. The main content area has tabs for 'Image Settings', 'OSD', 'Privacy Mask', 'Video Format', and 'CVBS Signal'. The 'Video Format' tab is selected, showing 'Video Format' set to 'PAL' and 'Refresh Rate' set to '50'. A blue '適用' (Apply) button is located at the bottom of the settings area.

表6-1 カメラパラメータ説明

パラメータ名	説明	設定方法
チャンネル名	現在のチャンネル名を表示・変更可能。 ※設定可能文字数：0～32 バイト ※デュアルチャンネルカメラは個別設定可能	入力枠に入力
映像フォーマット	映像の信号フォーマットを選択（PAL/NTSC 対応）	プルダウンリストから選択 デフォルト：PAL ※変更可否は実機の仕様に準じる
映像リフレッシュレート	映像のリフレッシュ周波数： ☐ 50Hz：PAL フォーマットに対応 ☐ 60Hz：NTSC フォーマットに対応	映像フォーマットの選択に応じて自動的に設定される

2、「適用」をクリックして設定を保存します。

※説明

映像フォーマットを変更した場合、「この操作によりデバイスが再起動します。続行しますか？」の確認ダイアログが表示されます。

「確定」をクリックするとデバイスが再起動し、設定が再起動後に有効になります。

7 イベント

機種によりアラームパラメータの仕様が異なる場合は、実機の設定内容を優先してください。

7.1 動体検知アラーム

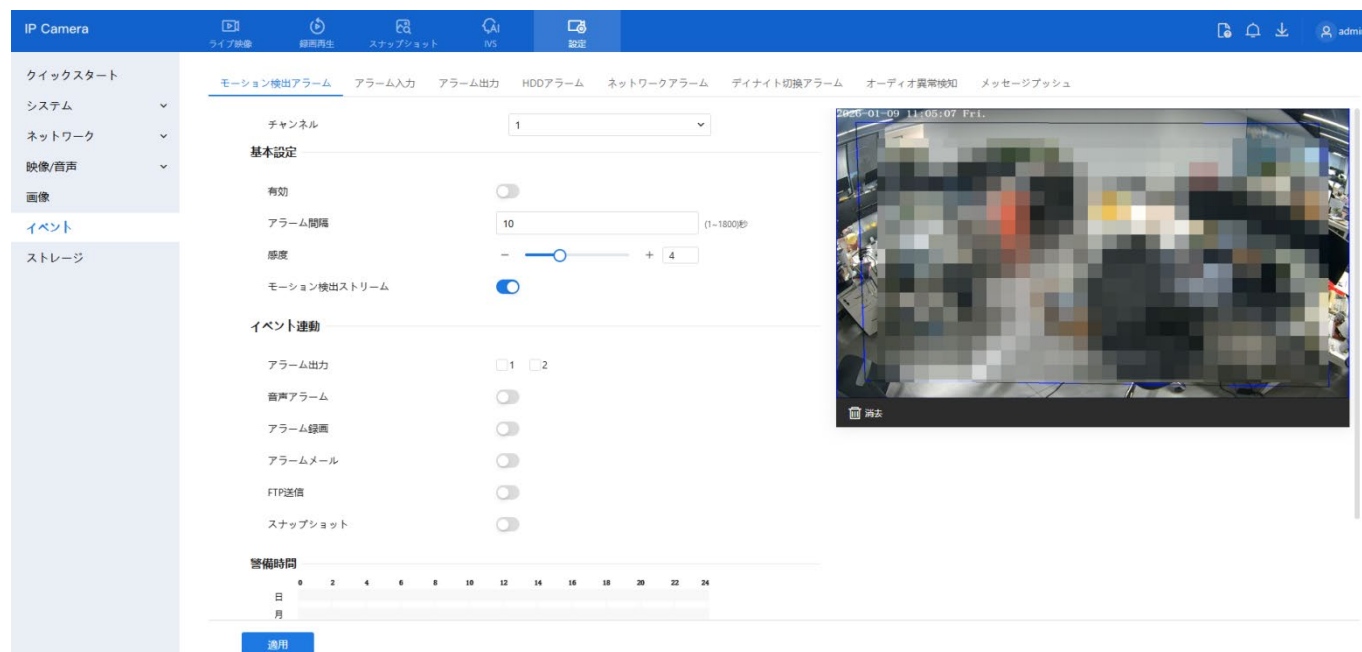
「動体検知アラーム」設定により以下の機能を実現できます。

- ☐ 動体検知機能の有効化
- ☐ 動体検知アラーム出力チャネルの設定
- ☐ 動体検知の警戒時間設定
- ☐ 動体検知領域の設定
- ☐ アラーム出力を選択すると、警戒時間内に設定領域への移動物体を検知した際、アラーム情報をトリガーしてアラーム出力を連動させることができます。
- ☐ アラーム録画
- ☐ アラームメール受信

操作手順

- 1、「設定＞イベント＞動体検知アラーム」を選択すると、「動体検知アラーム」設定画面に進みます（図 7-1 参照）。

図 7-1 動体検知アラーム設定画面



2、「有効」スイッチをクリックし、「動体検知アラーム」機能を有効にします。

表7-1 動体検知アラームパラメータ説明

パラメータ名	説明	設定方法
有効	動体検知アラーム機能のオン/オフ	スイッチ押下 デフォルト：OFF
アラーム間隔	アラーム情報の送信間隔設定（設定時間内は 1 回のみ送信）	入力枠に数値入力 設定範囲：1~1800 秒
感度	物体移動の検知感度（値が高いほど微小な移動も検知される）	プルダウンリスト選択 デフォルト：5
動体検知ストリーム	動体検知時に移動経路を表示する機能	スイッチ押下 デフォルト：OFF
アラーム出力	アラーム信号受信時に外部アラーム機器へ情報送信	チェックボックスで選択
音声アラーム	スピーカー搭載機種の場合、アラーム時に音声ファイルを再生	スイッチ押下 デフォルト：OFF
アラーム録画	アラーム発生時に動画録画を自動実行	スイッチ押下 デフォルト：OFF
アラームメール	アラーム発生時に指定メールアドレスへ情報送信	スイッチ押下 デフォルト：OFF

FTP アップロード	アラーム発生時に画像を設定済み FTP パスへアップロード	スイッチ押下 デフォルト：OFF
スナップショット	アラーム発生時に全景画像を SD カード/NAS へ保存 (スナップショットの検索は 1.6 章参照)	スイッチ押下 デフォルト：OFF
ストロボライトアラーム	ストロボライト搭載機種の場合、アラーム時にストロボライトを点滅	スイッチ押下 デフォルト：OFF
ホワイトライトアラーム	ホワイトライト搭載機種の場合、アラーム時にホワイトライトを点滅	スイッチ押下 デフォルト：OFF
赤青灯アラーム	赤青灯搭載機種の場合、アラーム時に赤青灯を交互に点滅	スイッチ押下 デフォルト：OFF

3、警戒時間を設定します（設定方法は 3 つあります）。

方法 1：1 日の警戒時間を設定後、 で他の曜日に時間設定を複製；

方法 2：マウス左クリックを長押ししてドラッグ、放すことで月～日の 0～24 時間帯を任意に選択；

方法 3：「全選択」クリックで 24 時間全てを警戒時間に設定。

図 7-2 警戒時間のコピー画面

コピー：

☐ All
☐ 日
☐ 月
☒ 火
☐ 水
☐ 木
☐ 金
☐ 土

OK

警戒解除時間：「全部クリア」で設定時間を一括削除、選択した時間帯を「削除」で個別削除。

01:00 ~ 07:30 OK 削除

4、動体検知領域を設定します。マウス左クリックを長押しして動画領域内に矩形の検知領域を描画します（図 7-3 参照）。

※説明

「クリア」クリックで検知領域を削除できます。

図 7-3 動体検知領域設定画面



5、「適用」をクリックし、「適用成功」のダイアログが表示されたら設定が保存されます。

7.2 アラーム入力

前提：カメラがアラーム入力インターフェースを搭載している場合、接続したアラーム機器に応じて関連パラメータを設定できます。

操作手順

「設定＞イベント＞アラーム入力」を選択すると、「アラーム入力」設定画面に進みます（図 7-4 参照）。

図 7-4 I/O アラーム入力設定画面

IP Camera

ライブ映像

録画再生

スナップショット

IVS

設定

クイックスタート

システム

ネットワーク

映像/音声

画像

イベント

ストレージ

モーション検出アラーム

アラーム入力

アラーム出力

HDDアラーム

ネットワークアラーム

基本設定

アラーム入力

1

イベント連動

名称

トリガーモード

有効

IRカットフィルター

アラーム出力

音声アラーム

アラーム録画

アラームメール

FTP送信

スナップショット

警備時間

0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24

日

月

火

水

+

表7-2 アラーム入力パラメータ説明

パラメータ名	説明	設定方法
アラーム入力	アラーム入力の識別番号（数は実機仕様に準じる）	プルダウンリスト選択 デフォルト：1
名称	アラーム入力の識別名設定	入力枠に入力 設定範囲：0～32 バイト
トリガーモード	アラーム入力ポートのトリガー条件： ☐ 接続：外部信号接続時にアラーム ☐ 切断：外部信号切断時にアラーム	プルダウンリスト選択 デフォルト：接続

有効	アラーム入力信号の受信機能オン/オフ	スイッチ押下 デフォルト：OFF
音声アラーム	スピーカー搭載機種の場合、アラーム時に音声ファイルを再生。	スイッチ押下 デフォルト：OFF
赤外線フィルター	赤外線灯搭載機種の場合、アラーム時に赤外線灯を点灯	スイッチ押下 デフォルト：OFF
アラーム録画	アラーム発生時に動画録画を自動実行	スイッチ押下 デフォルト：OFF
アラームメール	アラーム発生時に指定メールアドレスへ情報送信	スイッチ押下 デフォルト：OFF
FTP アップロード	アラーム発生時に画像を設定済み FTP パスへアップロード	スイッチ押下 デフォルト：OFF
スナップショット	アラーム発生時に全景画像を SD カード/NAS へ保存 (スナップショットの検索は 1.6 章参照)	スイッチ押下 デフォルト：OFF
PTZ 連動	PTZ 機種専用、アラーム時に PTZ 動作を連動（プリセット、スキャン、軌跡、パトロール等を選択可能）	スイッチ押下 デフォルト：OFF
ストロボライトアラーム	ストロボライト搭載機種の場合、アラーム時にストロボライトを点滅	スイッチ押下 デフォルト：OFF
ホワイトライトアラーム	ホワイトライト搭載機種の場合、アラーム時にホワイトライトを点滅	スイッチ押下 デフォルト：OFF
赤青灯アラーム	赤青灯搭載機種の場合、アラーム時に赤青灯を交互に点滅	スイッチ押下 デフォルト：OFF

3、警戒時間の設定は 7.1 の 3 を参照してください。

4、「適用」をクリックし、「適用成功」のダイアログが表示されたら設定が保存されます。

7.3 アラーム出力（一部機種対応）

操作手順

1、「設定＞イベント＞アラーム出力」を選択すると、「アラーム出力」設定画面に進みます（図 7-5 参照）。

図 7-5 アラーム出力設定画面

IP Camera

ライブ映像 録画再生 スナップショット IVS 設定

クイックスタート
システム
ネットワーク
映像/音声
画像
イベント
ストレージ

モーション検出アラーム アラーム入力 **アラーム出力** HDDアラーム ネットワークアラーム

基本設定

アラーム出力 1

イベント連動

名称

有効信号 閉鎖

アラーム出力モード スwitchモード

アラームソース追従

アラーム時間 (0: 連続) 0

警備時間

タイマーアラーム出力

手動制御

開始 停止

適用

2、アラーム出力の各パラメータを設定します。詳細は表 7-3 を参照してください。

表7-3 アラーム出力パラメータ説明

パラメータ名	説明	設定方法
アラーム出力	アラーム出力の識別番号（数は一機仕様一に準じる）	プルダウンリスト選択 デフォルト：1
名称	アラーム出力の識別名設定	入力枠に文字入力 設定範囲：0～32 バイト
有効信号	デバイスが受信する有効な信号条件： ☐ 接続：外部信号接続時にアラーム ☐ 切断：外部信号切断時にアラーム	プルダウンリスト選択 デフォルト：接続

アラーム出力モード	I/O アラーム信号受信時の外部機器への伝送モード ◇ スイッチモード：受信周波数と同じ周波数で出力 ◇ 方形波モード：出力周波数をカスタマイズ可能	プルダウンリスト選択 デフォルト：スイッチモード
アラーム源追従	アラームの持続時間をアラーム源の時間に追従させる機能	スイッチ押下 デフォルト：OFF
アラーム時間 (ms)	アラーム出力の持続時間（0 を設定すると継続的にアラーム）	入力枠に入力（デフォルト：0） 設定範囲：0～86400000ms
定時アラーム出力	アラーム出力の日程設定を有効化、設定時間内のみアラーム信号を出力 ※2 つの出力がある場合、アラーム出力 1 のみ有効	スイッチ押下 デフォルト：OFF
手動制御	アラーム出力の手動開始/停止操作	スイッチ押下

3、「適用」をクリックし、「適用成功」のダイアログが表示されたら設定が保存されます。

7.4 ディスクアラーム

操作手順

1、「設定＞イベント＞ディスクアラーム」を選択すると、「ディスクアラーム」設定画面に進みます（図 7-6 参照）。

図 7-6 ディスクアラーム設定画面

The screenshot shows the 'IP Camera' web interface. The top navigation bar includes 'ライブ映像' (Live Video), '録画再生' (Recording/Playback), 'スナップショット' (Snapshot), 'IVS', and '設定' (Settings). The left sidebar has 'イベント' (Event) selected under 'システム' (System). The main content area is titled 'HDDアラーム' (HDD Alarm) and includes the following settings:

- HDD FULL 通知**: A toggle switch is currently turned off.
- アラーム間隔** (Alarm Interval): A text input field set to '10', with a range of '(10~86400)秒' (seconds) indicated.
- アラーム出力** (Alarm Output): Two radio buttons, '1' and '2', both of which are currently unselected.

At the bottom of the settings area is a blue button labeled '適用' (Apply).

2、スイッチをクリックし、ディスク満杯アラーム機能を有効にします。

3、「アラーム間隔」のパラメータを設定します。

4、アラーム出力するチャンネル番号をチェックします。

5、「適用」をクリックし、「適用成功」のダイアログが表示されたら設定が保存されます。

7.5 ネットワークアラーム

操作手順

- 1、「設定＞イベント＞ネットワークアラーム」を選択すると、「ネットワークアラーム」設定画面に進みます（図 7-7 参照）。

図 7-7 ネットワークアラーム設定画面

The screenshot shows the 'IP Camera' web interface with the '設定' (Settings) menu selected. The left sidebar contains a tree view with 'イベント' (Events) selected. The main content area is titled 'ネットワークアラーム' (Network Alarm) and includes the following settings:

- ネットワークカードID: 1 (dropdown menu)
- ネットワーク異常アラーム: ☒ (toggle switch)
- アラーム間隔: 10 (input field, range 10~86400 seconds)
- アラーム出力: ☐ 1 ☐ 2 (checkboxes)
- アラーム録画: ☐ (toggle switch)
- スナップショット: ☐ (toggle switch)

A blue '適用' (Apply) button is located at the bottom of the settings area.

- 2、スイッチをクリックし、ネットワーク異常アラーム機能を有効にします。
- 3、ネットワークアラームの間隔時間を設定します。
- 4、「アラーム出力」の対象チャネル番号をチェックします。
- 5、スイッチをクリックし、アラーム録画機能を有効にします。
- 6、スイッチをクリックし、スナップショット機能を有効にします。
- 7、「適用」をクリックし、「適用成功」のダイアログが表示されたら設定が保存されます。

7.6 デイナイト切替アラーム

操作手順

- 1、「設定＞イベント＞デナイト切替アラーム」を選択すると、「デナイト切替アラーム」設定画面に進みます（図 7-8 参照）。

図 7-8 デイナイト切替アラーム設定画面

IP Camera

ライブ映像 録画再生 スナップショット IVS 設定

クイックスタート

システム

ネットワーク

映像/音声

画像

イベント

ストレージ

モーション検出アラーム アラーム入力 アラーム出力 HDDアラーム ネットワークアラーム デイナイト切替アラーム

チャンネル 1

イベント連動

有効

アラーム出力 ☐ 1 ☐ 2

アラーム録画

アラームメール

FTP送信

スナップショット

警備時間

	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24
日													
月													
火													
水													
木													
金													
土													

全選択 全削除

適用

- 2、「有効」をクリックし、デイナイト切替アラーム機能を起動します。
- 3、「アラーム出力」をチェックします。
- 4、必要に応じてアラーム録画、アラームメール、FTP アップロード、スナップショットを有効にします。
- 5、警戒時間を設定します。
- 6、「適用」をクリックし、「適用成功」のダイアログが表示されたら設定が保存されます。

7.7 音声異常検知（一部機種対応）

デバイスが内蔵/外付け MIC を搭載する場合、音声の急激な増大/減少などの異常音声を検知し、アラーム連動動作で通知することができます。

操作手順

- 1、「設定＞イベント＞音声異常検知」を選択すると、「音声異常検知」設定画面に進みます（図 7-9 参照）。

図 7-9 音声異常検知設定画面

IP Camera

ライブ映像 録画再生 スナップショット IVS 設定

クイックスタート システム ネットワーク 映像/音声 画像 イベント ストレージ

モーション検出アラーム アラーム入力 アラーム出力 HDDアラーム ネットワークアラーム デイナイト切換アラーム オーディオ異常検知

基本設定

有効 ☐

音響強度急上昇 ☐

音響強度急降下 ☐

イベント連動

アラーム出力 ☐ 1 ☐ 2

アラーム録画 ☐

アラームメール ☐

FTP送信 ☐

スナップショット ☐

警備時間

	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24
日													
月													
火													
水													
木													
金													
土													

全選択 全削除

- 2、「有効」をクリックし、音声異常検知を起動します（検知タイプ：音声急増 / 音声急減の 2 種類）。
- 3、検知感度（値が高いほど異常検知されやすい）と閾値（値が高いほど大きな音声で検知）を設定します。
- 4、アラーム出力、アラーム録画、アラームメール、FTP アップロード、スナップショット等の連動動作を有効にします。
- 5、「適用」をクリックし、「適用成功」のダイアログが表示されたら設定が保存されます。

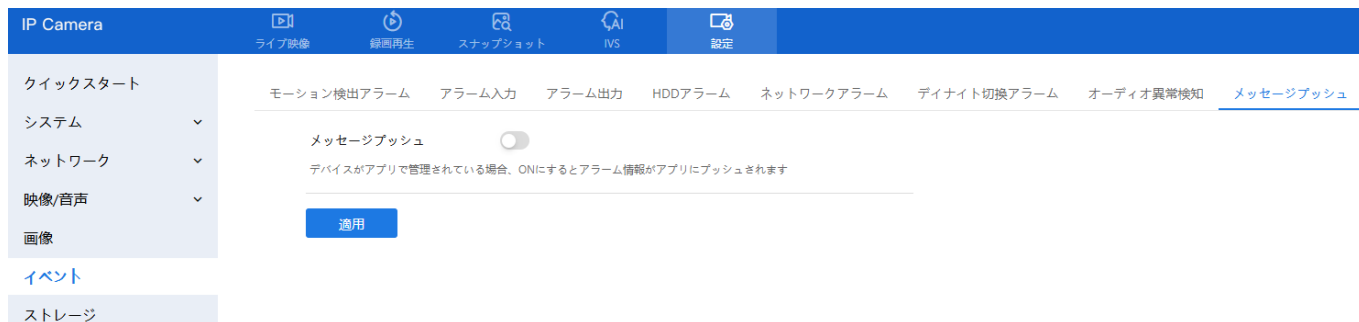
7.8 メッセージプッシュ

デバイスがアプリで管理されている場合、メッセージプッシュを有効にすると、アラーム情報がアプリリアルタイムで通知されます。

操作手順

- 1、「設定＞アラーム＞メッセージプッシュ」を選択すると、「メッセージプッシュ」設定画面に進みます（図 7-10 参照）。

図 7-10 メッセージプッシュ設定画面



- 2、「有効」スイッチをクリックし、「メッセージプッシュ」機能を有効にします。
- 3、「適用」をクリックし、「適用成功」のダイアログが表示されたら設定が保存されます。

7.9 ストロボライトアラーム出力（一部機種対応）

デバイスがストロボライトを搭載する場合、アラーム発生時にストロボライトの点滅で通知する設定が可能です。

操作手順

- 1、「設定＞アラーム＞ストロボライトアラーム出力」を選択すると、「ストロボライトアラーム出力」設定画面に進みます。

図 7-11 ストロボライトアラーム出力設定画面



- 2、アラーム時間と点滅間隔を設定します。
- 3、ストロボライトの手動制御：点灯時間を設定するか、「開始」で点滅開始、「停止」で点滅終了します。
- 4、ストロボライト出力の時間計画を設定します。
- 5、「適用」をクリックし、「適用成功」のダイアログが表示されたら設定が保存されます。

7.10 ホワイトライトアラーム出力（一部機種対応）

デバイスがホワイトライトを搭載する場合、アラーム発生時に設定時間でホワイトライトを点灯する設定が可能です。

前提：カメラ設定のデナイト画面で「ナイトモード」を選択し、ライトモードを「IR/NONE（ホワイトライト未起動）」に設定する。

操作手順

- 1、「設定＞イベント＞ホワイトライトアラーム出力」を選択すると、「ホワイトライトアラーム出力」設定画面に進みます（図 7-12 参照）。

図 7-12 ホワイトライトアラーム出力設定画面

The screenshot shows the 'IP Camera' web interface with the '設定' (Settings) tab selected. The left sidebar contains navigation options: クイックスタート, システム, ネットワーク, 映像/音声, 画像, PTZ, イベント (selected), and ストレージ. The main content area is titled 'ホワイトライトアラーム出力' (White Light Alarm Output) and includes the following settings:

- 基本設定** (Basic Settings):
 - アラーム継続時間 (Alarm Duration): 20 (range 10~60秒)
 - フリッカモード (Flicker Mode): 通常点灯 (Normal Lighting)
 - 手動制御継続時間 (Manual Control Duration): 0 (range 0~43200秒)
 - Buttons: スタート (Start), 停止 (Stop)
- スケジュール** (Schedule):
 - A 24-hour timeline (0 to 24) with a 2-hour interval.
 - Days of the week (日, 月, 火, 水, 木, 金, 土) with corresponding blue bars indicating the active schedule.
 - Buttons: すべて (All), すべて消去 (Clear All)
 - Bottom button: 適用 (Apply)

- 2、アラーム持続時間を 1～60 秒の範囲で設定します。
- 3、手動制御の点灯時間を設定します。
- 4、ホワイトライトアラーム出力の時間計画を設定します。
- 5、「適用」をクリックし、「適用成功」のダイアログが表示されたら設定が保存されます。

7.11 赤青灯アラーム出力（一部機種対応）

デバイスが赤青灯を搭載する場合、アラーム発生時に設定時間で赤青灯を交互点滅する設定が可能です。

操作手順

- 1、「設定＞イベント＞赤青灯アラーム出力」を選択すると、「赤青灯アラーム出力」設定画面に進みます（図 7-13 参照）。

図 7-13 赤青灯アラーム出力設定画面

IP Camera

ライブ ビデオ再生 スナップショット IVS 設定

クイックスタート システム ネットワーク 映像/音声 画像 PTZ イベント ストレージ

モーション検出アラーム アラーム入力 アラーム出力 HDDアラーム ネットワークアラーム 昼夜切替アラーム 異常音検知 プッシュメッセージ ホワイトライトアラーム出力 赤青ライトアラーム出力

基本設定

アラーム時間 10 (10~60)秒

フリッカ間隔 50 (0~5000)ms

手動制御継続時間 0 (0~43200)秒

スタート 停止

スケジュール

0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24

日 月 火 水 木 金 土

すべて すべて消去

適用

- 2、アラーム持続時間を 10～60 秒の範囲で設定し、点滅頻度（高 / 中 / 低）を選択します。
- 3、手動制御の点灯時間を設定します。「開始」で赤青灯の点滅開始、設定時間で自動停止または「停止」で手動停止します。
- 4、赤青灯アラーム出力の時間計画を設定します。
- 5、「適用」をクリックし、「適用成功」のダイアログが表示されたら設定が保存されます。

8 ストレージ

8.1 録画方針

録画方針画面より、計画録画、アラーム録画、録画品質、録画ルール を設定できます。

操作手順

- 1、「設定＞ストレージ＞録画方針」を選択すると、「録画方針」設定画面に進みます（図 8-1 参照）。

図 8-1 録画方針設定画面

The screenshot displays the 'Recording Policy' (録画方針) configuration page. The left sidebar shows the navigation menu with 'Storage' (ストレージ) selected. The main area has tabs for 'Recording Schedule' (録画スケジュール), 'Recording Directory' (録画ディレクトリ), and 'Capture Settings' (キャプチャ設定). Under 'Recording Schedule', the 'Schedule Recording' (スケジュール録画) toggle is turned on. The 'Alarm Continuation Time' (アラーム継続時間) is set to 10 seconds. 'Audio Recording' (音声録画) is turned off. The 'Recording Rule' (録画規則) is set to 'Overwrite Recording' (上書き録画). The 'Stream Name' (ストリーム名) is set to 'stream1'. Below these settings is a calendar grid for selecting recording days. The grid shows days of the week (日, 月, 火, 水, 木, 金, 土) and a time range from 0 to 24 hours. All days are currently selected with blue bars. At the bottom, there are buttons for 'All' (すべて), 'All Clear' (すべて消去), and 'Apply' (適用).

- 2、録画方針の各パラメータを設定します。詳細は表 8-1 を参照してください。

表8-1 録画方針パラメータ説明

パラメータ名	説明	設定方法
計画録画	計画録画機能のオン/オフ、録画時間のスケジュール設定可能。	スイッチ押下 デフォルト：OFF

アラーム録画時間 (0-86400s)	アラーム発生後の録画継続時間、録画再生時にアラーム後の映像も確認可能。	入力枠に数値入力 デフォルト：10 秒
録音	動画録画時に音声を同時録製するかの設定	スイッチ押下
録画ルール	ストレージ満杯時の動作ルール： ☐ ストレージ満杯時、循環書き込み ☐ 保存日数指定（1～360 日）	プルダウンリストから選択 デフォルト：ストレージ満杯時、循環書き込み
ストリーム名	録画に使用するストリームの選択	プルダウンリストから選択 デフォルト：Stream1

3、警戒時間の設定は 7.1 の 3 を参照してください。

4、「適用」をクリックして設定を保存します。「適用成功」のダイアログが表示されたら設定完了です。

8.2 録画ディレクトリ

デバイスの録画保存先ディレクトリを設定できます。

操作手順

1、「設定＞ストレージ＞録画ディレクトリ」を選択すると、「録画ディレクトリ」設定画面に進みます（図 8-2 参照）。SD カード/FTP/NAS の 3 種類の録画方式に対してパラメータの変更が可能です。

図 8-2 録画ディレクトリ設定画面

IP Camera									
クイックスタート システム ネットワーク 映像/音声 画像 PTZ イベント ストレージ 録画スケジュール 録画ディレクトリ キャプチャ設定									
HDDタイプ	HDD ID	グループID	有効	総容量 (MB)	空き容量 (MB)	アラームしきい値(%)	HDD 状態	操作	
SDカード	1	1	有効	0	0	100	HDD が認識でき...		
FTP	2	1	無効	0	0	100	N/A		
NAS	3	1	無効	0	0	100	N/A		

表8-2 SD カード録画ディレクトリ情報説明

パラメータ名	説明	設定方法
ディスク種別	ストレージの種別（SD カード）	手動変更不可

ディスク ID	SD カードの識別番号	
グループ ID	SD カードのグループ識別名	
有効	SD カードの機能有効/無効状態	
総容量	SD カードの総ストレージ容量	
使用可能容量	SD カードの残り使用可能容量	
アラーム閾値 (%)	SD カードの使用容量が設定値に達した際にアラーム発生	
状態	カメラと SD カードの接続状態	

2、 をクリックすると、「録画ディレクトリ編集」画面に進みます（図 8-3 参照）。

図 8-3 SD カード録画ディレクトリ編集画面

録画ディレクトリ変更

SDカード

☒

HDD ID

1

総容量 (MB)

0

アラームしきい値 (%)

(1~100)

暗号化有無

☐

取消

フォーマット

変更

3、SD カードのパラメータを設定します。詳しくは表 8-3 を参照してください。

表8-3 SD カードのパラメータ説明

パラメータ名	説明	設定方法
SD カード	SD カード録画機能のオン/オフ設定	スイッチ押下 デフォルト：ON
ディスク ID	SD カードの識別番号	-
総容量	SD カードの総ストレージ容量	-
アラーム閾値 (%)	SD カードの使用容量が設定値に達した際にアラーム発生	入力枠に入力 デフォルト：90

フォーマット	SD カードのフォーマット実行	ボタン押下 ※初回使用時は必須、録画方針の録画機能を OFF にした状態でのみ実行可能
--------	-----------------	--

図 8-4 FTP 録画ディレクトリ編集画面

録画ディレクトリ変更

FTP ☐

モード

IPアドレス

ポート

パス (/で始まる、または数字、アルファベット、アンダースコアの組み合わせ)

ユーザー名

パスワード 

総容量 (MB) (2048~999999999)

表8-4 FTP 録画ディレクトリのパラメータ説明

パラメータ名	説明	設定方法
FTP	FTP 録画機能のオン/オフ設定	スイッチ押下 デフォルト：OFF
IP アドレス	録画保存先の FTP サーバーの IP アドレス	入力枠に入力
ポート	FTP サーバーの接続ポート番号	入力枠に入力
パス	FTP サーバーの録画保存パス	入力枠に入力
ユーザー名	FTP サーバーへのログインユーザー名	入力枠に入力
パスワード	FTP サーバーのログインパスワード	入力枠に入力
確認	FTP サーバーのログインパスワード再入力（確認用）	入力枠に入力
総容量	FTP サーバーの録画使用可能総容量（512MB 以上必須）	入力枠に入力

FTP over SSL/TLS(FTPS)	FTP 伝送時の SSL/TLS 暗号化通信のオン/オフ	チェックボックスで選択
---------------------------	------------------------------	-------------

図 8-5 NAS 録画ディレクトリ編集画面

録画ディレクトリ変更

NAS ☐

IPアドレス

パス

ユーザー名

パスワード

ファイルシステム

表8-5 NAS 録画ディレクトリのパラメータ説明

パラメータ名	説明	設定方法
NAS	NAS 録画機能のオン/オフ設定	スイッチ押下（デフォルト：OFF）
IP アドレス	録画保存先の NAS サーバーの IP アドレス	入力枠に入力
パス	NAS サーバーの録画保存パス	入力枠に入力
ユーザー名	NAS サーバーへのログインユーザー名	入力枠に入力
パスワード	NAS サーバーのログインパスワード	入力枠に入力
確認	ログインパスワード再入力（確認用）	入力枠に入力
ファイルシステム	NAS のファイルシステム選択（cifs/nfs 対応）	プルダウンリストから選択 デフォルト：cifs

4、「修正」をクリックし、設定内容を保存します。

8.3 スナップショット方針

スナップショットの撮影条件と時間ルールを設定します。

操作手順

- 1、「設定＞ストレージ＞スナップショット方針」を選択すると、「スナップショット方針」設定画面に進みます（図 8-6 参照）。

図 8-6 スナップショット方針設定画面

IP Camera

ライブ ビデオ再生 スナップショット IVS 設定

クイックスタート

システム

ネットワーク

映像/音声

画像

PTZ

イベント

ストレージ

録画スケジュール 録画ディレクトリ キャプチャ設定

基本設定

スナップショット ☒

キャプチャ間隔 (60秒) (1-60)秒

スケジュール

	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24
日	[Blue bar]												
月	[Blue bar]												
火	[Blue bar]												
水	[Blue bar]												
木	[Blue bar]												
金	[Blue bar]												
土	[Blue bar]												

すべて すべて消去

適用

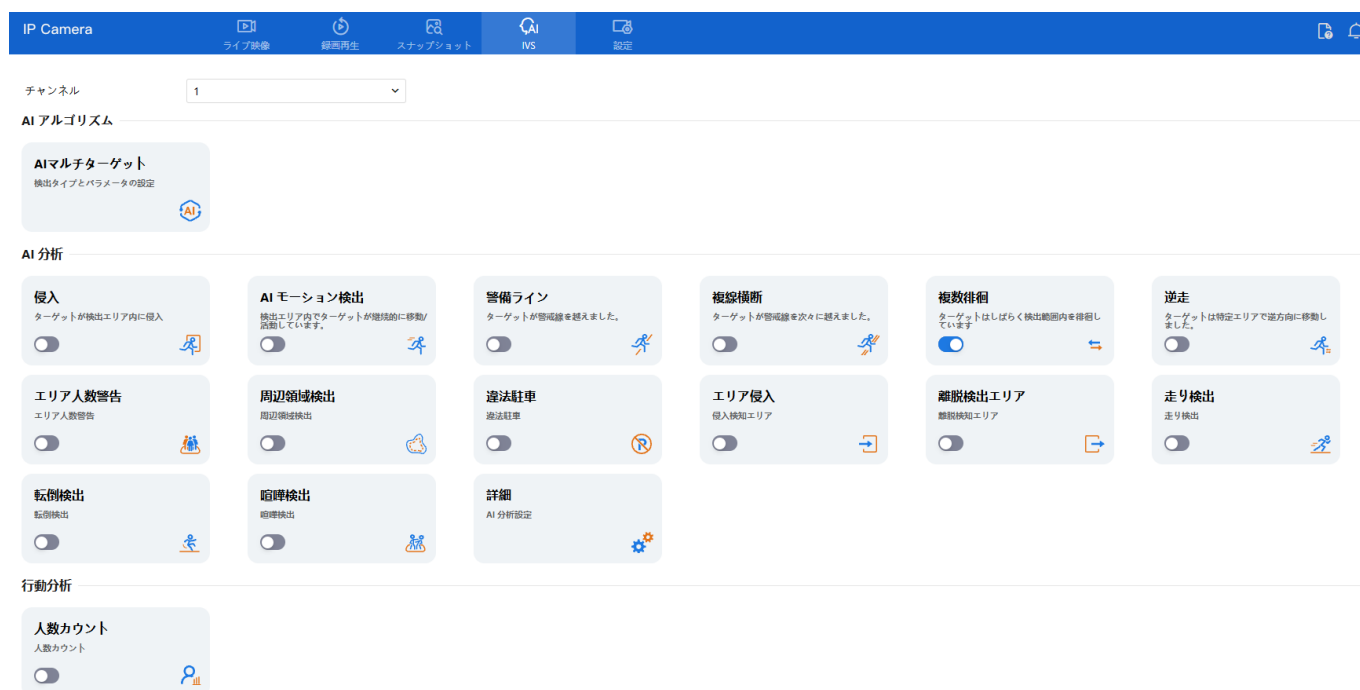
- 2、「スナップショット」スイッチをクリックして機能を有効にし、スナップショット間隔（1～60 秒）を設定します。
- 3、警戒時間の設定は 7.1 の 3 を参照してください。
- 4、「適用」をクリックして設定を保存します。「適用成功」のダイアログが表示されたら設定完了です。

9 IVS

本機能は機種により仕様が異なる場合があります、実機の表示内容を優先してください。

IVS : Intelligent Video System (インテリジェントビデオシステム/AI 映像分析システム)

図 9-1 IVS 設定画面



9.1 AI アルゴリズム

9.1.1 AI マルチターゲット

1、「IVS> AI アルゴリズム> AI マルチターゲット」を選択し、人・車両に関するパラメータを設定します。

図 9-2 AI マルチターゲット設定画面

チャンネル: 1

基本設定

- 顔検出: ☒
- 人体検出: ☒
- 車両検出: ☐
- 人体検出属性: ☐
- 車両検出プロパティ: ☐
- トレース情報表示: モザイク
- 検出領域表示: ☒
- 信頼係数: 中
- 顔検出最小ピクセル: 64 (1~300)
- 人体検出最小ピクセル: 50 (1~1000)
- 切り抜き画像品質: 最も高い
- スナップモード: タイマー
- 切り抜き画像送信間隔: 5 (1~10)
- 切り抜き画像FTP送信: ☐

適用

2、画面上でマウスで検知領域を描画し、右クリックで描画を終了します。その他の操作詳細は表 9-1 を参照してください。

表9-1 AI マルチターゲット操作説明

機能名	説明	設定方法
顔検知	設定範囲内に顔が出現した場合に検知します。	スイッチ押下
人体検知	設定範囲内に人体が出現した場合に検知します。	スイッチ押下
車両検知	設定範囲内に車両が出現した場合に検知します。	スイッチ押下
人体検知属性	人体の属性を検知し、ライブ画面/スナップショットに表示。 ◇ 対象：顔 / 人体 ◇ 性別：男 / 女 ◇ 年齢：幼年 / 青年 / 中年 / 老年 ◇ 眼鏡：着用 / 未着用 ◇ 帽子：普通帽 / 安全帽 / 未着用 ◇ バッグ：あり / なし ◇ 上衣色：青/黄/黒/白/緑/赤/灰/茶/ピンク/紫/カラー ◇ 上衣スタイル：半袖 / 長袖 ◇ ズボン色：青/黄/黒/白/緑/赤/灰/茶/ピンク/紫/カラー ◇ ズボンスタイル：ショーツ / ロング / スカート ◇ 反射ベスト：着用 / 未着用	スイッチ押下

車両検知属性	車両の属性を検知し、ライブ画面/スナップショットに表示。 ◇ 車体色：青/黄/黒/白/緑/赤/灰/茶/金/オレンジ ◇ 車両種別：乗用車 / SUV / バン / ピックアップ / トラック / 建設車両 / MPV / バス / ミニバン / スポーツカー ◇ 方向：前向き / 後ろ向き	スイッチ押下
追跡情報オーバーレイ	表示形式：オフ / フルフレーム / コーナー/ モザイク。 人体スナップ枠：青、顔スナップ枠：緑。 フルフレーム： コーナー：	プルダウンリストから選択
検知領域表示	ライブ映像に検知領域を表示、デフォルトは全画面 ※他領域設定時は全画面をクリア後、マウスで再描画可能。	スイッチ押下
信頼度	画像スナップショットの信頼度：高 / 中 / 低 ※値が高いほどスナップショット品質が向上、スナップショット数は減少	プルダウンリストから選択
顔検知最小ピクセル	1～300 ピクセル ※値が小さいほど顔スナップショット数が増加、誤検知の可能性が上昇	1-300 の数値を入力
人体検知最小ピクセル	1～1000 ピクセル ※値が小さいほど人物スナップショット数が増加、誤検知の可能性が上昇	1-1000 の数値を入力
車両検知最小ピクセル	1～1000 ピクセル ※値が小さいほど車両スナップショット数が増加、誤検知の可能性が上昇	1-1000 の数値を入力
画像切り抜き品質	スナップショット画像の切り抜き品質：高 / 中 / 低	プルダウンリストから選択
スナップショットモード	スナップショットモード：定時 / 最適	プルダウンリストから選択
送信間隔（1-10 秒）	スナップショットモードが「定時」の場合、スナップショット間隔を設定	1-10 の数値を入力

FTP 切り抜き画像送信	設定＞ネットワークサービス＞FTP でパラメータ設定 スナップショット画像を設定済み FTP へ送信	スイッチ押下
FTP 全体画像送信	スナップショット時に全体の画像も同時に FTP へ送信	スイッチ押下
スナップショット	ターゲット検知時に、ターゲット画像と全体画像をスナップショット	スイッチ押下

3、警戒時間の設定は 7.1 の 3 を参照してください。

4、「適用」をクリックして設定を保存します。「適用成功」のダイアログが表示されたら設定完了です。

9.2 AI 分析

※説明

機種により AI 分析パラメータの仕様が異なる場合は、実機の表示内容を優先してください。

9.2.1 侵入検知

指定したタイプのターゲット（人/車両/人＋車両）が警戒領域に侵入した場合、アラームをトリガーします。

操作手順

1、「IVS＞AI 分析＞侵入検知」を選択すると、「侵入検知」設定画面に進みます（図 9-3 参照）。

図 9-3 侵入検知設定画面

The screenshot displays the '侵入検知' (Intrusion Detection) settings page. The top navigation bar includes 'IP Camera', 'ライブ映像' (Live Video), '録画再生' (Playback), 'スナップショット' (Snapshot), 'IVS', and '設定' (Settings). The left sidebar shows a menu with '侵入' (Intrusion) selected. The main content area is divided into sections: 'チャンネル' (Channel) with a dropdown set to '1'; '基本設定' (Basic Settings) with toggles for '有効' (Enabled), 'アラーム間隔' (Alarm Interval) set to '10' (1~1800) seconds, '感度' (Sensitivity) with a slider, and '対象タイプ制限' (Target Type Restriction); and 'エリア一覧' (Area List) with a table for defining detection areas. The table has columns for '有効' (Enabled), 'エリアID' (Area ID), '最小' (Minimum), and '最大' (Maximum). Below this is the 'イベント連動' (Event Linkage) section with options for 'アラーム出力' (Alarm Output) (checkboxes for 1 and 2) and '音声アラーム' (Audio Alarm) (toggle). A blue '適用' (Apply) button is at the bottom left. On the right, a video preview window shows a blurred scene with a person, and a '消去' (Delete) button is at the bottom left of the preview.

2、侵入検知の各パラメータを設定します。詳細は表 9-2 を参照してください。

表9-2 侵入検知パラメータ説明

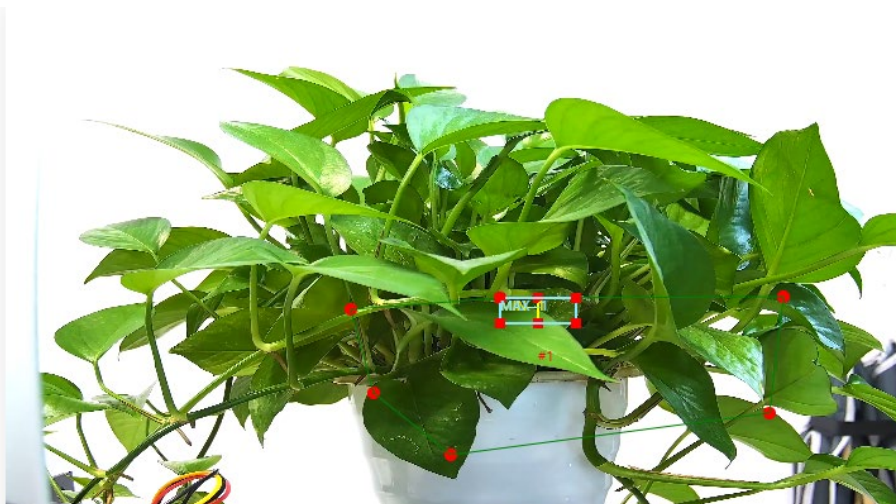
パラメータ名	説明	設定方法
有効	----	スイッチ押下 デフォルト：OFF
映像ストリーム描画	ライブ映像に検知領域の描画枠を表示（一部機種対応）	スイッチ押下 デフォルト：OFF
アラーム間隔	アラーム情報の送信間隔、設定時間内は 1 回のみ送信	入力枠に数値入力 設定範囲：1～1800 秒
感度	ターゲットの検知感度 ※値が高いほど検知しやすく、精度は低下する	プルダウンリストから選択 デフォルト：5
ターゲット種別限定	検知対象のターゲット種別を限定（人 / 車両 / 人または車両）	スイッチ押下 デフォルト：OFF
エリアリスト	設定済みの領域を表示、アラームトリガーの最小 / 最大ピクセルを設定。 ※有効を選択すると、領域内に最小 / 最大サイズを表示して比較可能。	
アラーム出力	外部アラームライトと連動、アラーム時にライトが作動（一部機種対応）	チェック後、ID 番号を入力
音声アラーム	スピーカー搭載機種の場合、アラーム時に音声ファイルを再生。	スイッチ押下 デフォルト：OFF
アラーム録画	アラーム発生時に動画録画を自動実行	スイッチ押下（デフォルト：OFF）
アラームメール	アラーム発生時に指定メールアドレスへ情報送信	スイッチ押下（デフォルト：OFF）
FTP アップロード	侵入検知時に画像を設定済み FTP パスへアップロード	スイッチ押下 デフォルト：OFF
スナップショット	ターゲット侵入時に全体画像 / ターゲット画像をスナップショット。※結果はリアルタイム AI 映像・スナップショットページで確認可能。	スイッチ押下 デフォルト：OFF
連動追跡	アラームターゲット検知時に、レンズがターゲットを追跡	スイッチ押下 デフォルト：OFF

ストロボライトアラーム	ストロボライト搭載機種の場合、アラーム時にストロボライトを点滅	スイッチ押下 デフォルト：OFF
ホワイトライトアラーム	ホワイトライト搭載機種の場合、アラーム時にホワイトライトを点滅	スイッチ押下 デフォルト：OFF
赤青灯アラーム	赤青灯搭載機種の場合、アラーム時に赤青灯を交互に点滅	スイッチ押下 デフォルト：OFF

3、警戒領域を設定します。設定完了後、エリアリストに表示されます。チェックして有効にすると、当該エリアが機能します。

描画画面にカーソルを移動し、左クリックで始点を作成→カーソル移動で線を描画→左クリックで終点を作成し線分を生成し、順次描画して任意の形状を作成した後、右クリックで描画を終了します（図 9-4 参照）。

図 9-4 警戒領域設定画面



※説明

- ☐ 描画した線は交差しないでください。交差すると描画が失敗します。
- ☐ 任意の形状を描画可能ですが、最大辺数は 8 辺に制限されます。
- ☐ 設定可能な領域数は 8 個に制限されます。
- ☐ 有効化した領域には、限定ターゲットの最大/最小サイズが表示され、表示枠をドラッグしてサイズ変更可能です。

4、警戒時間の設定は 7.1 の 3 を参照してください。

5、「適用」をクリックし、「適用成功」のダイアログが表示されたら設定完了です。

9.2.2 AI 動体検知

警戒領域内で指定したタイプのターゲット（人/車両）が移動した場合、アラームをトリガーします。

操作手順

1、「IVS> AI 分析> AI 動体検知」を選択すると、「AI 動体検知」設定画面に進みます（図 9-5 参照）。

図 9-5 AI 動体検知設定画面

チャンネル: 1

基本設定

有効: ☐

アラーム間隔: 10 (1~1800)秒

感度: - + 5

対象タイプ制限: ☐

エリア一覧

有効	エリアID	最小	最大

イベント連動

アラーム出力: ☐ 1 ☐ 2

音声アラーム: ☐

[適用](#)

2、AI 動体検知の各パラメータは、9.2.1 侵入検知の 2 を参照して設定してください。

3、警戒領域を設定します。設定完了後、エリアリストに表示されます。チェックして有効にすると、当該エリアが機能します。

描画面面にカーソルを移動し、左クリックで始点を作成→カーソル移動で線を描画→左クリックで終点を作成し線分を生成し、順次描画して任意の形状を作成した後、右クリックで描画を終了します。

※説明

- ☐ 描画した線は交差しないでください。交差すると描画が失敗します。
- ☐ 任意の形状を描画可能ですが、最大辺数は 8 辺に制限されます。
- ☐ 設定可能な領域数は 8 個に制限されます。
- ☐ 有効化した領域には、限定ターゲットの最大/最小サイズが表示され、表示枠をドラッグしてサイズ変更可能です。

4、警戒時間の設定は 7.1 の 3 を参照してください。

5、「適用」をクリックし、「適用成功」のダイアログが表示されたら設定完了です。

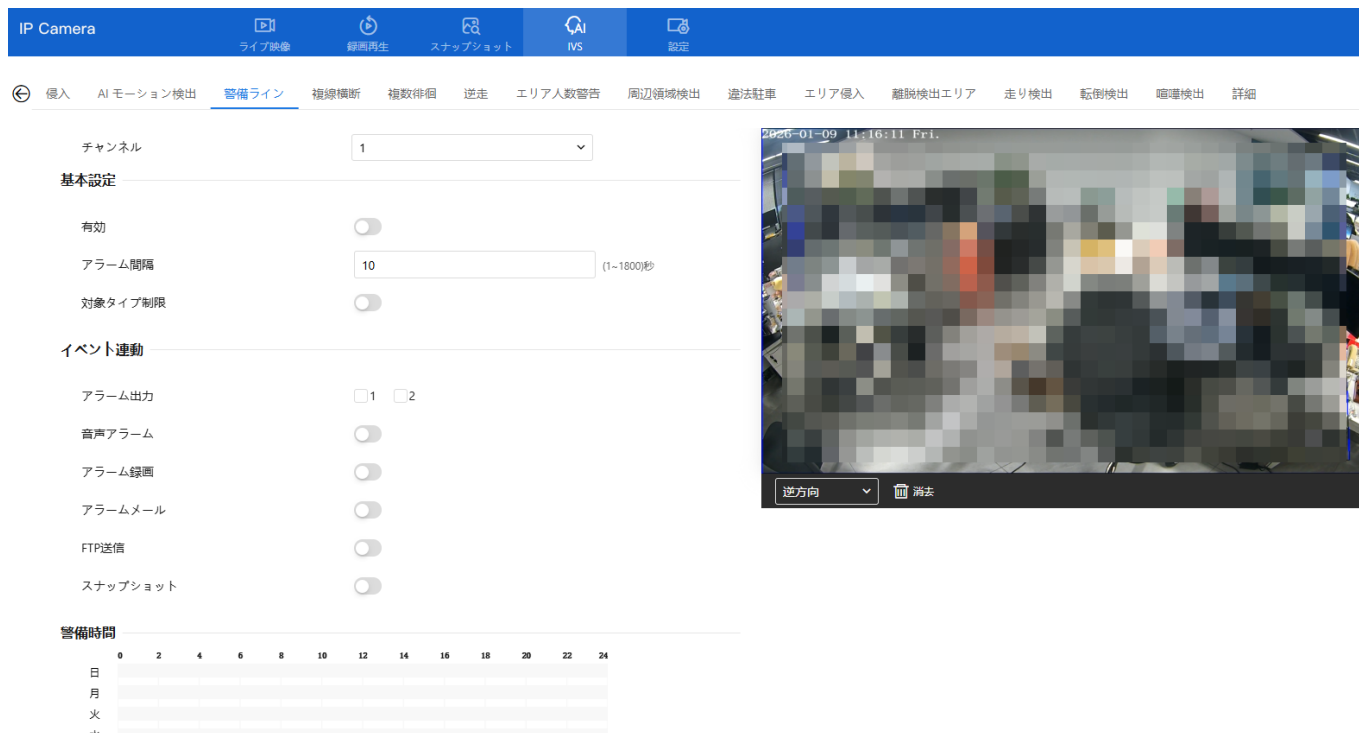
9.2.3 ラインクロス

視野内の指定位置に通行禁止方向のラインを設定し、指定タイプのターゲット（人/車両）が当該ラインを越えた場合、アラームをトリガーします。

操作手順

1、「IVS> AI 分析> ラインクロス」を選択すると、「ラインクロス」設定画面に進みます（図 9-6 参照）。

図 9-6 ラインクロス設定画面



The screenshot shows the 'Line Cross Setting' (ラインクロス設定) screen. The top navigation bar includes 'IP Camera', 'ライブ映像' (Live Video), '録画再生' (Playback), 'スナップショット' (Snapshot), 'IVS', and '設定' (Settings). The main menu on the left lists various detection types: '侵入' (Intrusion), 'AI モーション検出' (AI Motion Detection), '警戒ライン' (警戒ライン), '複線横断' (Multiple Line Crossing), '複数徘徊' (Multiple徘徊), '逆走' (Reverse Driving), 'エリア人数警告' (Area Person Count Warning), '周辺領域検出' (Perimeter Area Detection), '違法駐車' (Illegal Parking), 'エリア侵入' (Area Intrusion), '離脱検出エリア' (Exit Detection Area), '走り検出' (Running Detection), '転倒検出' (Falling Detection), '嘔吐検出' (Vomiting Detection), and '詳細' (Details). The '警戒ライン' (警戒ライン) option is selected.

The '警戒ライン' (警戒ライン) settings are as follows:

- チャンネル (Channel): 1
- 基本設定 (Basic Settings):
 - 有効 (Effective): ☐
 - アラーム間隔 (Alarm Interval): 10 (1~1800)秒
 - 対象タイプ制限 (Target Type Restriction): ☐
- イベント連動 (Event Linkage):
 - アラーム出力 (Alarm Output): ☐ 1 ☐ 2
 - 音声アラーム (Voice Alarm): ☐
 - アラーム録画 (Alarm Recording): ☐
 - アラームメール (Alarm Email): ☐
 - FTP送信 (FTP Transmission): ☐
 - スナップショット (Snapshot): ☐
- 警戒時間 (Alarm Time):

日	月	火	水	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24

On the right side, there is a live video feed showing a blurred scene. Below the video feed, there are controls for '逆方向' (Reverse Direction) and '消去' (Delete).

2、ラインクロスの各パラメータは、9.2.1 侵入検知の 2 を参照して設定します。

3、警戒ラインを設定します。

描画方法：描画画面にカーソルを移動し、左クリックを長押ししてカーソルを移動→ラインが描画される→左クリックを放して警戒ラインを生成します。

ライン設定：警戒ラインをクリックすると、通行方向（正方向 / 逆方向 / 双方向）を設定可能。ラインの一端を長押しドラッグすると、位置 / 長さの変更可能。

削除方法：右クリック、または画面の「クリア」ボタンで警戒ラインを削除します。

※説明

- ☐ 警戒ラインは画面中央付近に描画することを推奨します。ターゲットの検知に時間がかかるため、端に描画すると検知漏れが発生しやすくなります。
- ☐ 警戒ラインは短すぎないようにしてください。人体の検知は「足元」を基準とするため、短すぎると対象を検知できない場合があります。
- ☐ 最大設定可能な警戒ライン数は 8 本に制限されます。

4、警戒時間の設定は 7.1 の 3 を参照してください。

5、「適用」をクリックし、「適用成功」のダイアログが表示されたら設定完了です。

9.2.4 ダブルラインクロス

視野内の指定位置に通行方向を設定した 2 本のラインを設定し、指定タイプのターゲット（人/車両）が設定時間内に順番に（ライン 1→ライン 2）2 本のラインを越えた場合、アラームをトリガーします。

操作手順

- 1、「IVS> AI 分析> ダブルラインクロス」を選択すると、「ダブルラインクロス」設定画面に進みます（図 9-7 参照）。

図 9-7 ダブルラインクロス設定画面

- 2、ダブルラインクロスの各パラメータは、9.2.1 侵入検知の 2 を参照して設定します。

- 3、警戒エリアを設定します。

描画方法：描画画面にカーソルを移動し、左クリックを長押ししてカーソルを移動→2 本のラインが同時に描画される→左クリックを放してダブル警戒ラインを生成します。

ライン設定：いずれかのラインをクリックすると、通行方向（正方向 / 逆方向）を設定可能。ラインの一端を長押しドラッグすると、位置/長さの変更可能。

削除方法：右クリック、または画面の「クリア」ボタンでラインを削除します。

※説明

- ☐ 2 本のラインには順番があり、設定した通過時間内にライン 1→ライン 2 の順で通過した場合のみアラームがトリガーされます。
- ☐ 警戒ラインはできるだけ中央に描画してください。対象が画面に出現してから認識まで時間を要し、物体を認識した後に警戒ラインを越えた場合にアラームが発生します。
- ☐ 警戒ラインは短くしないでください。人の足元を検知して対象を認識するため、警戒ラインが短すぎると対象の認識が困難になります。
- ☐ 手動で方向を直接変更不可能ですが、「逆方向」を選択することで通過順を変更可能です。

- 4、警戒時間の設定は 7.1 の 3 を参照してください。

- 5、「適用」をクリックし、「適用成功」のダイアログが表示されたら設定完了です。

9.2.5 複数人徘徊検知

警戒領域内で指定タイプの複数ターゲット（人/車両）が設定した最短徘徊時間以上滞在した場合、アラームをトリガーします。

操作手順

- 1、「IVS> AI 分析> 複数人徘徊検知」を選択すると、「複数人徘徊検知」設定画面に進みます（図 9-8 参照）。

図 9-8 複数人徘徊検知設定画面

The screenshot shows the '複数人徘徊' (Multiple Person徘徊) settings page. The top navigation bar includes 'IP Camera', 'ライブ映像', '録画再生', 'スナップショット', 'IVS', and '設定'. The left sidebar lists various detection types, with '複数人徘徊' selected. The main content area is divided into '基本設定' (Basic Settings) and 'イベント連動' (Event Linkage). The '基本設定' section includes a 'チャンネル' (Channel) dropdown set to '1', a '有効' (Effective) toggle switch, 'アラーム間隔' (Alarm Interval) set to '10' (range 1-1800), '最短時間' (Minimum Time) set to '30' (range 5-60), '人数制限' (Person Limit) toggle switch, '最小人数' (Minimum Number of People) set to '1', and an 'エリア一覧' (Area List) table. The 'イベント連動' section includes an 'アラーム出力' (Alarm Output) section with checkboxes for '1' and '2'. A '適用' (Apply) button is at the bottom left. On the right, a live video feed shows a blurred scene with a timestamp '2025-01-09 11:15:40 Fri.' and a '消去' (Delete) button.

- 2、複数人徘徊検知の基本パラメータは 9.2.1 侵入検知の 2 を参照して設定します。

表9-3 複数人徘徊検知パラメータ説明

パラメータ名	説明	設定方法
モード（PTZ 機能搭載カメラ 対応）	選択可：通常モード、プリセットモード プリセットモードを選択した場合は、事前設定済みのプリセット位置を選択する必要があります。	プルダウンリストから選択 デフォルト：通常モード
有効	----	スイッチ押下（デフォルト：OFF）
アラーム間隔	アラーム情報の送信間隔を設定し、設定値の範囲内ではアラーム情報を 1 回のみ送信します。	入力枠に数値を入力 設定範囲：1～1800 秒
映像ストリーム 描画	有効にすると、ライブ映像に検知領域の描画枠を表示します（一部機種対応）。	スイッチ押下 デフォルト：OFF

人数限定	「人数限定」を OFF にすると人数に関係なくアラームが発生し、有効にするとアラーム発生時の最少人数を設定可能です。	スイッチ押下
最短徘徊時間 (秒)	ターゲットが領域内に滞在する時間が、設定した最短徘徊時間以上である場合にアラームが発生します。 【設定範囲】 5～60 秒	入力枠に数値を入力 デフォルト：10 秒
アラーム出力	「アラーム出力」にチェックして設定すると、機器に外部アラームライトを接続した状態で、アラーム発生時にアラームライトが作動します（一部機種対応）。	アラーム出力にチェックし、ID 番号を入力
音声アラーム	有効にするとアラーム音声ファイルを選択可能で、アラーム検知時に機器より音声で通知します（一部機種対応）。	スイッチ押下 デフォルト：OFF
ストロボライトアラーム	有効にするとストロボライトアラームが作動し、アラーム検知時に機器のストロボライトが点滅します（一部機種対応）。	スイッチ押下 デフォルト：OFF
アラーム録画	有効にすると、アラーム情報発信時に同時に録画を実施します。	スイッチ押下（デフォルト：OFF）
アラームメール	有効にすると、アラーム発生時に関連情報を指定メールアドレスに送信します。	スイッチ押下 デフォルト：OFF
FTP アップロード	有効にすると、侵入検知発生時に画像を設定済み FTP パスに送信します。	スイッチ押下 デフォルト：OFF
ホワイトライトアラーム	有効にするとホワイトライトアラームが作動し、アラーム検知時に機器のホワイトライトが点滅します。 前提：カメラのデナイト設定ページでナイトモードを選択し、ライトモードを IR または NONE（ホワイトライト未作動モード）に設定する必要があります（一部機種対応）。	スイッチ押下 デフォルト：OFF

3、警戒領域を設定します。

描画方法：描画面面にカーソルを移動し、左クリックで始点を作成→カーソル移動で線を描画→左クリックで終点を作成し線分を生成し、順次描画して任意の形状を作成後、右クリックで描画を終了します。

※説明

- ☐ 描画した線は交差させないでください。交差すると描画が失敗します。
- ☐ 任意の形状を描画可能ですが、最大辺数は 8 辺に制限されます。
- ☐ 設定可能な警戒領域数は 8 個に制限されます。

4、警戒時間の設定は、7.1 の 3 を参照してください。

5、「適用」をクリックします。「適用成功」のダイアログが表示されれば、システムに設定が保存されたことを示します。

9.2.6 逆行検知

逆行検知とは、映像の警戒領域に通行方向を設定し、指定した種別のターゲット（人、車両等）が当該領域内で設定した通行方向と逆に移動した場合、アラームを発生させる機能です。

操作手順

- 1、「IVS> AI 分析> 逆行検知」を選択すると、「逆行検知」設定画面に進みます（図 9-9 参照）。

図 9-9 逆行検知設定画面

- 2、逆行検知の各パラメータは、9.2.1 侵入検知の 2 を参照して設定します。
- 3、警戒領域を設定します。

描画方法：描画面面にカーソルを移動し、左クリックで始点を作成→カーソル移動で線を描画→左クリックで終点を作成し線分を生成し、順次描画して任意の形状を作成後、右クリックで描画を終了します。領域内の矢印をドラッグすることで、逆行の方向を設定可能です。

※説明

- ☐ 描画した線は交差させないでください。交差すると描画が失敗します。
- ☐ 任意の形状を描画可能ですが、最大辺数は 8 辺に制限されます。
- ☐ 設定可能な警戒領域数は 8 個に制限されます。
- ☐ 描画した領域内に矢印マークが表示され、矢印の方向が逆行方向となります。矢印をドラッグすることで逆行方向を変更可能です。

- 4、警戒時間の設定は、7.1 の 3 を参照してください。
- 5、「適用」をクリックします。「適用成功」のダイアログが表示されれば、システムに設定が保存されたことを示します。

9.2.7 エリア人数警報

エリア人数警報とは、警戒領域内の人数が設定した持続時間以上、設定した最大人数を超過するか、設定した最少人数を下回った場合、エリア人数警報を発生させる機能です。

操作手順

- 1、「IVS> AI 分析> エリア人数警報」を選択すると、「エリア人数警報」設定画面に進みます（図 9-10 参照）。

図 9-10 エリア人数警報設定画面

IP Camera

ライブ映像 録画再生 スナップショット IVS 設定

侵入 AI モーション検出 警備ライン 複線横断 複数徘徊 逆走 エリア人数警告 周辺領域検出 違法駐車 エリア侵入 離脱検出エリア 走り検出 転倒検出 嘔吐検出 詳細

チャンネル 1

基本設定

有効 ☐

アラーム間隔 10 (1~1800)秒

感度 - + 5

エリア一覧

エリアID	エリア名	アラームタイプ	アラームしきい値(1~...	持続

イベント連動

アラーム出力 ☐ 1 ☐ 2

音声アラーム ☐

アラーム録画 ☐

適用

- 2、エリア人数警報の各パラメータは、9.2.1 侵入検知の 2 を参照して設定します。
- 3、警戒領域を設定します。エリアリストにてアラーム種別（最大人数、最少人数）を選択し、アラーム閾値（1～30 人）と持続時間を設定します。

描画方法：描画面面にカーソルを移動し、左クリックで始点を作成→カーソル移動で線を描画→左クリックで終点を作成し線分を生成し、順次描画して任意の形状を作成後、右クリックで描画を終了します。

※説明

- ☐ 描画した線は交差させないでください。交差すると描画が失敗します。
- ☐ 任意の形状を描画可能ですが、最大辺数は 8 辺に制限されます。
- ☐ 設定可能な警戒領域数は 8 個に制限されます。
- ☐ 描画した領域内に矢印マークが表示され、矢印の方向が逆行方向となります。矢印をドラッグすることで逆行方向を変更可能です。

- 4、警戒時間の設定は、7.1 の 3 を参照してください。
- 5、「適用」をクリックします。「適用成功」のダイアログが表示されれば、システムに設定が保存されたことを示します。

9.2.8 周辺検知

警戒領域の外周において、ターゲットが侵入/退出/双方向に移動した場合、周辺検知アラームを発生させる機能です。

操作手順

- 1、「IVS> AI 分析> 周辺検知」を選択すると、「周辺検知」設定画面に進みます（図 9-11 参照）。

図 9-11 周辺検知設定画面

The screenshot displays the 'Surround Detection' (周辺検知) configuration page. The top navigation bar includes 'IP Camera', 'Live View' (ライブ映像), 'Playback' (録画再生), 'Snapshot' (スナップショット), 'IVS', and 'Settings' (設定). The main menu on the left lists various detection functions, with 'Surround Detection' (周辺領域検出) selected. The settings are organized into sections: 'Channel' (チャンネル) set to 1, 'Basic Settings' (基本設定) including 'Enabled' (有効) toggle, 'Alarm Interval' (アラーム間隔) set to 10 seconds, 'Sensitivity' (感度) slider, and 'Object Type Restriction' (対象タイプ制限) toggle. The 'Area List' (エリア一覧) table is currently empty. The 'Event Action' (イベント連動) section shows 'Alarm Output' (アラーム出力) with checkboxes for 1 and 2, and 'Sound Alarm' (音声アラーム) toggle. A 'Apply' (適用) button is at the bottom left. On the right, a live video feed shows a blurred scene with a timestamp '2025-01-09 11:17:26 Fri' and a 'Clear' (消去) button.

- 2、周辺検知の各パラメータは、9.2.1 侵入検知の 2 を参照して設定します。

- 3、警戒領域を設定します。

描画方法：描画面面にカーソルを移動し、左クリックで始点を作成→カーソル移動で線を描画→左クリックで終点を作成し線分を生成し、順次描画して任意の形状を作成後、右クリックで描画を終了します。

※説明

- ☐ 描画した線は交差させないでください。交差すると描画が失敗します。
- ☐ 任意の形状を描画可能ですが、最大辺数は 8 辺に制限されます。
- ☐ 設定可能な警戒領域数は 8 個に制限されます。
- ☐ 描画した領域内に矢印マークが表示され、矢印の方向が逆行方向となります。矢印をドラッグすることで逆行方向を変更可能です。

- 4、警戒時間の設定は、7.1 の 3 を参照してください。

- 5、「適用」をクリックします。「適用成功」のダイアログが表示されれば、システムに設定が保存されたことを示します。

9.2.9 走り検出

走り検出とは、警戒領域内で人が走行した場合、走り検出アラームを発生させる機能です。

操作手順

- 1、「IVS> AI 分析> 走り検出」を選択すると、「走り検出」設定画面に進みます（図 9-12 参照）。

図 9-12 走り検出設定画面

The screenshot shows the 'Walk Detection' (走り検出) settings page. The top navigation bar includes 'IP Camera', 'ライブ映像', '録画再生', 'スナップショット', 'IVS', and '設定'. The main menu on the left includes '侵入', 'AI モーション検出', '警備ライン', '視線検出', '複数徘徊', '逆走', 'エリア人数警告', '周辺領域検出', '違法駐車', 'エリア侵入', '離脱検出エリア', '走り検出' (selected), '転倒検出', '喧嘩検出', and '詳細'.

Channel: 1

基本設定

- 有効:** ☐
- アラーム間隔:** 10 (1~1800秒)
- 感度:** - + 5
- エリア一覧:**

有効	エリアID	最小	最大

イベント連動

- アラーム出力:** ☐ 1 ☐ 2
- 音声アラーム:** ☐
- アラーム録画:** ☐

適用

- 2、走り検出の各パラメータは、9.2.1 侵入検知の 2 を参照して設定します。
- 3、警戒領域を設定します。

描画方法：描画面面にカーソルを移動し、左クリックで始点を作成→カーソル移動で線を描画→左クリックで終点を作成し線分を生成し、順次描画して任意の形状を作成後、右クリックで描画を終了します。

※説明

- ☐ 描画した線は交差させないでください。交差すると描画が失敗します。
- ☐ 任意の形状を描画可能ですが、最大辺数は 8 辺に制限されます。
- ☐ 設定可能な警戒領域数は 8 個に制限されます。
- ☐ 描画した領域内に矢印マークが表示され、矢印の方向が逆行方向となります。矢印をドラッグすることで逆行方向を変更可能です。

- 4、警戒時間の設定は、7.1 の 3 を参照してください。
- 5、「適用」をクリックします。「適用成功」のダイアログが表示されれば、システムに設定が保存されたことを示します。

9.2.10 転倒検知

転倒検知とは、警戒領域内で人が転倒した場合、転倒検知アラームを発生させる機能です。

操作手順

- 1、「IVS> AI 分析> 転倒検知」を選択すると、「転倒検知」設定画面に進みます（図 9-13 参照）。

図 9-13 転倒検知設定画面

2、転倒検知の各パラメータは、9.2.1 侵入検知の 2 を参照して設定します。

3、警戒領域を設定します。

描画方法：描画面面にカーソルを移動し、左クリックで始点を作成→カーソル移動で線を描画→左クリックで終点を作成し線分を生成し、順次描画して任意の形状を作成後、右クリックで描画を終了します。

※説明

- ☐ 描画した線は交差させないでください。交差すると描画が失敗します。
- ☐ 任意の形状を描画可能ですが、最大辺数は 8 辺に制限されます。
- ☐ 設定可能な警戒領域数は 8 個に制限されます。
- ☐ 描画した領域内に矢印マークが表示され、矢印の方向が逆行方向となります。矢印をドラッグすることで逆行方向を変更可能です。

4、警戒時間の設定は、7.1 の 3 を参照してください。

5、「適用」をクリックします。「適用成功」のダイアログが表示されれば、システムに設定が保存されたことを示します。

9.2.11 喧嘩検知

喧嘩検知とは、警戒領域内で人同士が喧嘩した場合、喧嘩検知アラームを発生させる機能です。

操作手順

1、「IVS> AI 分析> 喧嘩検知」を選択すると、「喧嘩検知」設定画面に進みます（図 9-14 参照）。

図 9-14 喧嘩検知設定画面

2、喧嘩検知の各パラメータは、9.2.1 侵入検知の 2 を参照して設定します。

3、警戒領域を設定します。

描画方法：描画面面にカーソルを移動し、左クリックで始点を作成→カーソル移動で線を描画→左クリックで終点を作成し線分を生成し、順次描画して任意の形状を作成後、右クリックで描画を終了します。

※説明

- ☐ 描画した線は交差させないでください。交差すると描画が失敗します。
- ☐ 任意の形状を描画可能ですが、最大辺数は 8 辺に制限されます。
- ☐ 設定可能な警戒領域数は 8 個に制限されます。
- ☐ 描画した領域内に矢印マークが表示され、矢印の方向が逆行方向となります。矢印をドラッグすることで逆行方向を変更可能です。

4、警戒時間の設定は、7.1 の 3 を参照してください。

5、「適用」をクリックします。「適用成功」のダイアログが表示されれば、システムに設定が保存されたことを示します。

9.2.12 詳細設定

すべての AI 分析のターゲットフィルタリングパラメータを設定しておけば、ターゲットが設定領域に出現した時間がフィルタリング時間を超過した場合にのみ、アラームがトリガーされます。

※例：設定値を 5000ms にした場合、ターゲットが領域内に 5 秒間滞在した後に、関連 AI 分析アラームがトリガーされます。

図 9-15 詳細設定画面



- 1、ターゲットフィルタリングを有効にします。
- 2、ターゲットフィルタリング時間を設定します。
- 3、「適用」をクリックします。「適用成功」のダイアログが表示されれば、システムに設定が保存されたことを示します。

9.3 人数集計

9.3.1 設定

- 1、「IVS> 動作分析> 人数集計」画面にて、人数集計関連のパラメータを設定します（図 9-16 参照）。

図 9-16 人数集計設定画面

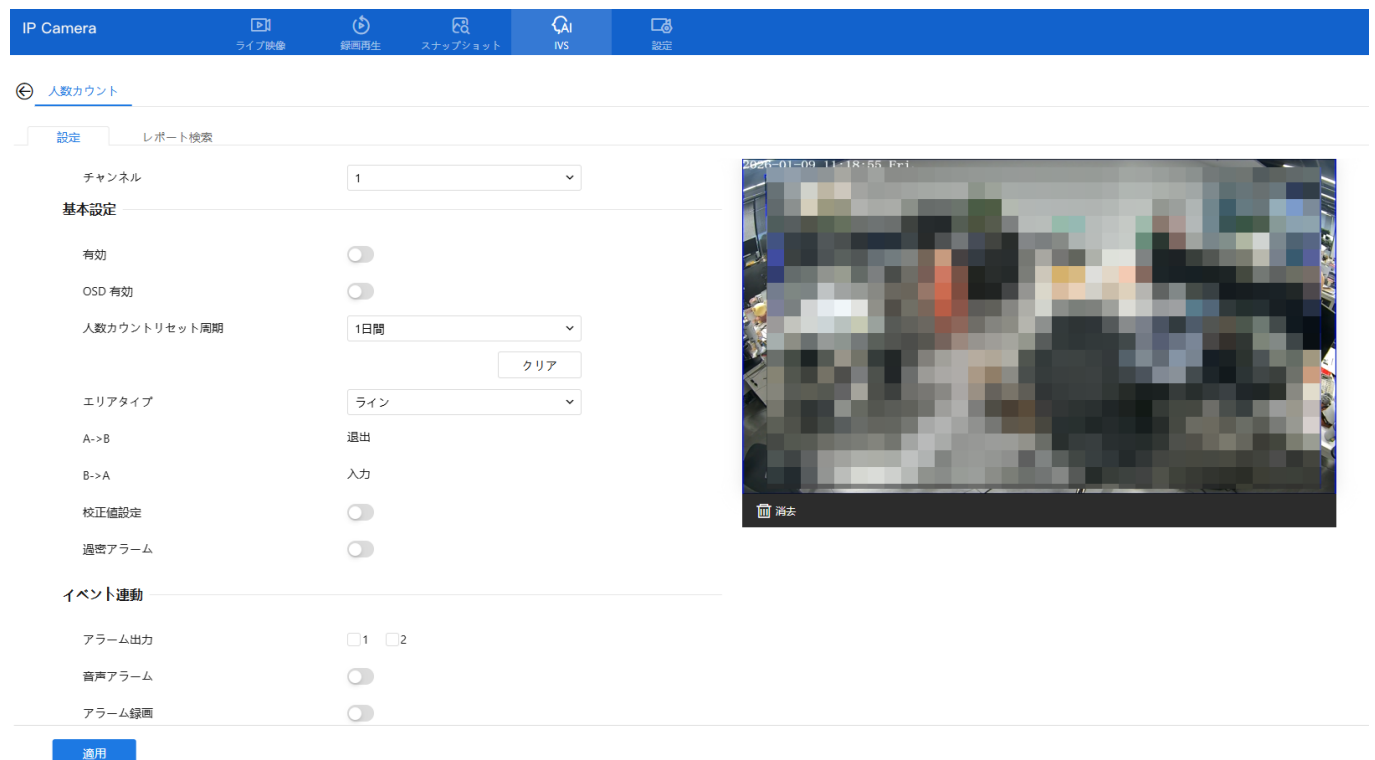


表9-4 人数集計パラメータ説明

パラメータ名	パラメータ説明	設定方法
有効	----	スイッチ押下 デフォルト：OFF
OSD 表示	人数集計結果をライブ画面に OSD 形式で表示します	スイッチ押下 デフォルト：OFF
人数集計リセット 間隔	10 分 / 30 分 / 1 時間 / 12 時間 / 1 日 / カスタム時間から選択可能、または手動で直接リセット可能。	プルダウンメニューより選択 デフォルト：1 日
エリア種別	デフォルトは「ライン」を選択し、出入り方向を指定できます。左側のライブ画面に直接ラインを描画して設定できます。既にラインを設定している場合は「クリア」をクリック後、新規に描画してください。	プルダウンメニューより選択
集計値校正	集計値校正を有効にすると、集計人数を手動で校正できます。表示される人数は校正後の数値となります。	スイッチ押下 デフォルト：OFF
定員超過アラーム	定員超過アラームを有効にすると、アラーム閾値を設定可能で、人数集計値が閾値に達した場合に定員超過アラームが発生します。	スイッチ押下 デフォルト：OFF
音声アラーム	有効にするとアラーム音声ファイルを選択可能で、アラーム検知時に機器より音声で通知します。一部機種対応。	スイッチ押下 デフォルト：OFF
アラーム録画	有効にすると、アラーム情報発信時に同時に録画を実施します。	スイッチ押下 デフォルト：OFF
アラームメール	有効にすると、アラーム発生時に関連情報を指定メールアドレスに送信します。	スイッチ押下 デフォルト：OFF
FTP アップロード	有効にすると、人員を集計した際に画像を設定済み FTP パスに送信します。	スイッチ押下 デフォルト：OFF
スナップショット	有効にすると、人員を集計した際に全体画像とターゲット画像をスナップショットします。結果はライブ映像で確認可能、詳細は「スナップショット」ページで照会可能です。	スイッチ押下 デフォルト：OFF
ホワイトライトアラーム	有効にするとホワイトライトアラームが作動し、アラーム検知時に機器のホワイトライトが点滅します。 前提：カメラのディナイトページでナイトモードを選択し、ライトモードを IR または NONE（ホワイトライト非作動モード）に設定する必要があります。一部機種対応。	スイッチ押下 デフォルト：OFF

ストロボライトアラーム	有効にするとストロボライトアラームが作動し、アラーム検知時に機器のストロボライトが点滅します。一部機種対応。	スイッチ押下 デフォルト：OFF
赤青灯アラーム	機器に赤青灯が搭載されている場合、有効にするとアラーム発生時に赤青灯が点滅してアラーム通知します。	スイッチ押下 デフォルト：OFF

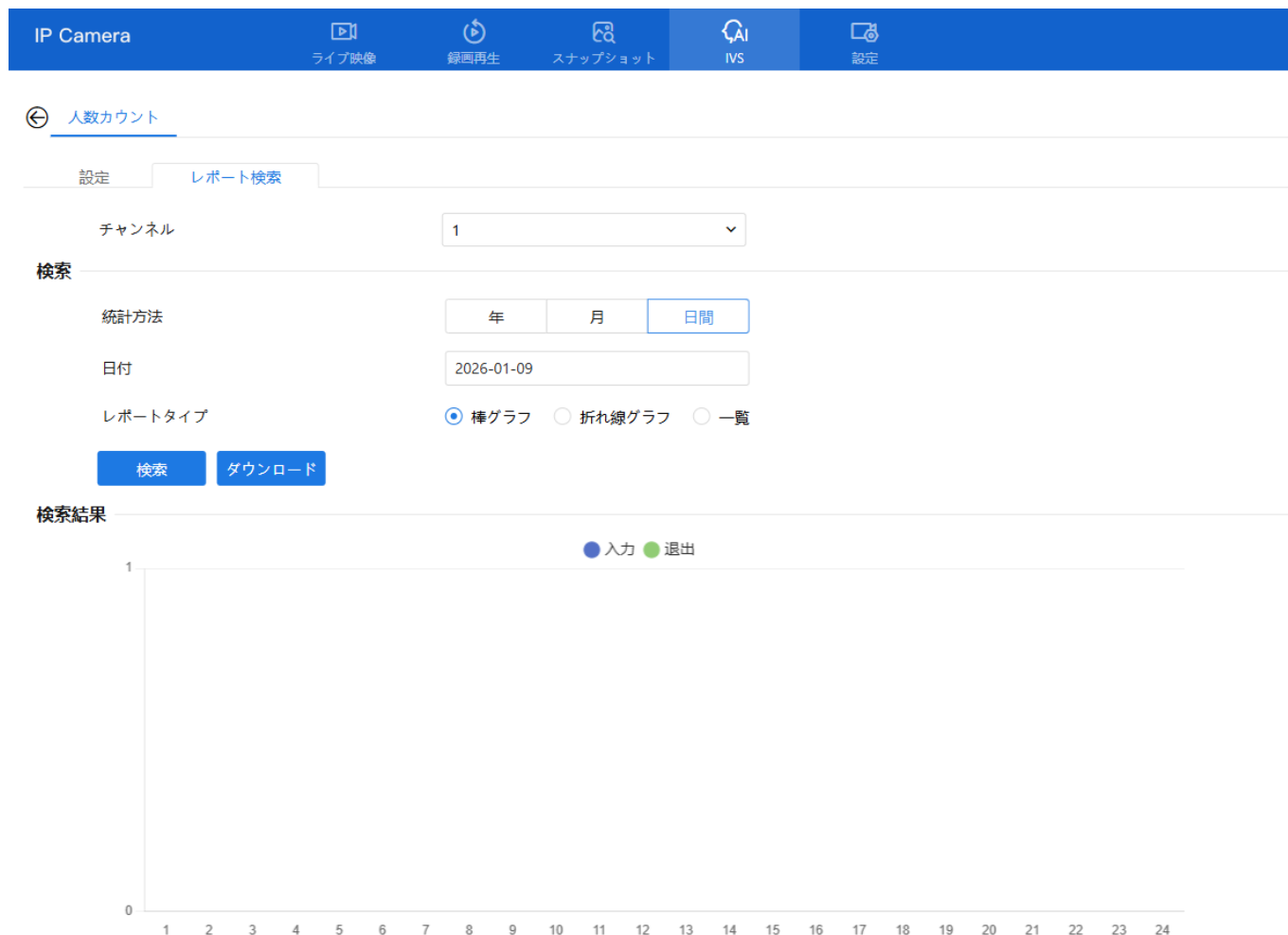
2、警戒時間の設定は、9.2.1 侵入検知の 4 を参照してください。

3、「適用」をクリックします。「適用成功」のダイアログが表示されれば、システムに設定が保存されたことを示します。

9.3.2 集計レポート照会

1、Web 画面より直接「人数集計」をクリックし、人数集計の照会画面に進むことができます（図 9-17 参照）。

図 9-17 人数集計照会画面



2、集計条件（年 / 月 / 日）を設定します。

3、「検索」をクリックすると、折れ線グラフ / 棒グラフ / リストの 3 つの形式で結果を確認可能です。

4、検索結果はローカルにダウンロードできます。

10 PTZ、マルチレンズカメラ

10.1 PTZ 制御と PTZ 設定

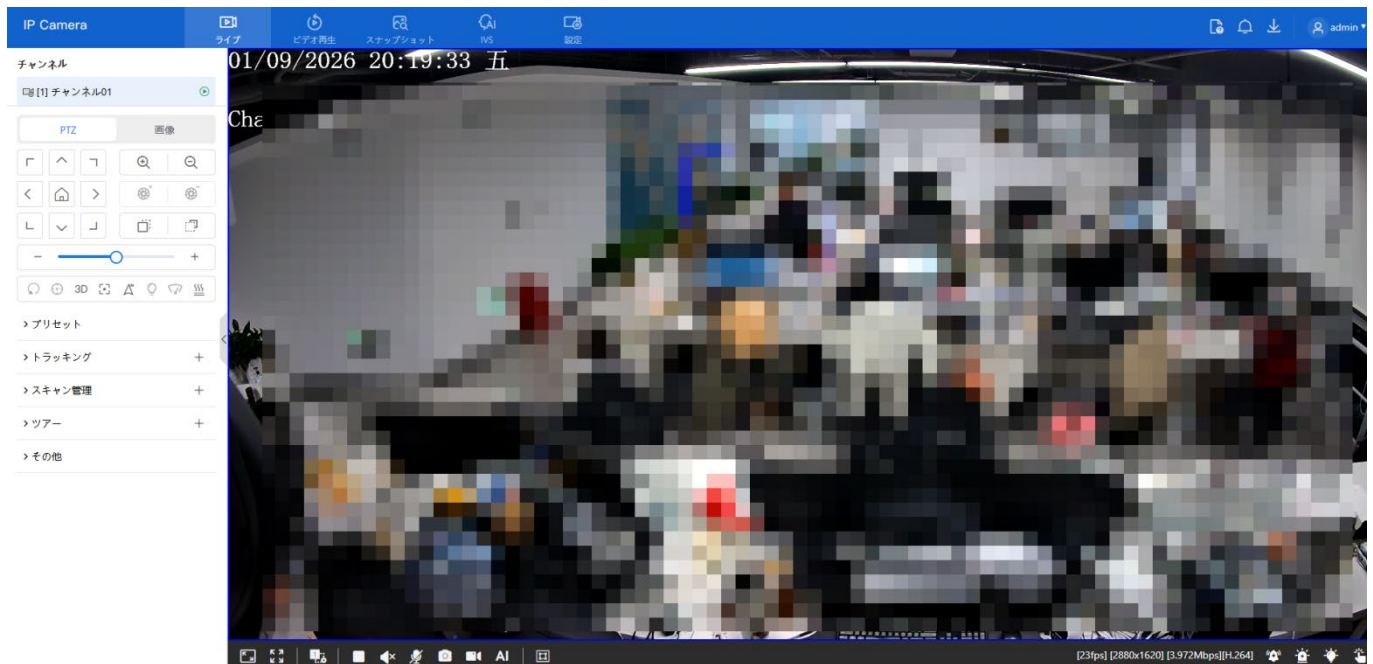
PTZ 制御および設定機能は、PTZ カメラ、電動ズーム対応カメラにのみ適用されます。

10.1.1 PTZ 制御

PTZ カメラ、電動ズーム対応ネットワークカメラにおいて、ユーザーは映像閲覧中に PTZ の回転を制御し、カメラの撮影角度を調整することで、異なる方位の映像監視を実現できます。

「ライブ映像」画面左側の PTZ 操作パネルは図 10-2 の通りです。全ての設定は「設定＞PTZ」画面にて実施します。

図 10-1 PTZ 設定画面



PTZ 操作パネルの 8 方向キーにより、PTZ の多方向動作を制御できます。

図 10-2 PTZ 制御パネル



本画面より、以下の機能を実現できます。

- ☐ PTZ 方向制御キー上部のスライダーを左右にスライドし、PTZ の回転速度を調整可能。



- ☐ : PTZ の回転方向の制御

- ☐ : PTZ の原点復帰

- ☐ : ズーム+/ズーム-

- ☐ : アイリス調整

- ☐ : ニアフォーカス/テレフォーカス

- ☐ **3D** をクリックして機能を起動すると、レンズを指定シーンに迅速に移動できます。同時にライブ映像上で矩形枠を描画することで、レンズのズーム調整を実現できます。

- ☐ : オートフォーカス

- ☐ をクリックし、正北方向を設定できます。正北はコンパス機能で、任意の方向を PTZ 回転の基準点とする正北方向に定義できます。

- ☐ : 赤外線ライトのオン/オフ

- ☐ : ワイパーのオン/オフ

- ☐ : ヒーターのオン/オフ

- ☐ をクリックしライト機能を起動、または ☐ をクリックしワイパー機能を起動できます。

ワイパー機能：カメラレンズ表面に付着した塵や雨水を除去できます。

機器がプロテクターに接続されている場合、ライトスイッチ機能によりプロテクターライトのオン/オフを実現できます。

曇り除去機能：加熱によりレンズの曇りを除去できます。

10.1.2 PTZ 設定

PTZ 設定画面は、PTZ カメラ向けの設定メニューで、図 10-3 の通りです。

図 10-3 PTZ 設定画面

＞ プリセット	
＞ トラッキング	+
＞ スキャン管理	+
＞ ツアー	+
＞ その他	

本画面より、以下の機能を実現できます。

- ☐ プリセットポジションの追加、削除、呼び出し
- ☐ 軌跡の追加、削除、呼び出し
- ☐ スキャンの追加、削除、呼び出し
- ☐ パトロールの追加、削除、呼び出し
- ☐ ガードポジションの設定
- ☐ タイマーの設定
- ☐ 電源投入時の動作設定
- ☐ 拡張機能の設定（ライト、ワイパー機能など）

※説明

ワイパー機能はワイパーまたはプロテクター付きカメラにのみ適用されます。

ライト制御機能は特殊仕様カメラ（車番認識用補助灯付きカメラなど）に専用の機能です。

10.1.3 プリセットポジションの設定と呼び出し

原点とは機器の初期位置で、デフォルト座標 00/90/1X が初期原点となり、ユーザーは現場状況に応じてカスタマイズ設定可能。原点を呼び出すと、機器は原点位置に復帰します。

「設定＞PTZ＞プリセットポジション」を選択し、【原点】をクリックします（図 10-4 参照）。

図 10-4 原点設定画面



PTZ 操作キーで画面を原点に設定したい位置に調整し、【設定】をクリックすると、当該位置が原点に設定されます。

 をクリックして原点に復帰、【ファクトリリセット】をクリックして初期原点に復元します。

プリセットポジションとは事前に設定した方位座標で、当該プリセットポジションを呼び出すことで、PTZ 機器が事前設定の方位座標に迅速に切り替わります。

図 10-5 PTZ プリセットポジション画面

0 すべて / 400 最大 全削除

ID	名称	操作
1	プリセット 1	
2	プリセット 2	
3	プリセット 3	
4	プリセット 4	プリセット 3
5	プリセット 5	
6	プリセット 6	
7	プリセット 7	
8	プリセット 8	
9	プリセット 9	

操作手順：

- ✧ プリセットポジションの設定：PTZ 操作キーで位置を調整し、リストよりプリセットポジション【番号】を選択し、 をクリックして当該プリセットポジションを登録できます。
- ✧ プリセットポジションの削除：プリセットポジション右側の  をクリックし、現在のプリセット設定を削除できます。
- ✧ プリセットポジションの呼び出し：設定完了後、プリセットポジション右側の  をクリックし、当該プリセットポジションを呼び出せます。

※説明

特殊プリセットポジション： プリセット 92 呼び出し：スキャン開始点の設定

プリセット 93 呼び出し：スキャン終了点の設定

プリセット 97 呼び出し：スキャン 1 の実行

プリセット 97 設定：MCU バージョン番号・カメラモジュールバージョン番号の確認

プリセット 99 呼び出し：360 度回転スキャンの実行

プリセット 250 設定：MCU 温度監視のオン

プリセット 251 設定：MCU 温度監視のオフ

プリセット 252 設定：カメラ PTZ のファクトリリセット

プリセット 103 呼び出し：ワイパーを 1 回作動（ワイパー付カメラ専用）

プリセット 116 設定：洗浄機能の設定

プリセット 116 呼び出し：洗浄機能の実行

10.1.4 軌跡の設定と呼び出し

軌跡とは事前に設定した PTZ 回転経路で、当該軌跡を呼び出すことで、PTZ が設定した経路に沿って繰り返し動作します。

軌跡の設定：

1. **【軌跡】**をクリックし、「軌跡追加」画面に進みます（図 10-6 参照）。

図 10-6 軌跡設定画面

IP Camera

ライブ ビデオ再生 スナップショット AI IVS 設定

クイックスタート

システム

ネットワーク

映像/音声

画像

PTZ

イベント

ストレージ

プリセット **トラッキング** スキャン管理 ツアー 待機 タイマー 稼働動作 AI 自動追尾

トラック追加

ID 1

名称 トラッキング 1

スタート 終了

軌跡管理

0 すべて / 6 最大 全削除

ID	名称	操作
1	トラッキング 1	
2	トラッキング 2	
3	トラッキング 3	
4	トラッキング 4	
5	トラッキング 5	
6	トラッキング 6	

2. 軌跡の「番号」と「名称」を設定します。
3. 「開始」をクリックします。
4. PTZ 制御の方向キーで任意の回転経路を設定します。
5. 「終了」をクリックし、現在の軌跡設定を完了します。

軌跡の呼び出し：

設定完了後、「軌跡」リストより対象軌跡を選択し、 をクリックして軌跡動作を実行します。

※説明

最大 6 つの軌跡に対応します。

10.1.5 スキャンの設定と呼び出し

スキャンとは事前に設定した 2 点間の往復動作で、当該スキャンを呼び出すことで、PTZ が開始点と終了点の間を自動的に往復動作します。

スキャンの設定：

1. 【スキャン】をクリックし、「スキャン追加」画面に進みます（図 10-7 参照）。

図 10-7 スキャン設定画面

IP Camera

ライブ ビデオ再生 スナップショット IVS 設定

プリセット トラッキング **スキャン管理** ツアー 待機 タイマー 稼働動作 AI 自動追尾

スキャン追加

ID 1

名称 スキャン管理 1

滞留時間 0 (0-255)s

スタート 終了

スキャン管理

0 すべて / 12 最大 全削除

ID	名称	操作
1	スキャン管理 1	
2	スキャン管理 2	
3	スキャン管理 3	
4	スキャン管理 4	
5	スキャン管理 5	
6	スキャン管理 6	
7	スキャン管理 7	

2. スキャンの【番号】と【名称】を設定します。
3. 【開始】をクリックします。
4. PTZ 操作キーで開始点と終了点を設定します。
5. 【終了】をクリックし、現在のスキャン設定を完了します。

スキャンの呼び出し：

設定完了後、「スキャン」リストより対象スキャン名称を選択し、 をクリックしてスキャン動作を実行します。

※説明

最大 12 つのスキャンに対応します。

10.1.6 パトロールの設定と呼び出し

パトロールとは複数のプリセットポジションを連動制御する機能で、パトロール追加時に複数のプリセットポジションと各位置での待機時間を設定することで、PTZ が設定したプリセット順序と待機時間（秒）に従って自動的に回転します。

パトロールの設定：

1. 【パトロール】をクリックし、「パトロール追加」画面に進みます（図 10-8 参照）。

図 10-8 パトロール設定画面

IP Camera

ライブ ビデオ再生 スナップショット IVS 設定

クイックスタート

システム ▼

ネットワーク ▼

映像/音声 ▼

画像

PTZ

イベント

ストレージ

プリセット トラッキング スキャン管理 ツアー 待機 タイマー 稼働動作

ツアー追加

ID 1 ▼

名称

+

-

↑

↓

ID	プリセット	時間 (秒)	速度
1			
2			
3			

保存

ツアー管理

0 すべて / 12 最大

全削除

ID	名称	操作
1	ツアー 1	
2	ツアー 2	
3	ツアー 3	

2. パトロールの【番号】と【名称】を設定します。
3. をクリックし、対象プリセットポジションを選択して対応する待機時間を設定します。
4. 必要に応じてプリセットポジションを追加・設定。リスト内のプリセットを選択し をクリックすると、当該プリセットを削除できます。
5. 【保存】をクリックし、現在のパトロール設定を完了します。

パトロールの呼び出し：

設定完了後、「パトロール」プルダウンメニューより対象パトロール名称を選択し、 をクリックしてパトロール動作を実行します。

10.1.7 ガードポジション

ガードポジションを起動すると、PTZ は設定した待機時間経過後に、事前設定の警戒機能（プリセット/スキャン/軌跡/パトロール）を自動的に起動します。

1、【ガードポジション】をクリックします。

1. ガードポジション設定画面に進みます（図 10-9 参照）。

図 10-9 ガードポジション設定画面

プリセット	トラッキング	スキャン管理	ツアー	待機	タイマー	稼働動作
有効 ☒						
タイプ		プリセット ▼				
名称		▼				
日時		0				(1~240)min
適用						

2. 【ガードポジション】の有効スイッチをクリックして機能を起動します。

2、プルダウンメニューよりガードポジションの【種別】と【名称】を設定します。

3、待機時間を設定します。

4、【適用】をクリックし、ガードポジション設定を完了します。

10.1.8 タイマー

タイマーは指定時間内に機器がプリセット/スキャン/軌跡/パトロールなどの機能を自動で実行する設定機能で、開始時間・終了時間・PTZ 動作種別を設定することで、機器が設定開始時間に達すると関連 PTZ 機能を自動実行し、終了時間に達すると動作を停止し、ドームカメラをタイマー起動前の位置/動作に復元します。

1、【タイマー】をクリックします。

タイマー設定画面に進み【有効】をクリックします（図 10-10 参照）。

図 10-10 タイマー設定画面

プリセット トラッキング スキャン管理 ツアー 待機 **タイマー** 稼働動作 AI 自動追尾

有効 ☒

タイマーモード 一度 ▼ 2026-01-12

時間一覧

ID	開始/終了時間	PTZタイプ	名称	操作
1	00:00 ~ 00:00	▼	▼	
2	00:00 ~ 00:00	▼	▼	
3	00:00 ~ 00:00	▼	▼	
4	00:00 ~ 00:00	▼	▼	
5	00:00 ~ 00:00	▼	▼	
6	00:00 ~ 00:00	▼	▼	
7	00:00 ~ 00:00	▼	▼	
8	00:00 ~ 00:00	▼	▼	

適用

2、プルダウンメニューよりタイマーの【開始時間】【終了時間】【PTZ 動作種別】【名称】を設定します。

3、【有効】にチェックを入れます。

4、タイマーモードと時間を設定します。

5、 をクリックし、タイマー設定を完了します。

10.1.9 電源投入時の動作

機器の電源投入または再起動時に、事前設定した動作を自動で実行する機能です。

1、【有効】スイッチをクリックし、電源投入時動作機能を起動します。

2、PTZ 動作種別（プリセット/スキャン/軌跡/パトロール/原点復帰）を設定します。

3、名称を選択します。

4、【適用】をクリックし、電源投入時動作の設定を完了します。

※説明

- ☐ 「ワイパー」機能はワイパー付カメラまたはカメラプロテクターにのみ有効。
- ☐ 「ライトオン」機能は特定仕様のプロテクターにのみ搭載されている。
- ☐ 「再起動動作」を起動すると、再起動時に設定したプリセット/スキャン/軌跡/パトロールなどの PTZ 動作が優先的に実行される。

10.1.10 AI 追跡

AI 追跡とは、ターゲットの位置・形状・輪郭・色彩などの基本特徴をアルゴリズムで解析し、フレーム毎の画像と照合・マッチングすることで、各フレームの映像内におけるターゲット位置を特定して移動軌跡を生成し、リアルタイムでターゲットを監視する機能です。同時に PTZ を自動制御して移動するターゲットを追跡し、ターゲットの遠近に応じてカメラのズーム・フォーカスを自動調整し、ターゲットが消失した場合にはドームカメラが事前設定のシーンに自動復帰します。

操作手順

1、「設定＞PTZ＞AI 追跡」を選択すると、AI 追跡設定画面に進みます（図 10-11 参照）。

図 10-11 AI 追跡設定画面

The screenshot shows the 'AI 自動追尾' (AI Auto Tracking) settings page. The top navigation bar includes tabs for 'プリセット', 'トラッキング', 'スキャン管理', 'ツアー', '待機', 'タイマー', '稼働動作', and 'AI 自動追尾' (which is currently selected). The settings are as follows:

- AI 自動追尾**: Toggled ON (blue switch).
- 追尾アラーム**: Toggled OFF (grey switch).
- 拡大率**: Set to OFF (dropdown menu).
- 持続時間 (秒)**: Set to 120 (slider with minus and plus buttons).
- 開始ポイント**: Set to なし (dropdown menu).
- トラッキング**: Set to 人 (dropdown menu).

A blue button labeled '適用' (Apply) is located at the bottom of the settings area.

2、AI 追跡の各パラメータを設定します。詳細は表 10-1 の通りです。

表10-1 AI 追跡パラメータ説明

パラメータ名	パラメータ説明	設定方法
AI 追跡	トラッキング機能のオン/オフ設定	スイッチ押下 デフォルト：OFF
追跡アラーム	ターゲットの追跡開始時にアラーム情報を発信する機能	スイッチ押下 デフォルト：OFF
拡大倍率	ターゲット追跡時の拡大倍率を設定可能。選択肢：1/3、1/4、1/5、1/6、1/7、1/8、1/9、1/10、オフ ※1/3 はターゲットを全画面の 1/3 サイズで拡大表示することを意味する。	プルダウンメニューより選択 デフォルト：オフ
持続時間 (秒)	1 回の追跡周期の最大時間 設定範囲：0～300 秒	数値入力枠に値を入力 デフォルト：120
開始点	AI 追跡の開始位置。 選択肢：なし、事前設定済みプリセットポジション	プルダウンメニューより選択 デフォルト：なし
追跡種別	追跡対象の種別を設定可能。 選択肢：人体、車両	プルダウンメニューより選択 デフォルト：人体

3、【適用】をクリックします。「適用成功」のダイアログが表示されれば、システムに設定が保存されたことを示します。

10.1.11 ハイスピードドーム PTZ

PTZ カメラを外部 PTZ キーボードに接続する場合、キーボードの PTZ アドレスインターフェースとの設定を一致させる必要があります。

1、「設定＞PTZ＞ハイスピードドーム PTZ」を選択します。

図 10-12 ハイスピードドーム PTZ 設定画面

2、PTZ キーボードと一致する IP アドレスを設定します。

3、「適用」をクリックします。「適用成功」のダイアログが表示されれば、システムに設定が保存されたことを示します。

10.1.12 PT リミッター

ハイスピードドームカメラにリミッターを設定すると、設定した範囲を超えて PTZ が回転することを制限できます。上下左右の 4 方向にリミッターを設定し、ドームカメラの動作領域を制限可能です。

1、「設定＞PTZ＞PT リミッター」を選択します。

図 10-13 PT リミッター設定画面

有効 ☒

基本設定

PT制限ビット	
左境界	保存
右境界	保存
上部境界	保存
下限	保存

2、ドームカメラの位置を調整し、上/下/左/右の境界位置をそれぞれ設定して保存します。

3、「適用」をクリックします。「適用成功」のダイアログが表示されれば、システムに設定が保存されたことを示します。

10.2 ハイスピードドーム専用機能

10.2.1 PTZ キーボード

RS485 コネクタを介して外部 PTZ キーボードを接続するネットワークカメラは、PTZ パラメータの設定が必要です。

※説明

ハイスピードドームカメラにのみ PTZ パラメータの設定が必要です。

操作说明

外部 PTZ キーボードを接続する場合、インターフェース種別、シリアルポート、ボーレート、データビットなどのパラメータを設定できます。



注意

PTZ を起動する場合、カメラの「PTZ キーボード」アドレスと外部 PTZ のアドレスを一致させる必要があり、不一致の場合機器の制御が不可となります。

操作手順

- 1、「設定＞システム＞基本設定＞PTZ キーボード」を選択すると、PTZ キーボード設定画面に進みます（図 10-14 参照）。

図 10-14 PTZ キーボード設定画面

有効	☒
PTZプロトコル	PELCO_D ▼
PTZアドレス	1
シリアルポート	COM1 ▼
ボーレート(bps)	9600 ▼ bps
データビット (bit)	8 ▼ bit
ストップビット (bit)	1 ▼ bit
パリティビット	None ▼

- 2、PTZ の各パラメータを設定します。詳細は表 10-2 の通りです。

表10-2 PTZ キーボードパラメータ説明

パラメータ名	パラメータ説明	設定方法
PTZ 起動	外部 PTZ 接続時に本機能を起動する	デフォルト：OFF

PTZ プロトコル	外部 PTZ に使用するプロトコル。 選択肢：PELCO_D、PELCO_P	手動入力 デフォルト：PELCO_D
PTZ アドレス	外部 PTZ のアドレス	入力枠に入力 デフォルト：1
シリアルポート	使用するシリアルポートを選択。デフォルト：COM1	プルダウンメニューより選択
ボーレート (bps)	外部 PTZ キーボードに対応するボーレートを選択 設定範囲：300～115200bps デフォルト：4800bps	
データビット (bit)	外部 PTZ キーボードに対応するデータビットを選択	
ストップビット (bit)	外部 PTZ キーボードに対応するストップビットを選択	
パリティビット	外部 PTZ キーボードに対応するパリティビットを選択	

3、【適用】をクリックします。「適用成功」のダイアログが表示されれば、システムに設定が保存されたことを示します。

10.2.2 煙火検知

1、「IVS> 環境安全分析> 煙火検知」を選択すると、煙火検知設定画面に進みます（図 10-15 参照）。

図 10-15 煙火検知設定画面

IP Camera

ライブ ビデオ再生 スナップショット IVS 設定

← 火災検出

基本設定

モード 通常モード

有効 ☐

アラーム間隔 10 (1~1800)秒

感度 - + 5

イベント連動

アラーム出力 ☐ 1

音声警告 ☐

アラーム録画 ☐

アラームメール ☐

FTP転送 ☐

赤青ライトアラーム ☐

ホワイトライトアラーム ☐

スナップショット ☐

スケジュール

0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24

適用

2、煙火検知の各パラメータを設定します。詳細は表 10-3 の通りです。

表10-3 煙火検知パラメータ説明

パラメータ名	パラメータ説明	設定方法
モード（PTZ 機能搭載カメラ対応）	検知モードを選択可能。 選択肢：通常モード、プリセットモード	プルダウンメニューより選択 デフォルト：通常モード
プリセットポジション	モードをプリセットモードに選択した場合、事前設定済みのプリセットを選択して煙火検知位置とする	--
有効	設定領域内に煙火を検知した場合、アラーム情報を発信する	スイッチ押下 デフォルト：OFF
アラーム出力	「アラーム出力」にチェックし ID 番号を入力すると、機器に外部アラームライトを接続時に、アラーム発生でライトが作動する（一部機種対応）	アラーム出力にチェックし、ID 番号を入力

音声アラーム	機能を起動するとアラーム音声ファイルを選択可能（計 12 ファイル、カスタム音声は「設定＞映像/音声＞音声＞音声ファイル」で設定）、煙火検知時に音声警告を発する	スイッチ押下 デフォルト：OFF
ストロボライトアラーム	機器にストロボライトが搭載されている場合、アラーム発生時にストロボライトが点滅して通知する	スイッチ押下 デフォルト：OFF
感度	煙火の検知感度を設定。感度が高いほど検知しやすくなるが、精度は低下する	プルダウンメニューより選択 デフォルト：5
アラーム録画	アラーム発生時にカメラが自動で録画を実行する	スイッチ押下 デフォルト：OFF
アラームメール	アラーム発生時に関連情報を指定メールアドレスに送信する	スイッチ押下 デフォルト：OFF
FTP アップロード	煙火検知時に画像を設定済み FTP パスに送信する	スイッチ押下 デフォルト：OFF
ホワイトライトアラーム	機器にホワイトライトが搭載されている場合、アラーム発生時にホワイトライトが点滅して通知する	スイッチ押下 デフォルト：OFF
赤青灯アラーム	機器に赤青灯が搭載されている場合、アラーム発生時に赤青灯が点滅して通知する	スイッチ押下 デフォルト：OFF

3、警戒領域を設定します。

描画方法：描画面面にカーソルを移動し、左クリックで始点を作成→カーソル移動で線を描画→左クリックで終点を作成し線分を生成し、順次描画して任意の形状を作成後、右クリックで描画を終了します。

図 10-16 警戒領域設定画面



※説明

- ☐ 描画した線は交差させないでください。交差すると描画が失敗します。
- ☐ 任意の形状を描画可能ですが、最大辺数は 8 辺に制限されます。
- ☐ 設定可能な警戒領域数は最大 8 個です。

4、警戒時間の設定は、7.1 の 3 を参照してください。

5、【適用】をクリックし設定を保存します。「適用成功」のダイアログが表示されれば、システムに設定が保存されたことを示します。

11 特殊 IPC 機能

11.1 フィッシュアイ（フィッシュアイ機種対応）

フィッシュアイはフィッシュアイカメラの専用機能で、本画面にて映像フォーマット、取付けモード、フィッシュアイモードの設定が可能です。

操作手順

- 1、「設定＞画像＞フィッシュアイ」ページを選択します（図 11-1 参照）。

図 11-1 フィッシュアイ設定画面

- 2、映像モードを選択します。

- ◇ シングルチャンネル：カメラを単一チャンネルで表示し、4PTZ モード時は 4 つのモジュールに分割表示
- ◇ マルチチャンネル：カメラを複数チャンネルで表示し、4PTZ モード時は 1 つのモジュールで統合表示

- 3、取付け方式に応じてライブ映像の表示モードを選択します。（計 3 種類）

- ◇ 壁取付け：視野角 0～180°、水平 0～180°、垂直 0～180°、ズーム倍率 1～8 倍
- ◇ 天井取付け：視野角 0～360°、水平 0～360°、垂直 0～90°、ズーム倍率 1～8 倍
- ◇ 卓上設置：視野角 0～360°、水平 0～360°、垂直 0～90°、ズーム倍率 1～8 倍

- 4、フィッシュアイモードを選択します。

シングルチャンネル・フィッシュアイモード：

- ☐ フィッシュアイ（1F）：フィッシュアイ画像のみ表示
- ☐ 360° パノラマ
- ☐ 4PTZ モード：4 つの PTZ 領域に分割表示
- ☐ 180° パノラマ
- ☐ 1 フィッシュアイ+3PTZ（1F_3P）：フィッシュアイ画像 1 つ+PTZ 領域 3 つの複合表示

マルチチャンネル・フィッシュアイモード：

- ☐ 4PTZ モード
- ☐ 1 フィッシュアイ+3PTZ（1F_3P）

5、【適用】をクリックします。「適用成功」のダイアログが表示されれば設定が完了します。

11.2 マルチレンズ（ステレオ機種対応）

マルチレンズはステレオカメラの専用機能で、本画面にて映像モード（シングルチャンネル/マルチチャンネル）・スティッチング距離の設定が可能です。

操作手順

1、「設定＞画像＞ステレオカメラ」ページを選択します（図 11-2 参照）。

図 11-2 ステレオカメラ設定画面

The screenshot shows the 'Dual Lens' configuration page. On the left, a sidebar menu has 'Image' selected. The main content area has tabs for 'Image Parameters', 'OSD', 'Privacy Masking', 'Video Specifications', and 'Dual Lens'. Under 'Dual Lens', there are two settings: 'Video Mode' is a dropdown menu currently showing 'Stitching', and 'Stitching Distance' is a text input field showing '3' with a range '(2-200M)' indicated to the right. A blue button labeled '適用' (Apply) is located at the bottom center of the settings area.

2、映像モードを選択します。（使用環境または操作習慣に応じて選択可能）

- ✧ マルチチャンネル：2 つのレンズを個別の 2 チャンネルで独立再生
- ✧ スティッチング：2 つのレンズの映像を合成し、設定したスティッチング距離に応じて画面を自然に連結表示



注意

本設定は AI 分析、AI マルチターゲットの設定に影響します。

3、スティッチング距離を設定します（設定範囲：2～200m、デフォルト値：3m）。

4、【適用】をクリックして設定を保存します。映像モード切替後は機器が再起動しますので、再度設定を確認してください。
【リフレッシュ】をクリックすると前回の設定に復元します。

11.3 車番認識

共通設定：スナップショット時の関連情報、スナップショット領域、警戒時間などを設定

車番管理：車番の登録、ブラックリスト/ホワイトリストの設定

リストイベント：ブラックリスト/ホワイトリスト/訪問車両の連動動作を設定

車番検索：検索条件を設定してスナップショット結果を照会、関連データのエクスポートが可能

11.3.1 共通設定

1、「設定＞車番認識」を選択し、関連パラメータを設定します（図 11-3 参照）。

図 11-3 車番認識設定画面

IP Camera

ライブ映像

録画再生

車番検出

IVS

設定

基本設定

基本設定

検索

共通設定

車番管理

リストイベント

属性イベント

基本設定

車番検出

ナンバープレート結合車両モード

トレース情報表示

検出領域表示

信頼係数

ナンバープレート検知最小画素数

切り抜き画像品質

スナップモード

切り抜き画像送信間隔

切り抜き画像FTP送信

パノラマ画像FTP送信

EMMC ストレージ

国名/地域

未登録リスト名

アルゴリズムライブラリーVer.

フルフレーム

低い

1

1~300

最も高い

タイマー

3

1~10

ネパール.

Visitor

v2.4.6_20251220

適用

2、検知領域の描画：画面上でマウスで検知領域を描画し、右クリックで描画を終了します。デフォルトは画面全体が検知領域となります。その他の操作詳細は表 11-1 の通りです。

表11-1 車番認識パラメータ説明

パラメータ名	説明	操作手順
車番認識	車番を検知し、設定範囲内に出現した車両番号を認識する	スイッチ押下

追跡情報オーバーレイ	選択肢：オフ、フルフレーム、コーナー、モザイク ※人体スナップショット枠：青、顔スナップショット枠：緑 フルフレーム： コーナー： モザイク：	プルダウンメニューより選択
検知領域表示	機能を有効にすると、ライブ映像上に検知領域の枠を表示する	スイッチ押下
信頼度	画像取得の信頼度レベル（高 / 中 / 低） ※信頼度が高いほどスナップショット品質が向上し、取得枚数は減少する	プルダウンメニューより選択
車番検知最小ピクセル	車番を検知する最小ピクセル値を設定 ※画面内の車番が設定値未満の場合、検知されません。ピクセル値が小さいほど取得枚数が増加し、誤検知の可能性が上昇する	1～300 の数値を入力
画像切り抜き品質	スナップショットの画像切り抜き品質（高 / 中 / 低）	プルダウンメニューより選択
スナップショットモード	選択肢：タイマー、最適 ※タイマーモード選択時は、切り抜き画像送信間隔（1～10 秒）を設定必要	プルダウンメニューより選択
FTP に切り抜き画像送信	「設定＞ネットワーク＞詳細設定＞FTP」でパラメータを設定後、スナップショット画像を指定 FTP サーバーに送信する	スイッチ押下
FTP に全体画像送信	スナップショット画像と同時に全体画像を FTP サーバーに送信する	スイッチ押下
地域	車番の対象地域を選択する	プルダウンメニューより選択
国	車番の対象国を選択する	プルダウンメニューより選択
未登録リスト名称	車番管理に登録されていない車両を表示する際の名称を手動で入力する	手動入力
車線リスト	認識機能を起動する車線をチェックし、選択した車線に対してのみ検知を実行する	チェックボックス

3、警戒時間を設定します。警戒時間を設定後に、【適用】をクリックします。

方法 1：1 日の警戒時間を設定し、 をクリックすると、設定した時間を他の曜日に一括適用可能。

方法 2：マウス左クリックを押しながらドラッグし、放すと月曜日～日曜日の 0～24 時間帯で任意の警戒時間を選択可能。

方法 3：【全選択】をクリックすると、全時間帯を警戒時間に設定可能。

図 11-4 警戒時間コピー画面

コピー:

☐ All

☒ 日

☐ 月

☐ 火

☐ 水

☐ 木

☐ 金

☐ 土

OK

警戒解除時間の設定：【全クリア】をクリックすると、設定したすべての警戒時間を削除します。選択した時間を指定し、「削除」をクリックすると選択した時間帯を削除できます。

00:00 ~ 24:00 OK 削除

4、【適用】をクリックします。「適用成功」のダイアログが表示されれば、システムに設定が保存されたことを示します。

11.3.2 車番管理

複数の車番を同一リストに登録して管理する機能で、登録したリストをブラックリストまたはホワイトリストに設定可能です。

操作手順

1、メイン画面より「車番認識＞車番管理」を選択し、ブラックリスト/ホワイトリスト設定画面に進みます（図 11-5 参照）。

図 11-5 ブラックリスト/ホワイトリスト設定画面



2、【追加】をクリックし、車番をブラックリスト/ホワイトリストに登録します。車番番号の入力、車両タイプの選択、有効期間の設定、ヴィーガンカード番号の入力、備考の追加を実施します（図 11-6 参照）。

図 11-6 車番追加画面

車番追加

×

車番

タイプ

ホワイトリスト

▼

有効時間

常時

▼

ヴィーガン...

説明

プロンプト:

標準カード番号: 合計8桁、前5桁の範囲: 00001 ~ 65535、後3桁の範囲: 001 ~ 255

ヒックカード番号: 最大10桁、適用範囲: 1 ~ 2147483647

キャンセル

保存

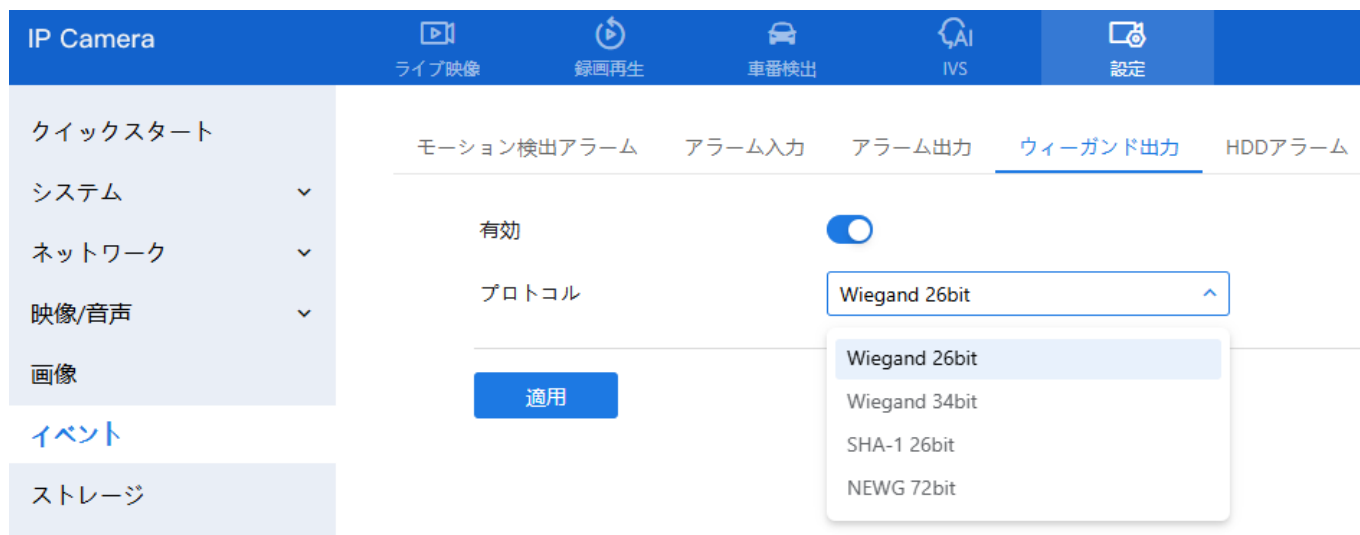
3、情報を全て入力後【保存】をクリックすると、車番がリストに追加されます。

4、☒ すべて ☒ ホワイトリスト ☒ ブラックリスト にチェックを入れると、該当する車番ライブラリでフィルタリングできます。

ヴィーガン出力の設定

ヴィーガンカード番号は、ユーザー側で使用するヴィーガン機器の仕様書に準拠して入力してください。対応するヴィーガンプロトコルは「設定＞イベント＞ヴィーガン出力」にて同一プロトコルを設定する必要があり、プロトコルごとに対応するヴィーガンカード番号が異なりますので、実際の機器仕様に応じて入力してください（図 11-7 参照）。

図 11-7 ウィーガン出力設定画面



対応プロトコル：LPR 車番認識カメラは計 4 種類のウィーガンプロトコルに対応可能です。

●Wiegand 26bit プロトコル

- 1) ID 番号は計 8 桁：上位 5 桁＝カード ID（00001～65535）、下位 3 桁＝サイトコード（001～255）
- 2) カード ID 範囲：0～65535、サイトコード範囲：0～255
- 3) 8 桁超えの数値入力時：最終 8 桁のみ有効（例：989842118 → 89842118）
- 4) 8 桁未満の数値入力時：先頭に 0 を補完して 8 桁に変換

●Wiegand 34bit プロトコル

- 1) ID 番号は計 10 桁
- 2) 10 桁超えの数値入力時：上位 10 桁のみ有効、最大対応カード番号：2147483647

●SHA-1 26bit Wiegand プロトコル

Wiegand SHA-1 26bit インターフェースより車番を直接伝送し、ハッシュ演算を実行。

標準 Wiegand インターフェースより 24 ビットを取得し、標準 26 ビットプロトコルに準拠して偶数パリティビット/奇数パリティビットを追加後、Wiegand アクセスコントローラに送信。

ブラックリスト/ホワイトリストの連動設定不要で、車番認識後に直接ウィーガン伝送を実行（※訪問車両のウィーガン出力連動を有効にする必要あり）。

●NEWG 72bit Wiegand プロトコル

72 ビット Wiegand フォーマットは 72 ビットのデータを含み、パリティビットは無し。

すべてのウィーガンプロトコルとカード番号の設定はウィーガン信号受信側の仕様に準拠してください。車番認識カメラは信号送信側として動作します。

11.3.3 リストイベント

機器はスナップショットした車番をホワイトリスト/ブラックリスト/訪問車両に分類し、各リストごとにイベント連動動作と警戒時間を個別設定可能です。

- 1、リスト種別を選択します（ホワイトリスト/ブラックリスト/訪問車両）。
- 2、【有効】をクリックすると、リスト内の車番を検知した際にアラーム情報を発信します。

図 11-8 リストイベント設定画面

IP Camera

ライブ映像 録画再生 車番検出 IVS 設定

基本設定

基本設定

検索

共通設定 車番管理 リストイベント 属性イベント

一覧 ホワイトリスト ブラックリスト 訪問者

有効

イベント連動

アラーム出力 ☐ 1 ☐ 2

音声アラーム

アラーム録画

アラームメール

FTP送信

ウィーガン出力

警備時間

	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24
日													
月													
火													
水													
木													
金													
土													

全選択 全削除

適用

3、カメラの性能に応じて、アラーム出力/音声アラーム/アラーム録画/アラームメール/FTP アップロード/ウィーガン出力（事前に外部ウィーガン機器を接続必要）などの連動動作を選択可能です。

4、警戒時間を設定します。

5、【適用】をクリックします。「適用成功」のダイアログが表示されれば設定が保存されます。

11.3.4 属性イベント

機能を有効にすると、車両の関連属性（色/タイプ/検知領域）を検知した際にアラーム連動動作をトリガーできます。

図 11-9 属性イベント設定画面

The screenshot displays the 'Attribute Event' (属性イベント) configuration page. The top navigation bar includes 'IP Camera', 'ライブ映像' (Live Video), '録画再生' (Recording/Playback), '車番検出' (Vehicle Number Detection), 'IVS', and '設定' (Settings). The left sidebar shows '基本設定' (Basic Settings) and '検索' (Search). The main content area has tabs for '共通設定' (Common Settings), '車番管理' (Vehicle Number Management), 'リストイベント' (List Event), and '属性イベント' (Attribute Event).

属性イベント (Attribute Event) Settings:

- 有効 (Enabled):** Toggle switch (currently off).
- トリガー条件 (Trigger Conditions):**
 - 車番がありません (No vehicle number): Toggle switch (currently off).
 - 車両の色 (Vehicle color): Dropdown menu (currently '選択してください' - Please select).
 - 車両タイプ (Vehicle type): Dropdown menu (currently '選択してください' - Please select).
 - 検出エリア (Detection area): Dropdown menu (currently '選択してください' - Please select).
- イベント連動 (Event联动):**
 - アラーム出力 (Alarm output): Checkboxes for 1 and 2.
 - 音声アラーム (Sound alarm): Toggle switch (currently off).
 - アラーム録画 (Alarm recording): Toggle switch (currently off).
 - アラームメール (Alarm email): Toggle switch (currently off).
 - FTP送信 (FTP upload): Toggle switch (currently off).
- 警備時間 (Guard Time):** A weekly schedule grid.

	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24
日													
月													
火													
水													
木													
金													
土													

Buttons at the bottom: 全選択 (Select All), 全削除 (Delete All).

車両色: 青 / イエロー / 黒 / 白 / 緑 / 赤 / 灰 / 紫 / ピンク / 茶 / シアン / カラー / ゴールド / オレンジ / 模様

車両タイプ: 乗用車 / SUV / ミニバス / バス / ピックアップトラック / トラック / バン / マルチパーパスカー / スポーツカー / スクールバス / 救急車 / 消防車 / 特殊車両 / 農業・建設車両

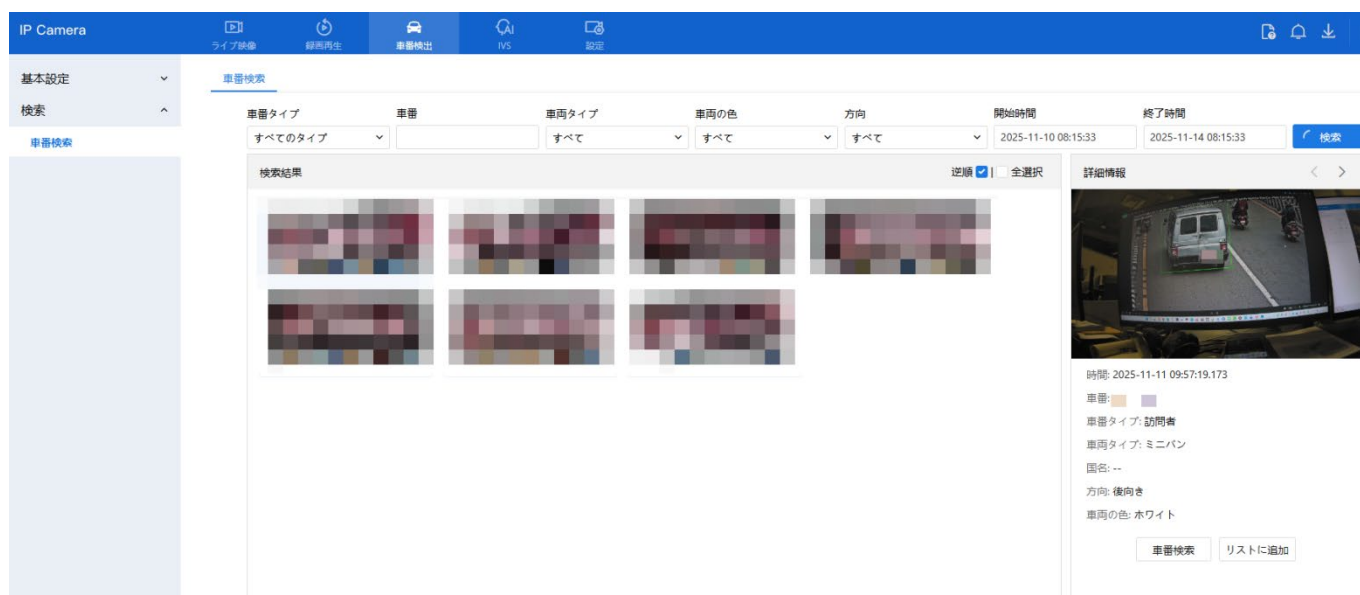
車線: 「共通設定」画面で設定した車線に対応

11.3.5 車番検索

ユーザーは検索条件（車両タイプ、車番番号、車種、色、進行方向）と時間範囲を設定し、スナップショットした車番を高精度に検索可能です。

- 1、「LPR> 検索> 車番検索」を選択します。
- 2、車番タイプ、番号、車両タイプ、色、進行方向などの検索条件を設定します。
- 3、開始時間・終了時間を設定し、【検索】をクリックして結果を表示します（図 11-10 参照）。

図 11-10 車番検索結果画面



- 4、検索結果の画像をクリックすると詳細情報を表示可能で、車番文字検索およびリスト追加（ブラックリスト/ホワイトリストへの登録）が実行できます。

図 11-11 車番詳細検索画面



11.4 マルチレンズカメラの特殊設定

マルチレンズカメラは複数チャンネルで表示されるため、対象チャンネルを選択して個別に設定する必要があります。各設定画面でチャンネル選択が必須となりますので、必要に応じて対応するチャンネルを選択して設定を実施してください。

11.4.1 RS485

RS485 コネクターを介して PTZ カメラを接続するマルチレンズカメラは、本パラメータの設定が必要です。接続成功後は、マルチレンズの PTZ 画面より PTZ カメラのプリセットポジションを直接設定可能です。

※説明

マルチレンズカメラにのみ RS485 パラメータの設定が必要です。機能を有効にすると、機器本体の PTZ 機能（拡大/縮小/アイリス調整/フォーカス調整など）が使用不可となります。

外部 RS485 機器を接続する場合、インターフェース種別、シリアルポート、ボーレート、データビットなどのパラメータを設定可能です。



注意

RS485 機器を有効にする場合、カメラの「PTZ アドレス」と外部 PTZ のアドレスを一致させる必要があり、不一致の場合ドームカメラの制御が不可となります。

操作手順

- 1、「設定＞システム＞基本設定＞RS485」を選択すると、RS485 設定画面に進みます（図 11-12 参照）。

図 11-12 RS485 設定画面

IP Camera

ライブ映像 録画再生 スナップショット IVS 設定

クイックスタート
システム

デバイス情報 日時 **RS485** システム IR設定 ソフトウェアライセンス

有効 ☒

PTZプロトコル PELCO_D

PTZアドレス 1

シリアルポート COM1

ボーレート(bps) 9600 bps

データビット (bit) 8 bit

ストップビット (bit) 1 bit

パリティビット None

適用

2、RS485 の各パラメータを設定します。詳細は表 11-2 の通りです。

表11-2 RS485 パラメータ説明

パラメータ名	説明	設定方法
RS485 起動	外部 RS485 接続時に本機能を起動する	デフォルト：OFF
PTZ プロトコル	外部 RS485 に使用するプロトコル (PELCO_D/PELCO_P)	手動入力 デフォルト：PELCO_D
PTZ アドレス	外部 RS485 のアドレス値	入力枠に入力 デフォルト：1
シリアルポート	使用するシリアルポートを選択 デフォルト：COM1	プルダウンメニューより選択
ボーレート (bps)	外部ドームカメラに対応するボーレートを選択 設定範囲：300～115200bps デフォルト：4800bps	
データビット (bit)	外部ドームカメラに対応するデータビットを選択する	

ストップビット (bit)	外部ドームカメラに対応するストップビットを選択する	
パリティビット	外部ドームカメラに対応するパリティビットを選択する	

3、【適用】をクリックします。「適用成功」のダイアログが表示されれば設定が完了します。

11.4.2 赤外線ライト設定

操作前提

マルチレンズネットワークカメラにのみ本パラメータの設定が必要。

赤外線ライトの起動には、対応するチャンネルが夜間モードに設定されている必要があります。

操作説明

1、「設定＞システム＞基本設定＞赤外線ライト設定」を選択すると、赤外線ライト設定画面に進みます（図 11-13 参照）。

図 11-13 赤外線ライト設定画面



赤外線ライトの基本設定は参考図に準拠し、図面は実機の仕様と一致しています。ユーザーが現場状況に応じてレンズ位置を調整した場合は、実際の状況に応じて設定変更可能ですが、設定変更は推奨しません。

2、【適用】をクリックして設定を保存します。

11.4.3 アナログ信号

マルチレンズカメラの CVBS インターフェースをアナログ信号モニターに直接接続し、対象チャンネルを選択してアナログ信号を出力可能です。

1、「設定＞画像＞アナログ信号」ページを選択します。

図 11-14 アナログ信号設定画面

The screenshot displays the 'Analog Signal' configuration page. On the left, a sidebar lists various settings categories. The main panel features a horizontal tab bar with 'Analog Signal' selected. Below the tabs, the 'Channel' is set to '5'. Two toggle switches, 'Analog Output' and 'IP Display', are both enabled. An 'Apply' button is located at the bottom of the settings area.

11.4.4 PTZ

マルチレンズカメラが RS485 を介して PTZ カメラに接続されている場合、マルチレンズの設定画面より PTZ カメラのプリセットポジション、軌跡、スキャンやパトロールを設定可能です。

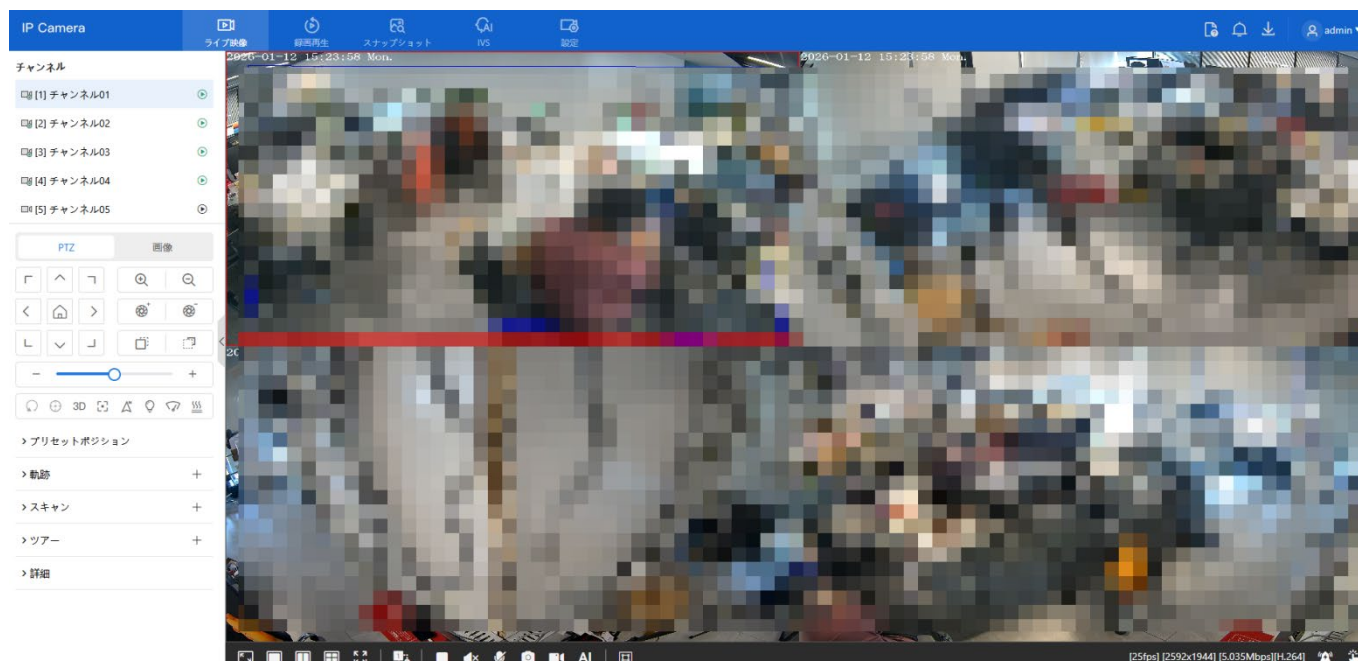
1、「設定＞PTZ」ページを選択します。

図 11-15 マルチレンズ - PTZ 設定画面



2、具体的な設定方法は章 10.1 PTZ 設定を参照してください。

図 11-16 マルチレンズのライブ映像画面



※チャンネル 5 : 4 画面スティッチング表示

11.5 マルチレンズカメラの AI 分析

11.5.1 詳細設定

詳細設定を押してターゲットフィルタリングを有効にすると、ターゲット（人体/車両）が画面内に出現しても、設定したフィルタリング時間内はアラームがトリガーされず、時間を超過した場合に AI 分析のアラームが発生します。

操作手順

- 1、「IVS> AI 分析> 詳細設定」を選択すると、詳細設定画面に進みます（図 11-17 参照）。

図 11-17 詳細設定画面



- 2、ターゲットフィルタリングを起動します。
- 3、ターゲットフィルタリング時間を設定します（設定時間内はターゲットによるアラームが発生しません）。
- 4、【適用】をクリックします。「適用成功」のダイアログが表示されれば、システムに設定が保存されたことを示します。

11.5.2 違法駐車検知（一部機種対応）

本機能は PTZ カメラと 4 レンズカメラ専用の機能です。

違法駐車検知とは、警戒領域内におけるターゲットの滞留時間を設定し、指定したタイプのターゲット（車両のみ）が設定時間以上滞留した場合にアラームを発生させる機能です。

操作手順

- 1、「IVS> AI 分析> 違法駐車検知」を選択すると、違法駐車検知設定画面に進みます（図 11-18 参照）。

図 11-18 違法駐車検知設定画面

チャンネル

基本設定

有効 ☐

アラーム間隔 (1~1800)秒

許容駐車時間 (5-60)S

イベント連動

アラーム出力 ☐ 1 ☐ 2

音声アラーム ☐

アラーム録画 ☐

アラームメール ☐

FTP送信 ☐

スナップショット ☐

警備時間

	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24
日													
月													
火													
水													

2、違法駐車検知の各パラメータを設定します。詳細は章 9.2.1 侵入検知の 2 を参照してください。

3、警戒領域を設定します。

描画方法：描画面面にカーソルを移動し、左クリックで始点を作成→カーソル移動で線を描画→左クリックで終点を作成し線分を生成し、順次描画して任意の形状を作成後、右クリックで描画を終了します。

図 11-19 警戒領域設定画面



※説明

- ☐ 描画した線は交差させないでください。交差すると描画が失敗します。
- ☐ 任意の形状を描画可能ですが、最大辺数は 8 辺に制限されます。
- ☐ 設定可能な警戒領域数は 8 個に制限されます。

4、警戒時間の設定は、章 9.2.1 侵入検知の 4 を参照してください。

5、「適用」をクリックします。「適用成功」のダイアログが表示されれば、システムに設定が保存されたことを示します。

11.5.3 エリア侵入検知

警戒領域を設定し、ターゲットが領域内に侵入した際にアラームを発生させる機能です。

操作手順

1、「AI 分析> エリア侵入検知」を選択し、設定画面に進みます（図 11-20 参照）。

図 11-20 エリア侵入検知設定画面

The screenshot displays the 'エリア侵入' (Area Intrusion) settings page. At the top, there's a navigation bar with icons for 'ライブ映像' (Live Video), '録画再生' (Playback), 'スナップショット' (Snapshot), 'IVS' (Intrusion Detection), and '設定' (Settings). Below this, a menu bar lists various detection types: '侵入' (Intrusion), 'AI モーション検出' (AI Motion Detection), '警備ライン' (Guard Line), '横線横断' (Horizontal Line Crossing), '複数徘徊' (Multiple徘徊), '逆走' (Reverse Driving), 'エリア人数警告' (Area Person Count Warning), '周辺領域検出' (Peripheral Area Detection), '違法駐車' (Illegal Parking), 'エリア侵入' (Area Intrusion - selected), '離脱検出エリア' (Exit Detection Area), '走り検出' (Running Detection), '転倒検出' (Falling Detection), '喧嘩検出' (Fighting Detection), and '詳細' (Details).

The main settings area is divided into sections:

- チャンネル** (Channel): A dropdown menu set to '1'.
- 基本設定** (Basic Settings):
 - 有効** (Enabled): A toggle switch.
 - アラーム間隔** (Alarm Interval): A numeric input set to '10' with a range of '(1-1800)秒'.
 - 感度** (Sensitivity): A slider bar with a value of '5'.
 - 対象タイプ制限** (Target Type Restriction): A toggle switch.
 - エリア一覧** (Area List): A table with columns '有効' (Enabled), 'エリアID' (Area ID), '最小' (Minimum), and '最大' (Maximum). The table is currently empty.
- イベント連動** (Event Linkage):
 - アラーム出力** (Alarm Output): Two checkboxes labeled '1' and '2'.
 - 音声アラーム** (Voice Alarm): A toggle switch.

At the bottom left, there is a blue button labeled '適用' (Apply).

On the right side, there is a video preview window showing a blurred scene with a red bounding box indicating detection. The timestamp '2026-01-12 02:40:10 Mon.' is visible at the top of the preview.

2、マルチレンズカメラの場合は対象チャンネルを先に選択してください。

3、エリア侵入検知のパラメータを設定します。詳細は章 9.2.1 侵入検知の 2 を参照してください。

4、警戒領域を設定します。

描画方法：カーソルを描画画面に移動し、左クリックで始点を作成→カーソル移動で線を描画→左クリックで終点を作成し線分を生成し、順次描画して任意の形状を作成後、右クリックで描画を終了します。

5、警戒時間の設定は、章 9.2.1 侵入検知の 4 を参照してください。

6、「適用」をクリックします。「適用成功」のダイアログが表示されれば、システムに設定が保存されたことを示します。

11.5.4 エリア退出検知

警戒領域を設定し、ターゲットが領域内から退出した際にアラームを発生させる機能です。

操作手順

- 1、「AI 分析> エリア退出検知」を選択し、設定画面に進みます（図 11-21 参照）。

図 11-21 エリア退出検知設定画面

The screenshot displays the 'Area Exit Detection' (エリア退出検知) settings page. The interface includes a top navigation bar with icons for 'IP Camera', 'ライブ映像' (Live Video), '録画再生' (Recording/Playback), 'スナップショット' (Snapshot), 'IVS' (AI Analysis), and '設定' (Settings). Below this is a sub-navigation bar with options like '侵入' (Intrusion), 'AI モーション検出' (AI Motion Detection), '警戒ライン' (Warning Line), '視線横断' (Line of Sight Crossing), '複数徘徊' (Multiple徘徊), '逆走' (Reverse Travel), 'エリア人数警告' (Area Person Count Warning), '周辺領域検出' (Surrounding Area Detection), '違法駐車' (Illegal Parking), 'エリア侵入' (Area Intrusion), '離脱検出エリア' (Exit Detection Area), '走り検出' (Running Detection), '転倒検出' (Fall Detection), '喧嘩検出' (Fighting Detection), and '詳細' (Details). The '離脱検出エリア' option is selected.

The main settings area is divided into two sections: '基本設定' (Basic Settings) and 'イベント連動' (Event联动). In the '基本設定' section, there is a 'チャンネル' (Channel) dropdown set to '1'. Below it are '有効' (Enabled) toggle, 'アラーム間隔' (Alarm Interval) set to '10' (with a range of 1-1800 seconds), '感度' (Sensitivity) slider set to '5', and '対象タイプ制限' (Target Type Restriction) toggle. The 'エリア一覧' (Area List) table is empty, with columns for '有効' (Enabled), 'エリアID' (Area ID), '最小' (Minimum), and '最大' (Maximum). The 'イベント連動' section includes 'アラーム出力' (Alarm Output) with checkboxes for '1' and '2', and '音声アラーム' (Audio Alarm) toggle.

At the bottom of the settings area is a blue '適用' (Apply) button.

- 2、マルチレンズ機器の場合は対象チャンネルを先に選択してください。
- 3、エリア退出検知のパラメータを設定します。詳細は章 9.2.1 侵入検知の 2 を参照してください。
- 4、警戒領域を設定します。

描画方法：カーソルを描画画面に移動し、左クリックで始点を作成→カーソル移動で線を描画→左クリックで終点を作成し線分を生成し、順次描画して任意の形状を作成後、右クリックで描画を終了します。

- 5、警戒時間の設定は、章 9.2.1 侵入検知の 4 を参照してください。
- 6、「適用」をクリックします。「適用成功」のダイアログが表示されれば、システムに設定が保存されたことを示します。

※説明

マルチレンズカメラは、IVS 関連パラメータ設定時、対象チャンネルを選択することで、全ての IVS 動作を該当チャンネルに適用可能、または個別の項目ごとに必要なチャンネルを選択可能です。

アラーム録画、アラームメール、FTP アップロードなどの連動動作は、他のチャンネルを選択して連動チャンネルとして設定可能です。

図 11-22 チャンネル選択画面

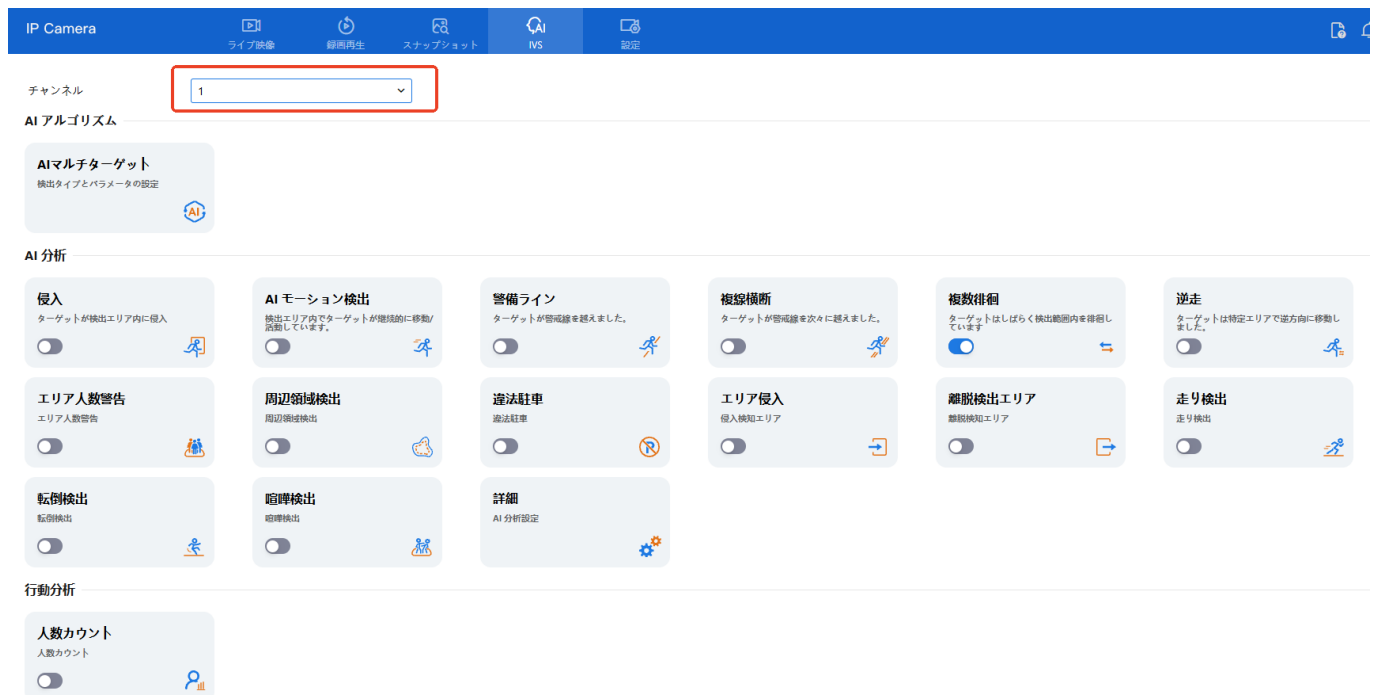


図 11-23 連動チャンネル設定画面

イベント連動

アラーム出力	☐ 1 ☐ 2
音声アラーム	☒
音声アラームファイル	Dangerous area. Keep away.wav ▼
アラーム録画	☒
連動チャンネル	☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4
アラームメール	☒
連動チャンネル	☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4
FTP送信	☒
連動チャンネル	☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4
スナップショット	☐

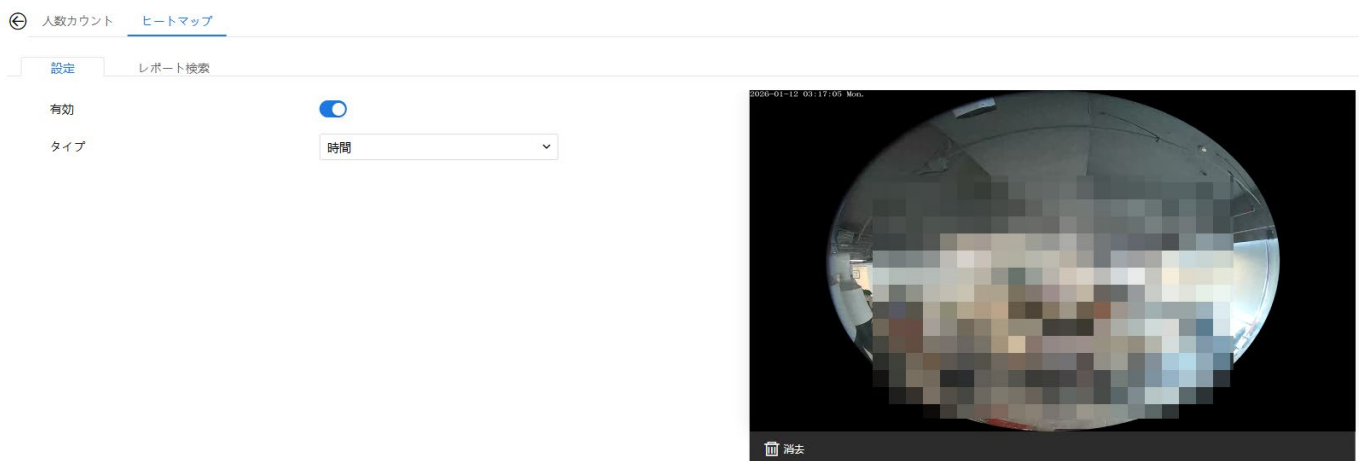
11.5.5 ヒートマップ（フィッシュアイ/ 2 レンズ/マルチレンズ機種対応）

11.5.5.1 設定

ヒートマップはデータ分析・統計を視覚的に表示する手段で、監視領域内の人員動線や滞留状況を色の濃淡で識別し、人の流れの活発度を直感的に確認可能です。カメラにヒートマップ機能を起動すると、監視領域内の人員移動状況を自動で検知・統計し、色の濃淡により人の流れの活発度を表示します。

1、「AI 分析>ヒートマップ設定」を選択します（図 11-24 参照）。

図 11-24 ヒートマップ設定画面



2、【ヒートマップ有効】をクリックして機能を起動します（デフォルトは無効設定で、手動で起動する必要があります）。

※説明

ステレオカメラでマルチチャンネルモードを選択した場合、ヒートマップ設定時に対象チャンネルを選択し、各チャンネルのデータを個別に確認可能です。

3、統計タイプを設定します（計 2 種類）。

- ✧ 時間別：1 日を 24 時間に分割し、時間ごとのデータを統計
- ✧ 日別：1 日ごとのデータを統計

※タイプ切替後は過去のデータがクリアされますので、慎重に操作してください。

4、【適用】をクリックします。「適用成功」のダイアログが表示されれば、システムに設定が保存されたことを示します。

11.5.5.2 レポート照会

「IVS>動作分析>ヒートマップ>検索レポート」画面にて、グラフ種別（折れ線グラフ、棒グラフ）、統計方式（時間別、日別、月別、年別）、開始時間/終了時間（統計方式に応じて設定）を指定し、ヒートマップのデータを検索またはエクスポートが可能です（図 11-25 参照）。

図 11-25 ヒートマップのレポート画面

⏪

人数カウント

ヒートマップ

設定

レポート検索

統計方法

時間

時間

2026-01-12 03:00:00

ダウンロード

検索

機器使用時のよくある問題と対処方法を表 11-3 に示します。

表11-3 よくある問題の対処方法

よくある問題	考えられる原因	解決方法
ブラウザに機器の IP アドレスを入力後、「このサイトのセキュリティ証明書に問題があります」と表示される	証明書が未インストール	 继续浏览此网站(不推荐)。をクリックし、機器の Web 画面へのアクセスを続行します。
機器の Web 画面にアクセスできない	ネットワーク断線	ネットワークカメラの LAN ケーブルを PC に接続し、機器が正常に動作するか確認します。ping コマンドでネットワークを確認し、機器が正常に動作するか確認します。
	IP アドレスが被っている	ネットワークカメラと PC を直接接続し、ネットワークカメラの IP アドレスを再設定します。
	PC と機器の IP が異なるネットワークにある	ネットワークカメラの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの設定を確認します。
PTZ カメラを制御できない	プロトコル、ボーレート、アドレスの設定ミス	Web 画面にて PTZ アドレスを変更します。
	信号線の接続不良または接続ミス	信号線を再度接続します。
機器のアップグレード後、Web ページにアクセスできない	ブラウザのキャッシュデータが未削除	ブラウザのキャッシュを削除します。 具体的な手順は以下の通りです。 1. ブラウザを開きます。 2. Ctrl+Shift+Delete キーを押し、「閲覧データの消去」画面を開きます。 3. すべてのチェックボックスにチェックを入れます。 4. 「データを消去」をクリックします。 ネットワークカメラに再度ログインします。
アップグレードに失敗する	LAN ケーブル未接続またはネットワーク設定の問題	アップグレード用ネットワークが接続されていることを確認します。 ネットワーク設定が正しいか確認します。

	アップグレードファイルが不正	正しいアップグレードファイルを取得した上で、再度アップグレードを実行します。
--	----------------	--

付録 A 略語一覧

A

ADSL	Asymmetric Digital Subscriber Line	非対称デジタル加入者線
------	------------------------------------	-------------

C

CBR	Continuous Bit Rate	固定ビットレート
CGI	Common Gateway Interface	汎用ゲートウェイインターフェース
CMS	Central Management System	セントラルマネジメントシステム

D

DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol	動的ホスト設定プロトコル
DNS	Domain Name Server	ドメインネームサーバー
DDNS	Dynamic Domain Name Server	動的ドメインネームサーバー

F

FTP	File Transfer Protocol	ファイル転送プロトコル
-----	------------------------	-------------

G

GAMA	Graphics Assisted Management Application	画像支援管理アプリケーション
------	--	----------------

H

HTTP	Hypertext Transfer Protocol	ハイパーテキスト転送プロトコル
HTTPS	Hypertext Transfer Protocol Secure	暗号化ハイパーテキスト転送プロトコル

I

ID	Identity	識別番号
IP	Internet Protocol	インターネットプロトコル
IPC	Internet Protocol Camera	ネットワークカメラ
ISO	International Standard Organized	国際標準化機構
IVS	Intelligent Video System Intelligent Video Surveillance	

L

LPS	Limited Power Source	定格電源装置
-----	----------------------	--------

LPR	License Plate Recognition	車番認識
M		
MAC	Media Access Control	メディアアクセス制御アドレス
MJPEG	Motion Joint Photographic Experts Group	モーション JPEG
MTU	Maximum Transmission Unit	最大転送単位
N		
NAS	Network Attached Storage	ネットワーク接続ストレージ
NTP	Network Time Protocol	ネットワークタイムプロトコル
NTSC	National Television System Committee system	NTSC 方式
O		
OSD	On Screen display	画面上表示
P		
PAL	Phase Alteration Line	PAL 方式
PoE	Power over Ethernet	イーサネット給電
PPPoE	Point-to-Point Protocol over Ethernet	イーサネット上の PPP プロトコル
PTZ	Pan Tilt Zoom	パン・チルト・ズーム
S		
SMTP	Simple Mail Transfer Protocol	シンプルメール転送プロトコル
SSL	Secure Sockets Layer	安全ソケットレイヤー
V		
VBR	Variable Bit Rate	可変ビットレート